

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060101010100		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	ふるさと応援事業	予算事業名	ふるさと応援事業		優先度	5	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課				
施策名(中)		市民力あふれるまちをめざす		担当課長	松尾 次郎		担当者名	横川 昌紀	
取組み事項		市民参加型のまちづくりシステムを構築する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	有	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		相生市ふるさと応援基金条例							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	相生のまちづくりに参加しようとする者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	個性豊かで活力とぬくもりのあるまちづくりを推進するため、市に対する寄付金を広く募り、事業の財源にし、その思いを具現化する。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		5つのテーマにふるさと応援寄附金を受付し、その寄附金を財源に事業を実施する。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	寄附件数	件	53	48	55	500
	寄付金額	円	3,744,413	4,643,304	7,070,000	5,000,000
	本制度による実施事業	件	3	3	4	4

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.084	0.088	105	0.232	264	0.132	57	
	臨時職員	0.060	0.060	100	0.060	100	0.120	200	
支出内訳	人件費	1,109,498	1,186,157	107	2,232,218	188	1,678,422	75	
	事業費	4,501,906	5,216,706	116	7,440,775	143	8,299,000	112	
	合計	5,611,404	6,402,863	114	9,672,993	151	9,977,422	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,611,404	6,402,863	114	9,672,993	151	9,977,422	103	
	合計	5,611,404	6,402,863	114	9,672,993	151	9,977,422	103	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ふるさと応援事業の実施							
指標説明(式)		ふるさと応援寄附金を財源とした各テーマでの実施事業。							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	3	3	100.0	4	133.3	4	100.0	
	実績	3	3	100.0	4	133.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		特産品発送件数							
指標説明(式)		特産品PRの手段として、ふるさと応援寄附の高額寄附者に特産品を贈る。							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	30	30	100.0	30	100.0	500	1666.7	
	実績	31	29	93.5	38	131.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	寄附件数、寄附金額ともに増加しており、特に市外からの寄附者が増加していることから、歳入の増加につながっている。また、お礼の品として送付している特産品等を通じて市外への相生市のPRにも期待出来る。	5
	市民サービス	ふるさと応援寄附を財源として実施している事業により、市民サービスが向上している。また、お礼の品を選択制にしたことにより、寄附への関心を高め、利用してもらいやすい制度とした。	
効率性	手段の最適性	相生市の特産品PRの意味もこめて、高額寄附者(3万円以上)に対して牡蠣等や名産菓子等を贈った。	4
	執行体制の効率性	申込みに関してはホームページなどでも受け付けており、利便性の向上を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	1年単位で取り組んでおり、順調といえる。	4

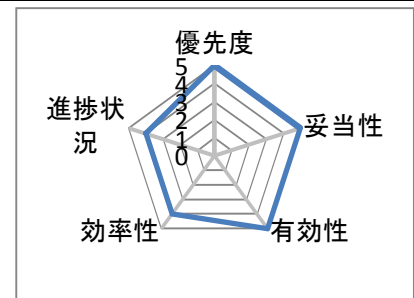
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	特産品に関して、牡蠣以外の贈答品を研究することで、年間を通じて贈答品が発送できる体制づくりが必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	ポータルサイトを活用することで、寄附者の増加を目指すとともに、効率的に事務を執行する。



配点	32.5
総合評価	30.5

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060101010200		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	自治基本条例策定事業	予算事業名				優先度	4
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課				
施策名(中)		市民力あふれるまちをめざす		担当課長	松尾 次郎	担当者名	富田 大三		
取組み事項		市民参加型のまちづくりシステムを構築する		実施計画への記載	無	主要事業の指定		有	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民等、執行機関、議会							
	誰(何)を対象として	市民等、執行機関、議会							
	意図(どのような状態にしたいのか)	参画と協働によるまちづくり							

2 事業の概要 Do

実施の概要		参画と協働のまちづくりを推進するための基本ルールである自治基本条例を運用する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	市民検討委員会	回	0	0	0	0	
	庁内検討委員会	回	0	0	0	0	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			事業費単位：円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.172	0.060	35	0.016	27	0.016	100	
	臨時職員	0.040	0.004	10	0.004	100	0.004	100	
支出内訳	人件費	1,737,134	833,133	48	475,042	57	452,998	95	
	事業費	87,885		0		－		－	
	合計	1,825,019	833,133	46	475,042	57	452,998	95	
財源内訳	国庫支出金			－		－		－	
	県支出金			－		－		－	
	市債			－		－		－	
	その他			－		－		－	
	一般財源	1,825,019	833,133	46	475,042	57	452,998	95	
	合計	1,825,019	833,133	46	475,042	57	452,998	95	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		自治基本条例の周知							
指標説明(式)		自治基本条例のための広報掲載回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	1	2	200.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	0	1	-	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		市民検討委員会開催回数							
指標説明(式)		自治基本条例の原案を作成する市民検討委員会の開催日数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	0	-	-	-	-	-	-	
	実績	0	-	-	-	-			

指標名2		庁内検討委員会開催回数							
指標説明(式)		条例を法的視点から精査する庁内検討委員会の開催回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	0	-	-	-	-	-	-	
	実績	0	-	-	-	-			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	地域創生総合戦略の実現には、協働が重要であるため、自治基本条例の本旨にそった計画づくりを行った。	4
	市民サービス	協働により市民等と共にまちづくりを進めていくことで新たな公のまちづくりが向上される。	
効率性	手段の最適性	地域創生のアンケートへやコスモストークなどにおいて参画と協働のPRを図った。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	各事業での参画と協働による取組みを進めている。	4

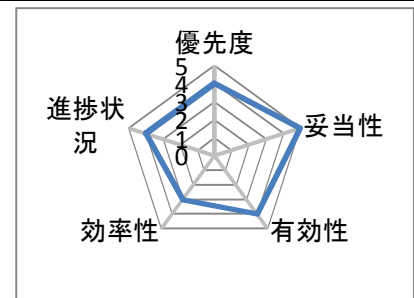
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	広報紙で特集をするなど、身近な参画と協働の事例紹介などが必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	身近な事例紹介など様々な手法により実践する。



配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060101010900		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	まちづくり活動支援事業	予算事業名	あいおい元気アップ支援事業	優先度	3		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部地域振興課				
施策名(中)		市民力あふれるまちをめざす		担当課長	松本 秀文	担当者名	破魔 和直		
取組み事項		市民参加型のまちづくりシステムを構築する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		あいおい元気アップ支援事業助成金交付要綱							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	まちづくり活動に既に取り組んでいる市民及びこれから取り組もうとする市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	まちづくり活動を自主的に行うグループに助成を行うことで、相生の元気の芽を育て、まちの活性化を図る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		まちづくり活動に取り組むグループに対する助成及びその他のサポート					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	元気アップ支援事業	申請数	4	2	3	3	

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員	0.120	0.092	77	0.044	48	0.112	255
	臨時職員	0.076	0.108	142	0.140	130	0.140	100
支出内訳	人件費	1,425,286	1,333,789	94	1,027,122	77	1,575,382	153
	事業費	624,800	320,900	51	165,000	51	485,000	294
	合計	2,050,086	1,654,689	81	1,192,122	72	2,060,382	173
財源内訳	国庫支出金		0	-		-		-
	県支出金		0	-		-		-
	市債		0	-		-		-
	その他		0	-		-		-
	一般財源	2,050,086	1,654,689	81	1,192,122	72	2,060,382	173
	合計	2,050,086	1,654,689	81	1,192,122	72	2,060,382	173

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		まちづくり活動支援事業申請数							
指標説明(式)		まちづくり活動支援事業申請数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	4	3	75.0	2	66.7	3	150.0	
	実績	4	2	50.0	3	150.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		1助成グループに要するコスト							
指標説明(式)		事業費(助成金除く) / 認定グループ数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	356321	546860	153.5	350000	64.0	350000	100.0	
	実績	362521	677344	186.8	347374	51.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	本事業をきっかけとして、自主的に活動を行うグループ、人材が助成終了後も継続し活動を行っている。	4
	市民サービス	助成グループが自主性や創造性を発揮し、多様な活動を行うことでまちの活性化に寄与している。	
効率性	執行体制の効率性	補助額に対し、制度体制が審査会、報告会などの開催などにより事業費がかかっており効率性に欠けている。	3
	手段の最適性	公開審査会、公開報告会により、活動の透明性を確保し、適正に予算を執行できている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市内各団体へ助成を行っており、まちの活性化には一定の成果があった。	4

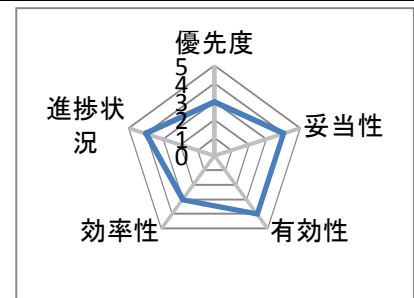
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	各団体からの要望がイベントが中心となってしまう。定期的な活動の支援や収益性も考慮した活動支援の検討が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	例年、申請者と報告者が同じで取組も同じとなっており審査会、報告会を行っていたため同日開催とし経費節減を図る。



配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060101011000		事業の種類		4
年度	27	事務事業名	市民活動サポート事業	予算事業名	コミュニティ推進事業	優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		市民力あふれるまちをめざす		担当課長	松本 秀文	担当者名	志水 弘樹
取組み事項		市民参加型のまちづくりシステムを構築する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	自主的な市民活動を行うグループ(自治会を含む)・個人					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の自主的な活動を支援し、市民と行政の協働のまちづくりを推進する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域振興課内の「まちづくり交流室」を市民活動に自由に使えるスペースとし、市民の活動拠点とする。 また、イベント用テントや草刈機の貸出しを行う。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	まちづくり交流室利用数	回	130	130	130	
	イベント用テントの貸出し	張	287	289	228	
	草刈り機の貸出し	台	188	104	90	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			一般会計		事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100		
	参事以下職員	0.108	0.072	67	0.044	61	0.064	145		
	臨時職員	0.140	0.232	166	0.317	137	0.260	82		
支出内訳	人件費	1,489,266	1,480,149	99	1,472,985	100	1,522,918	103		
	事業費	235,264	1,123,105	477	165,405	15	204,000	123		
	合計	1,724,530	2,603,254	151	1,638,390	63	1,726,918	105		
財源内訳	国庫支出金		0	-		-		-		
	県支出金		0	-		-		-		
	市債		0	-		-		-		
	その他		0	-		-		-		
	一般財源	1,724,530	2,603,254	151	1,638,390	63	1,726,918	105		
	合計	1,724,530	2,603,254	151	1,638,390	63	1,726,918	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		まちづくり交流室の利用件数							
指標説明(式)		まちづくり交流室の利用件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	150	130	86.7	130	100.0		0.0	
	実績	130	130	100.0	130	100.0			
指標名2		イベント用テント及び草刈り機の貸出し件数							
指標説明(式)		イベント用テント及び草刈り機の貸出し件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
台	目標	440	500	113.6	450	90.0	450	100.0	
	実績	475	393	82.7	318	80.9			

【効率性】

指標名1		まちづくり交流室の利用率							
指標説明(式)		まちづくり交流室の利用回数/利用可能回数(開館日×2単位(AM・PM)×100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	22	26.5	120.5	20	75.5	20	100.0	
	実績	18.7	18.7	100.0	18.7	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	効率良く貸出できるように努めている。	4
	市民サービス	定期的に貸出し物品の入れ替えや修繕を行い、適正な管理に努めている。	
効率性	コストの節減	利用者に安全かつ丁寧な利用を呼びかけ、物品の破損等を未然に防ぐ。	4
	手段の最適性	現在は大きなトラブルはなく、貸出が行われている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	適正に運営している。	4

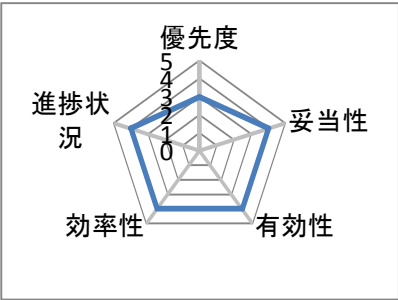
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	受付業務を行っていた市民会館が平成27年度で廃止となりこれまでどおりの貸付業務を行うための検討が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	適正利用のため定期的な点検の必要がある。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		060101011100		事業の種類		5	
年度	27	事務事業名	地域づくり協働事業	予算事業名	地域づくり協働事業	優先度	1
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		市民力あふれるまちをめざす		担当課長	松尾 次郎	担当者名	富田 大三
取組み事項		市民参加型のまちづくりシステムを構築する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市地域づくり協働事業助成金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校区単位又は連合自治会単位の地縁団体、まちづくり活動に取り組むことを目的とし、自主的に組織された団体。					
	誰(何)を対象として	地域で取り組む地域経営や課題解決					
	意図(どのような状態にしたいのか)	自治会を中心に地域の活性化が図られ、自立した地域経営や地域の様々な課題解決を行う持続可能な地域社会をつくる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域づくり検討支援事業・・・地域課題の取りまとめや解決に向けて、自主的に研究する学習活動や地域の活力づくりのための住民が主体的に地域資源の活用、掘り起こしを行う事業や地域づくりのプラン作成に要する費用への助成。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	地域づくり検討支援事業	件	0	0	0	-	
	地域づくり提案型協働事業	件	2	2	0	-	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分		一般会計		事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.044	0.032	73		0		-	
	臨時職員	0.004	0.004	100		0		-	
支出内訳	人件費	665,322	616,189	93	345,254	56	316,446	92	
	事業費	713,000	924,000	130	0	0		-	
	合計	1,378,322	1,540,189	112	345,254	22	316,446	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,378,322	1,540,189	112	345,254	22	316,446	92	
	合計	1,378,322	1,540,189	112	345,254	22	316,446	92	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地域づくり提案型協働事業							
指標説明(式)		事業に申請し、決定された事業数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3	3	100.0	2	66.7	-	-	
	実績	2	2	100.0	0	0.0			
指標名2		地域づくり検討支援事業							
指標説明(式)		事業に申請し、決定された事業数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3	3	100.0	1	33.3	-	-	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

指標名1		提案審査会開催数							
指標説明(式)		提案型事業に対する審査会開催回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	2	2	100.0	2	100.0	-	-	
	実績	2	2	100.0	0	0.0			
指標名2		提案事業の事業費に対する助成金の割合							
指標説明(式)		市の助成金÷提案事業全体事業費							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	80	80	100.0	80	100.0	-	-	
	実績	99.8	94.2	94.4	0	0.0			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	地域の課題を掘り起こすきっかけづくりとして重要と考えているが申請がないということは、有効に機能していないと評価する。	2
	市民サービス	利用がないため、有効性を判断することは困難である。	
効率性	負担割合の適正化	助成期間が3年と限られているため、助成期間終了後の事業継続のために自己資金の方策について交付団体に検討を依頼。	2
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成27年度で事業廃止とする。	2

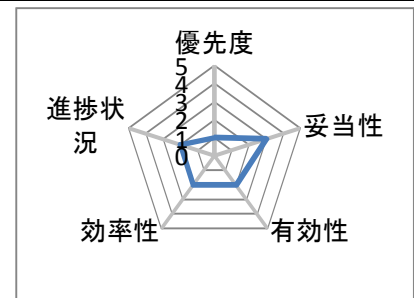
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	重要な施策であるが、利用がないため別の手法による協働事業を検討する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	地域が望む協働事業への行政の関わり方に沿った事業を新設する。



配点	32.5
総合評価	12.5

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060101011200		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	地方創生事業	予算事業名	地方創生事業		優先度	－	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課				
施策名(中)		市民力あふれるまちをめざす		担当課長	松尾 次郎		担当者名	富田 大三	
取組み事項		市民参加型のまちづくりシステムを構築する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	有	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		まち・ひと・しごと創生法							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	地方創生事業により、地域の活性化や人口減少対策を図る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		人口減少対策及び地域活性化を目的とし、各施策を戦略的に実施するため、地方版総合戦略として相生市人口ビジョン・地域創生総合戦略を策定する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	戦略会議開催数	回	—	—	3	—	
	地方創生推進本部会	回	—	—	12	—	
	地方創生推進委員会	回	—	—	4	—	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.026	100	
	参事以下職員			-	1.356	-	0.764	56	
	臨時職員			-	0.020	-	0.008	40	
支出内訳	人件費			-	10,541,226	-	6,341,606	60	
	事業費			-	9,801,000	-		0	
	合計			-	20,342,226	-	6,341,606	31	
財源内訳	国庫支出金			-	9,801,000	-		0	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	10,541,226	-	6,341,606	60	
	合計			-	20,342,226	-	6,341,606	31	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地域創生戦略会議委員数							
指標説明(式)		相生市もっと活力上昇計画策定における外部組織参画者数(産・官・学・金・労・言)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	—	—	—	—	—	—	—	
	実績	—	—	—	10	—			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—			

【効率性】

指標名1		市民アンケート回答者数							
指標説明(式)		相生市もっと活力上昇計画策定における市民アンケート回答者数(市民と高校生)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	1,116	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	「産・官・学・金・労・言・市民」の各分野の参画による計画策定は、計画の実効性のうえでも有効である。	5
	上位施策への貢献度	最上位計画である総合計画の目標達成に向け、実効性を伴った戦略として密接に連携した計画を策定した。	
効率性	手段の最適性	計画策定時のアンケートにおいて、通常のアンケートに加え、40歳未満や高校生など世代を区切った調査を実施したことにより、効率的にその世代の意見集約が図れた。	5
	執行体制の効率性	計画策定において、専門的な部分と策定期間が短いことから、効率的に進めるため業者委託を活用するとともに、計画の周知については概要版を作成することで周知を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	人口ビジョン及び総合戦略の策定としては、平成27年度末という期限までに策定した。	5

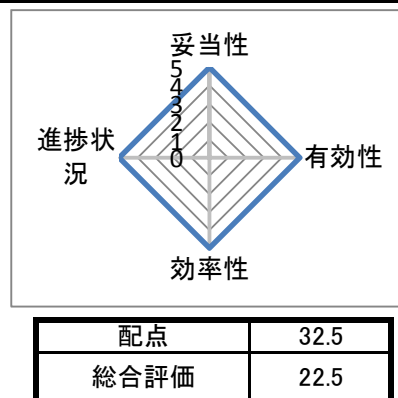
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	計画策定は完了したため、今後は、計画推進に向けた進捗把握が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	計画内の各施策でアクションプログラムを設定し、KPIなどの指標数値を毎年度把握して進捗把握を行う。



事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060101020100		事業の種類		4
年度	27	事務事業名	総合補償保険事業	予算事業名	相生市総合補償保険事業	優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		市民力あふれるまちをめざす		担当課長	松本 秀文	担当者名	岡本 智子
取組み事項		コミュニティ活動を活性化する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市主催・共催行事において事故にあった参加者					
	誰(何)を対象として	市主催・共催行事参加者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	従来、市が行事を主催・共催する場合の障害保険の加入はその都度主管課が行っていたが、一括して加入することにより、加入漏れ等の誤りを防ぎ、市民が行事に安心して参加できる					

2 事業の概要 Do

実施の概要		年度中に行われる市主催・共催の市民参加事業について、まちづくり推進室が窓口となり保険に加入する。事業内容によって保険料が異なるが、死亡500万、後遺障害 上限500万、入院3500円、通院2300円が補償される。							
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画			
	総参加者数	人	78875	79520	79018	87214			
	事故件数	件	7	4	2	3			

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.012	0.004	33	0.044	1,100	0.044	100	
	臨時職員	0.092	0.080	87	0.180	225	0.300	167	
支出内訳	人件費	634,146	583,925	92	1,127,882	193	1,473,998	131	
	事業費	2,540,653	2,381,678	94	1,970,520	83	2,788,000	141	
	合計	3,174,799	2,965,603	93	3,098,402	104	4,261,998	138	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,174,799	2,965,603	93	3,098,402	104	4,261,998	138	
	合計	3,174,799	2,965,603	93	3,098,402	104	4,261,998	138	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		保険加入事業への参加者数							
指標説明(式)		保険加入事業への参加者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	82622	90642	109.7	86624	95.6	87214	100.7	
	実績	78875	79520	100.8	79018	99.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		保険加入事業への参加者一人当りのコスト							
指標説明(式)		事業費(保険料)÷保険加入事業への参加者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	38.7	34.0	87.9	35	102.9	35	100.0	
	実績	32.2	38.9	120.8	24.8	63.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	万が一、事故が発生した場合に補償が得られる。	5
	期待する目標	市民が安心して、行事に参加できる。	
効率性	手段の最適性	これまで主管課が個別に加入していたが、一括して加入することにより事務の効率化及び加入漏れ等を防ぐことができる。	3
	執行体制の効率性	事業実施主管課と保険事務主管課が違うため、参加人数の把握等の事務処理がスムーズにできない現状がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事故の抑制に向け、注意喚起をしている。	3

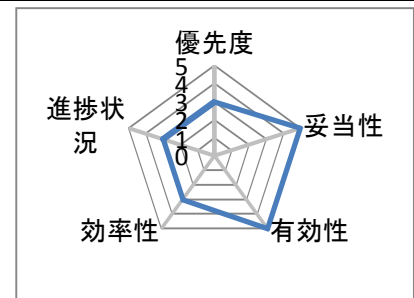
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性		主催部署における行事等の参加予定人数及び実績人数の適正な把握

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性		庁内での実績報告・事故報告の迅速化を図るため、掲示板において喚起する。



配点	32.5
総合評価	24.5

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060101020200		事業の種類		4
年度	27	事務事業名	連合自治会事務局事業	予算事業名	地域自治支援事業	優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		市民力あふれるまちをめざす		担当課長	松本 秀文	担当者名	志水 弘樹
取組み事項		コミュニティ活動を活性化する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市連合自治会に加入している市民					
	誰(何)を対象として	相生市連合自治会					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市連合自治会の事務局として、各自治会の活動をサポートすることにより、健全なコミュニティの育成と活性化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市連合自治会の運営、総務会・総会の開催、上部団体への活動参加を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	総務会・総会の開催	回	13	12	12	12	
	県・国連合自治会	回	10	10	10	10	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			一般会計		事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100		
	参事以下職員	0.164	0.148	90	0.148	100	0.152	103		
	臨時職員	0.448	0.414	92	0.420	101	0.412	98		
支出内訳	人件費	2,671,566	2,511,257	94	2,510,570	100	2,625,734	105		
	事業費	2,342,990	2,335,610	100	4,830,760	207	3,448,000	71		
	合計	5,014,556	4,846,867	97	7,341,330	151	6,073,734	83		
財源内訳	国庫支出金		0	-		-		-		
	県支出金		0	-		-		-		
	市債		0	-		-		-		
	その他		0	-	2,500,000	-		0		
	一般財源	5,014,556	4,846,867	97	4,841,330	100	6,073,734	125		
	合計	5,014,556	4,846,867	97	7,341,330	151	6,073,734	83		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		連合自治会総務会(総会含む)の開催回数							
指標説明(式)		連合自治会総務会(総会含む)の開催回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回数	目標	13	13	100.0	13	100.0	12	92.3	
	実績	13	12	92.3	12	100.0			
指標名2		連合自治会加入世帯数							
指標説明(式)		連合自治会加入世帯数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
世帯数	目標	10500	10500	100.0	10500	100.0	10100	96.2	
	実績	10215	10136	99.2	10099	99.6			

【効率性】

指標名1		連合自治会加入1世帯あたりに係る運営コスト							
指標説明(式)		事業費(宝くじ助成分除く)／連合自治会加入世帯数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	486	567	116.7	500	88.2	500	100.0	
	実績	490	478	97.6	479	100.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	自治会への加入世帯が年々減少している。	3
	市民サービス	市民に必要な情報提供等を実施している。	
効率性	手段の最適性	自治会回覧は、市事業の市民への周知方法でいえば、広報紙に次ぐ、効果の高い方法である。	4
	手段の最適性	毎月、連合自治会総務会を開催することにより、連合自治会相互のコミュニケーションが図れる。また、行政側も情報提供、協力要請の場として有効である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	適正に運営されている。	4

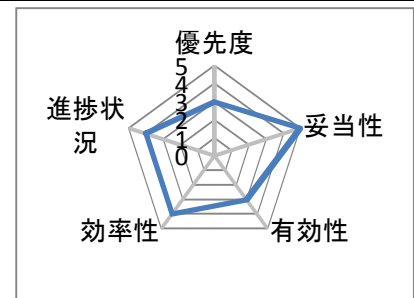
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	相生市連合自治会に未加入の自治会への行政サービスが低下している。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	総務会で情報交換を活発に行うことで連合自治会への加入意義を高める。



配点	32.5
総合評価	24.5

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060101020300		事業の種類		7
年度	27	事務事業名	集会所等設置費助成事業	予算事業名	集会所等設置費助成事業	優先度	3
		まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部地域振興課	
		施策名(中)	市民力あふれるまちをめざす		担当課長	松本 秀文	担当者名 志水 弘樹
		取組み事項	コミュニティ活動を活性化する		実施計画への記載	有	主要事業の指定 無
実施計画事業名		集会所等設置費助成事業					
根拠法規及び関連法規		相生市集会所等の設置助成に関する規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	自治会					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域住民の活動拠点施設の整備費を助成することで、コミュニティ活動の活性化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		自治会の所有する集会施設の新築及び改修に要する経費(1/2)を助成					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	助成件数	件	5	5	3	1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員	0.032	0.028	88	0.084	300	0.060	71
	臨時職員	0.020	0.072	360	0.040	56	0.016	40
支出内訳	人件費	612,134	750,437	123	1,074,502	143	831,222	77
	事業費	1,620,000	6,150,000	380	830,000	13	210,000	25
	合計	2,232,134	6,900,437	309	1,904,502	28	1,041,222	55
財源内訳	国庫支出金		0	-		-		-
	県支出金		0	-		-		-
	市債		0	-		-		-
	その他		0	-		-		-
	一般財源	2,232,134	6,900,437	309	1,904,502	28	1,041,222	55
	合計	2,232,134	6,900,437	309	1,904,502	28	1,041,222	55

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成件数							
指標説明(式)		助成件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件数	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	5	5	100.0	3	60.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		助成1件あたりに係るコスト							
指標説明(式)		事業費(助成額を除く)／助成件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	100296	150000	149.6	300000	200.0	500000	166.7	
	実績	122426	150087	122.6	358167	238.6			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	集会施設の改善により、地域住民が利用しやすくなり、サービス向上につながる。	4
効率性	負担割合の適正化	地域コミュニティが希薄化する中で、その核となる施設の改修費等にかかる事業費の1／2の負担は適当であるが事業内容についてチェックが必要と考える。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

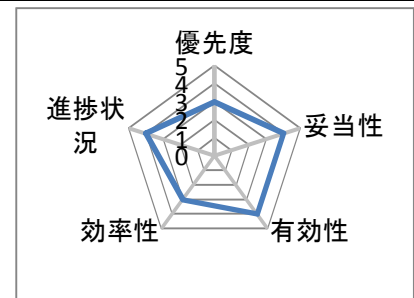
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	事業内容について、工法など建築担当と連携をとる体制を整備する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	自治会長が毎年交代している地区などにおいて、制度の周知と活用方法のアドバイスなどが必要である。



配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060101020400		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	地域コミュニティ活性化事業		予算事業名	地域コミュニティ活性化事業		優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		市民力あふれるまちをめざす			担当課長	松本 秀文		担当者名	破魔 和直
取組み事項		コミュニティ活動を活性化する			実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	地域住民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域住民と行政による協同のまちづくりを推進するため、地域コミュニティ活性化アドバイザー・推進員各1名の配置をし、地域の課題に対する助言や、行政とのパイプ役となり、コミュニティ							

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域単位を小学校区とし、県民交流広場と連携しながら、地域課題を抽出し、課題の解決に取り組んでいけるよう支援することにより、地域の活性化を図る。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	地域の現状、課題の把握	地区数	8	8	8	0	
	地域活動の支援	件数	8	8	8		

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員	0.208	0.128	62	0.040	31	0.068	170
	臨時職員	0.036	0.092	256	0.040	43	0.084	210
支出内訳	人件費	2,004,102	1,573,837	79	745,294	47	1,078,094	145
	事業費	2,366,314	2,420,300	102	355,142	15	0	0
	合計	4,370,416	3,994,137	91	1,100,436	28	1,078,094	98
財源内訳	国庫支出金		0	-		-		-
	県支出金		0	-	175,000	-		0
	市債		0	-		-		-
	その他		0	-		-		-
	一般財源	4,370,416	3,994,137	91	925,436	23	1,078,094	116
	合計	4,370,416	3,994,137	91	1,100,436	28	1,078,094	98

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地域の現状、課題の把握							
指標説明(式)		地域の現状、課題の把握							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件数	目標	4	8	200.0	8	100.0	0	0.0	
	実績	8	8	100.0	8	100.0			
指標名2		地域活動の支援							
指標説明(式)		地域活動の支援							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件数	目標	4	8	200.0	8	100.0	0	0.0	
	実績	8	8	100.0	8	100.0			

【効率性】

指標名1		地域活動支援1件あたりに係るコスト							
指標説明(式)		事業費(人件費を除く)／活動支援地区数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1141250	564375	49.5	300000	53.2		0.0	
	実績	295789	302537	102.3	93161	30.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新しい課題に取り組んでいる地域もある。	3
	市民サービス	住民の意見や自主性を誘発するきっかけになるため、住民サービスにつながる。	
効率性	執行体制の効率性	地域コミュニティアドバイザーや推進員の勤務については、地域活動の日程や時間に合わせて、フレキシブルに行っている。	3
	手段の最適性	行政主導型から、住民自発型に推進するためのパイプ役として必要である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	すぐに成果がでる事業ではないが、成果が表れた地域もあり、必要な施策である。	3

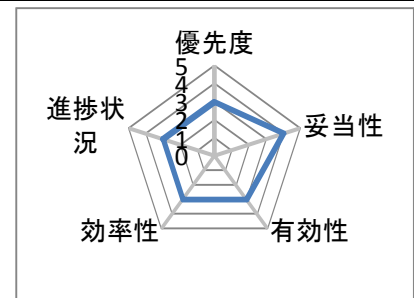
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	各地域において制度活用がなされ市の関わりも目途がついた

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	地域の課題も改善され事業目的が達成したため廃止とする。



配点	32.5
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060101020500		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	地縁団体事業		予算事業名			優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		市民力あふれるまちをめざす			担当課長	松本 秀文		担当者名	志水 弘樹
取組み事項		コミュニティ活動を活性化する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		地方自治法第260条の2							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	自治会							
	意図(どのような状態にしたいのか)	地縁団体の認可を行うことで自治会名義で不動産登記が行うことができる。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		地縁団体の認可事務					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	地縁団体認可件数	件	1	0	0	0	
	証明書発行件数	件	5	1	3	3	

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.040	500	0.036	90	
	臨時職員	0.036	0.028	78	0.040	143	0.016	40	
支出内訳	人件費	466,702	488,557	105	745,294	153	642,630	86	
	事業費			-		-		-	
	合計	466,702	488,557	105	745,294	153	642,630	86	
財源内訳	国庫支出金		0	-		-		-	
	県支出金		0	-		-		-	
	市債		0	-		-		-	
	その他		0	-	900	-		0	
	一般財源	466,702	488,557	105	744,394	152	642,630	86	
	合計	466,702	488,557	105	745,294	153	642,630	86	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地縁団体認可件数							
指標説明(式)		許可件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	0	0.0	0	-	0	-	
	実績	1	0	0.0	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1		認可1件あたりに係るコスト							
指標説明(式)		事業費／認可件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	542506	786941	145.1	450000	57.2		0.0	
	実績	466702	488577	104.7	745294	152.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	達成できている。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	証明書の発行等、法令に基づいて事務処理を行う。	
効率性	コストの節減	事務の省力化に努めた。	3
	執行体制の効率性	件数が少ないため、手作業が有効であるが、事務処理の効率は悪い。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	適正に実施されている。	4

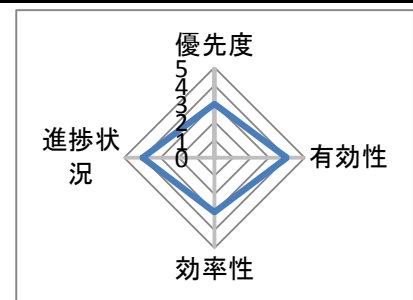
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	認可にあたっての資料作りは自治会の負担が大きい

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	事務マニュアルにより迅速かつ丁寧な業務を行う



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060101020700	事業の種類		2	
年度	27	事務事業名	佐方福祉センター維持管理事業	予算事業名	佐方福祉センター管理事業	優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		市民力あふれるまちをめざす		担当課長	宇久 勝志	担当者名	三谷 真美
取組み事項		コミュニティ活動を活性化する		実施計画への記載		主要事業の指定	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市立佐方福祉センターの設置及び管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	佐方福祉センター					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地元住民の福祉向上に努めるとともに、センターの利便性を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		福祉センターの維持管理事業(平成20年～ 地元佐方連合自治会へ指定管理)					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	施設の点検	円	1,912,575	1,648,220	44,280	77,000	
	遊具等の修繕等	円	0	0	280,800	0	
	管理委託料	円	740,723	740,111	749,386	800,000	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分		一般会計		事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.204	0.184	90	0.184	100	0.192	104	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,885,478	1,784,165	95	1,721,942	97	1,825,182	106	
	事業費	3,413,498	36,206,094	1,061	1,074,466	3	877,000	82	
	合計	5,298,976	37,990,259	717	2,796,408	7	2,702,182	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,298,976	37,990,259	717	2,796,408	7	2,702,182	97	
	合計	5,298,976	37,990,259	717	2,796,408	7	2,702,182	97	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用量							
指標説明(式)		年間利用件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	300	300	100.0	240	80.0	260	108.3	
	実績	239	220	92.1	269	122.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		事業費							
指標説明(式)		指定管理に係る管理経費							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	800,000	800,000	100.0	800,000	100.0	800,000	100.0	
	実績	763,130	740,111	97.0	749,386	101.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	地域住民の福祉向上に貢献している。	4
効率性	コストの節減	施設の管理運営に対する経費負担等明確にすることにより、経費削減に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

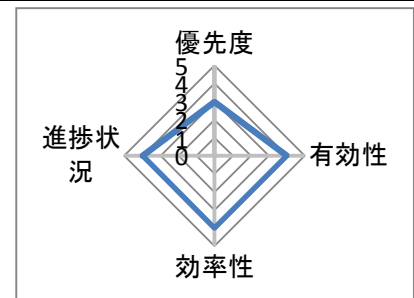
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	耐震化工事も終了し、それに伴い主要な設備も改善した。しかし、老朽化していることも間違いのない施設であるので、適正な維持管理が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	継続して適切な維持管理を行う。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060102010100		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	広報事業	予算事業名	広報事業		優先度	4	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課				
施策名(中)		情報提供の充実を図る		担当課長	松尾 次郎		担当者名	寺田 知広	
取り組み事項		情報発信力を強化する		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	全市民							
	誰(何)を対象として	全市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	行政に関する様々な情報を提供することにより、市政への関心度を高め、住民参加、協働のまちづくりの支援の役割を果たす。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		月1回の広報紙の発行により市民への情報提供を行い、市民参画の広報づくりに取り組んでいる。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	広報紙発行	部	164,100	164400	164400	164400	
	報道各社への情報提供	件	196	229	240	250	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	
	参事以下職員	0.824	0.732	89	0.652	89	0.672	
	臨時職員	0.780	0.640	82	0.560	88	0.560	
支出内訳	人件費	8,555,398	7,585,269	89	6,634,158	87	7,112,382	
	事業費	6,569,060	6,985,032	106	6,590,433	94	7,798,000	
	合計	15,124,458	14,570,301	96	13,224,591	91	14,910,382	
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他	1,014,000	817,000	81		0		
	一般財源	14,110,458	13,753,301	97	13,224,591	96	14,910,382	
	合計	15,124,458	14,570,301	96	13,224,591	91	14,910,382	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		広報紙の総発行部数							
指標説明(式)		1回あたりの発行部数×月1回×12ヶ月							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	163,200	164,100	100.6	164,400	100.2	164,400	100.0	
	実績	164,100	164,400	100.2	164,400	100.0			
指標名2		報道各社への情報提供							
指標説明(式)		情報提供件数(市以外の機関からの情報提供を除く)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	180	200	111.1	250	125.0	250	100.0	
	実績	196	229	116.8	240	104.8			

【効率性】

指標名1		広報紙発行コスト							
指標説明(式)		一部当たりの単価 (印刷製本費－有料広告費)÷(発行部数) (有料広告は、平成17年度から採用)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	30	30	100.0	30	100.0	30	100.0	
	実績	23.4	26.6	113.7	23.9	89.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	広報紙は、興味をもてる記事と市政に関わる情報を入れ、市民にとって読みやすいように編集している。新聞各社に対しては、継続的に情報を提供し、行政の取り組みを掲載してもらうことで、まちづくり活動の活性化につなげている。	4
	市民サービス	全世帯への配布により、市民全てが情報を入手できる状態にある。新聞社5社及びNHKに情報を提供し、報道機関を活用した情報発信を行っている。	
効率性	コストの節減	広報紙については、有料広告の採用によって、発行コストの削減に繋がっている。	4
	手段の最適性	市政情報を全世帯へお知らせできる重要な手段である。報道各社による記事掲載により市外に向けた情報発信も可能となっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	担当職員の研修、有料広告の募集、市内コンビニ店等への広報紙配置を実施	4

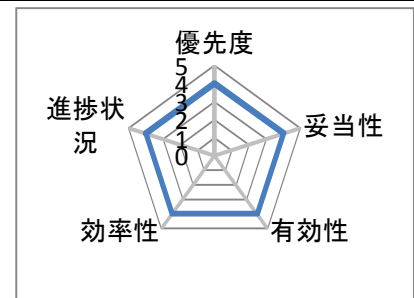
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	広報紙がどの程度読まれ、市の情報を知るツールとして活用されているのかを図る手段がない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	市民にとってなくてはならない魅力ある広報紙面を作成する。



配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060102010200		事業の種類		4
年度	27	事務事業名	まちかど出前講座事業	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		情報提供の充実を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名	寺田 知広
取組み事項		情報発信力を強化する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	全市民(行政情報を発信することによる市民と協働のまちづくりの実現)					
	誰(何)を対象として	全市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市政情報や行政の施策を直接説明することで、市政に対する関心を高めて、市民参加の協働のまちづくりを進める。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市内に在住している中学生以上の10人以上のグループ等の求めに応じ、普段、市政について疑問に思っていることなど、市職員がわかりやすく説明を行うもの。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	まちかど出前講座	人	289	560	1995	600
	まちかど出前講座回数	回	7	16	18	20

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			事業費単位：円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.024	0.048	200	0.048	100	0.048	100	
	臨時職員	0.020	0.020	100	0.020	100	0.020	100	
支出内訳	人件費	550,638	779,037	141	754,770	97	747,750	99	
	事業費			-		-		-	
	合計	550,638	779,037	141	754,770	97	747,750	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	550,638	779,037	141	754,770	97	747,750	99	
	合計	550,638	779,037	141	754,770	97	747,750	99	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		平均受講者数							
指標説明(式)		延べ受講者数÷延べ講座開催回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	35	30	85.7	35	116.7	30	85.7	
	実績	41	35	85.4	111	317.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		講座1回あたりに要した事業費							
指標説明(式)		事業費÷延べ講座開催回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	300000	85658	28.6	45000	52.5	40000	88.9	
	実績	78662	48690	61.9	41932	86.1			

指標名2		参加者一人あたりに要した事業費							
指標説明(式)		事業費÷延べ受講人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	8000	3000	37.5	1500	50.0	500	33.3	
	実績	1905	1391	73.0	378	27.2			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	担当市職員が、直接説明を行うことにより、理解が深まる。	4
	市民サービス	実施回数が増加し、年齢層も高校生から大人までの実施があり、事業の有効性が高まっている。	
効率性	手段の最適性	市民のニーズに合った講座内容を検討していく。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	継続して周知しており、実施回数も年々増加している。	4

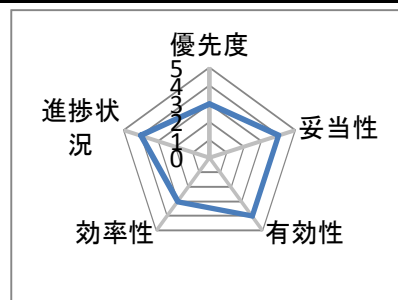
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	申込が多い講座以外も広く周知することが必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	見直した講座を中心に幅広く周知していく。



配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		060102010300		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	情報公開・個人情報保護等事業	予算事業名	情報公開・個人情報保護事業	優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名 企画総務部総務課			
施策名(中)		情報提供の充実を図る		担当課長	三宅 淳一	担当者名	宮下 忠和
取り組み事項		情報発信力を強化する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市情報公開条例 個人情報保護条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	すべての市民					
	誰(何)を対象として	すべての市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市政に係る情報を公開することにより、市民の市政参加を促進し、市政に対する市民の信頼と理解が深まるようになる。公開請求した公文書が適格に公開され、希望する情報が入手できる					

2 事業の概要 Do

実施の概要		情報公開・個人情報保護事業					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	公文書公開請求件数	件	10	11	15	10	
	公文書公開件数	件	10	9	13	10	
	個人情報開示請求件数	件	1	7	3	2	
	個人情報開示件数	件	0	3	3	2	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位：円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.052	0.052	100	0.052	100	0.072	138	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	717,054	761,429	106	734,318	96	882,222	120	
	事業費	65,380	3,180	5	64,380	2,025	400,000	621	
	合計	782,434	764,609	98	798,698	104	1,282,222	161	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	782,434	764,609	98	798,698	104	1,282,222	161	
	合計	782,434	764,609	98	798,698	104	1,282,222	161	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		公開件数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
	実績	10	9	90.0	13	144.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		公開1件当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)/公開件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	88419	78650	89.0	91453	116.3	128222	140.2	
	実績	78243	84957	108.6	61438	72.3			
指標名2		公開率							
指標説明(式)		公開件数(部分公開含む)/公開請求件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	91	67	73.6	89	132.8			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	請求件数に応じて増減するので、この数値を成果目標として捉えることは難しいと考えるが、15件の公開請求があり、公開2件、部分公開11件、文書不存在2件となっており、的確に公開できた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	条例に基づき、公開できる行政情報については、情報公開できた。	
効率性	コストの節減	請求件数に応じて増減するので、この数値を成果として捉えることは難しいと考えるが、請求件数は増となったが、文書不存在として公開できない事案があったため、公開件数が減となりコストは増となった。	4
	執行体制の効率性	現行の状態で最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	引き続き実施していく。	4

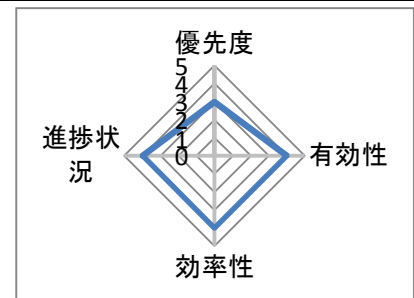
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	今後、情報公開件数の増加及び請求文書の複雑化などが予想されるが、遅滞なく事務処理を行う必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	請求された公文書を情報公開条例に基づき、迅速・的確に開示する。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060102010400		事業の種類		0	
年度	27	事務事業名	地価公示閲覧事業	予算事業名				優先度	－
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部税務課				
施策名(中)		情報提供の充実を図る		担当課長	山崎 久司	担当者名	河本 和彦		
取組み事項		情報発信力を強化する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規			地価公示法、地方自治法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	正常な価格などに関する情報を入手・利用したい人							
	誰(何)を対象として	窓口来庁者並びに電話での問い合わせでの依頼者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	正常な価格を公示し、一般の土地の取引価格に対しての指標、及び公共の利益となる土地に対する適正な補償金の額の算定等に資し、適正な地価の形成に寄与すること。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		・地価公示標準地数・閲覧者数					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	地価公示標準地数	点	12	12	12	12	
	閲覧者数	人	0	0	0		

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	317,330	358,533	113	345,254	96	316,446	92	
	事業費			-		-		-	
	合計	317,330	358,533	113	345,254	96	316,446	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	317,330	358,533	113	345,254	96	316,446	92	
	合計	317,330	358,533	113	345,254	96	316,446	92	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		閲覧者数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
	実績	0	0	－	0	－			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			－		－		－	
	実績			－		－			

【効率性】

指標名1		一人当たりの閲覧者にかかるコスト							
指標説明(式)		事業費÷閲覧者数(予定閲覧者数10名)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	27040	32418	119.9	30911	95.4	31644	102.4	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	来庁し、閲覧を希望する者がいなかったため、変化は生じていない。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	地価公示法第7条第2項の規定に則し、一般の閲覧に供し得る状態である。	
効率性	手段の最適性	閲覧者がいないため、閲覧場所(税務課1箇所)を継続する。	3
	執行体制の効率性	妥当である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	必要とされるレベルに到達している。	4

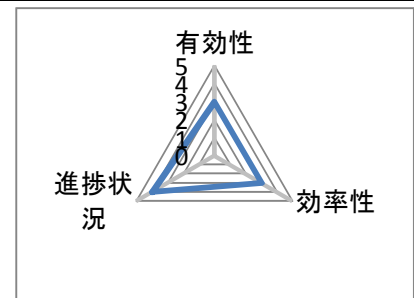
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令に基づき適切に遂行されているため、現状の体制を維持していく。



配点	32.5
総合評価	10

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060102010500		事業の種類		4
年度	27	事務事業名	ホームページ整備事業	予算事業名	ホームページ整備事業	優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		情報提供の充実を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名	寺田 知広
取組み事項		情報発信力を強化する		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		ホームページ保守					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市ホームページへアクセスする人					
	誰(何)を対象として	相生市ホームページへアクセスする人					
	意図(どのような状態にしたいのか)	情報発信の重要な媒体として、全ての課から情報を更新し、提供できるような環境を構築し、市の業務や手続方法、行事案内等アクセスした人が知りたい情報をいち早く提供する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		CMSを使ったホームページの運用を行っている。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	ホームページ更新件数	件	2771	2351	2513	2600	
	アクセス件数	件	370865	447924	441326	440000	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100		
	参事以下職員	0.344	0.188	55	0.200	106	0.200	100		
	臨時職員	0.200	0.100	50	0.100	100	0.100	100		
支出内訳	人件費	3,449,858	2,058,157	60	2,093,554	102	2,158,646	103		
	事業費	1,964,340	2,020,464	103	2,020,464	100	2,021,000	100		
	合計	5,414,198	4,078,621	75	4,114,018	101	4,179,646	102		
財源内訳	国庫支出金			-		-		-		
	県支出金			-		-		-		
	市債			-		-		-		
	その他		210,000	-		0		-		
	一般財源	5,414,198	3,868,621	71	4,114,018	106	4,179,646	102		
	合計	5,414,198	4,078,621	75	4,114,018	101	4,179,646	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ホームページへのアクセス件数(1月あたり)							
指標説明(式)		年間アクセス数÷12							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	31000	31000	100.0	38000	122.6	38000	100.0	
	実績	30905	37327	120.8	36777	98.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		1アクセスに要する経費							
指標説明(式)		事業費(人件費含む)÷年間アクセス数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	16	14	87.5	9	64.3	9	100.0	
	実績	15	9	60.0	9	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	市の事業を分かりやすく、かつ迅速に発信する。	3
	市民サービス	それぞれの業務担当において、市民のニーズに迅速に対応できる情報提供が可能となった。	
効率性	コストの節減	平成24年10月以降、CMSでの運用になり、ハード面の機器更新が不要となったため、費用が削減されている。	4
	手段の最適性	市民に分かりやすい情報を迅速に提供できる。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	各業務担当において迅速な情報提供が進むよう、ホームページのチェックとCMSの操作指導などを個別に行っている。	3

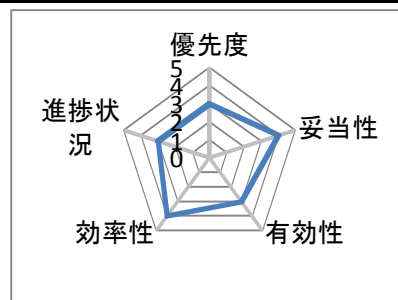
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	見やすいページ、見たい情報がすぐに見られるホームページになっているかどうかを図るものがない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	期待する目標	各ページの更新・リンク切れのチェックを行い、各部署の意識の向上を図る。



配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060102010600		事業の種類		4
年度	27	事務事業名	相生市定住促進PR事業	予算事業名	相生市定住促進PR事業	優先度	4
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部定住促進室		
施策名(中)		情報提供の充実を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名	北條 麻梨香
取り組み事項		情報発信力を強化する		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	次代を担うかけがえのない子どもたちが夢と希望をもち健やかに育つために					
	誰(何)を対象として	子育て世帯・若者世帯					
	意図(どのような状態にしたいのか)	子どもの笑顔があふれ、子育てに喜びを実感できるよう、家庭、地域、学校、行政みんなが手を携え、地域全体で子育てを支えるまちを目指す。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		子育て応援都市・定住促進PRを市内外で実施する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	PRパンフレット配布	枚	5,000	3,000	3,000	5,000	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.720	0.936	130	1.936	207	1.300	67	
	臨時職員	0.520	0.352	68	0.320	91	0.296	93	
支出内訳	人件費	7,121,290	8,466,021	119	15,636,486	185	11,332,822	72	
	事業費	4,800,087	4,240,553	88	3,937,807	93	71,000	2	
	合計	11,921,377	12,706,574	107	19,574,293	154	11,403,822	58	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	11,921,377	12,706,574	107	19,574,293	154	11,403,822	58	
	合計	11,921,377	12,706,574	107	19,574,293	154	11,403,822	58	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		社会増減数							
指標説明(式)		転入者数ー転出者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	△50	0	-	△50	-		-	
	実績	8	△215	-	92	-			
指標名2		ホームページアクセス数							
指標説明(式)		ポータルサイト(11の鍵)への訪問者件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	7,000	10,000	142.9	15,000	150.0	17,000	113.3	
	実績	9,323	17,336	185.9	16,654	96.1			

【効率性】

指標名1		PR数							
指標説明(式)		定住・子育て施策のPR実施手法数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
手法	目標	9	10	111.1	15	150.0	15	100.0	
	実績	9	12	133.3	10	83.3			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	平成27年度においては社会増となっており、定住施策を継続する中で、少なからず効果が表れたものと考えられる。	4
	成果の向上	周知の方法等については、より多くの方に発信できるよう様々な媒体を活用して、効果が高いと思われる手法により成果の向上に努めた。	
効率性	コストの節減	職員自らが集客力の高い施設等でイベントを行うことで、低コストで効果的なPRを実施した。	4
	手段の最適性	メディア等を通じPRすることにより、市外の方にも広く相生市の施策を知っていただく機会を得ることができるとともに、ホームページへの誘導を図ることが出来る。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	対象とする世代への周知が高まり、その結果、社会増に繋がったと考えている。	4

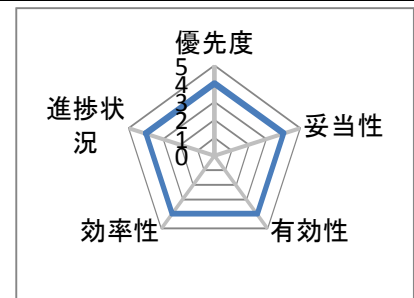
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	市外のターゲット層に対し、効果的なPRを継続する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	PR場所及びPR媒体の拡充を図るとともに、ターゲットを絞った重点的なPRを実施する。



配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060102020100		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	市民対話事業	予算事業名				優先度	4
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課				
施策名(中)		情報提供の充実を図る		担当課長	松尾 次郎		担当者名	寺田 知広	
取組み事項		広聴活動を充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	全市民(各種団体を含む)							
	誰(何)を対象として	全市民(各種団体を含む)							
	意図(どのような状態にしたいのか)	市長等が地域に出向き市政運営について意見交換し、市民との参画と協働を進めていく。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		原則、小学校区単位で、市長以下市幹部が地元に出向き、市政について意見交換を実施。また、市民からの申し込みがあった場合や重要な施策展開を行う場合に実施する。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	コスモストーク	回数	10	10	23	10
	参加人数	人	465	568	703	570

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.404	0.284	70	0.380	134	0.400	105	
	臨時職員	0.408	0.180	44	0.280	156	0.280	100	
支出内訳	人件費	4,418,806	2,996,365	68	3,893,734	130	4,217,326	108	
	事業費			-		-		-	
	合計	4,418,806	2,996,365	68	3,893,734	130	4,217,326	108	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,418,806	2,996,365	68	3,893,734	130	4,217,326	108	
	合計	4,418,806	2,996,365	68	3,893,734	130	4,217,326	108	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		コスモストーク開催回数							
指標説明(式)		年間開催回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	10	10	100.0	23	230.0	10	43.5	
	実績	10	10	100.0	23	230.0			
指標名2		コスモストーク出席者数							
指標説明(式)		年間出席者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	500	500	100.0	700	140.0	570	81.4	
	実績	465	568	122.2	703	123.8			

【効率性】

指標名1		参加者1人あたりコスト							
指標説明(式)		開催費用(人件費相当額)÷参加人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	9,584	4,000	41.7	4000	100.0	7400	185.0	
	実績	9,502	5275	55.5	5538	105.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	直接、市政のトップと対話することで、公共が担わなければならないことや市民自らがやるべきことの理解が深まった。	4
	市民サービス	市政の説明をすることで、市の現状を理解いただき、活発な意見交換につながっている。	
効率性	コストの節減	小学校区及び自治会単位だけでなく金ケ崎学園大学や各種団体などに参加促進を行い、幅広く声かけを行った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	毎年継続して実施しており、周知もされてきているため、参加人数も年々増加している。	4

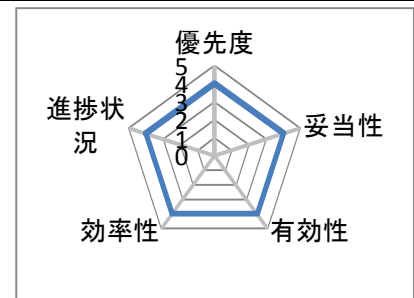
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	参加人数は年々増加しているが、より幅広く参加していただくことが必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	多くの方に参加していただくため、周知方法を検討する必要がある。



配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		060102020200		事業の種類	9
年度	27	事務事業名	市民要望意見収集事業		優先度
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課
施策名(中)		情報提供の充実を図る		担当課長	松尾 次郎
取り組み事項		広聴活動を充実する		担当者名	寺田 知広
				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	広く市民や各種団体からの陳情・要望等を受け、住民の市政に対するニーズを把握することにより、効率的な住民サービスを行う。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内9カ所に設置した投書箱での意見収集及びメール等による意見収集を行う。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	コスモスの箱	件	14	5	19	15
	メール	件	28	48	26	30
	陳情・要望等	件	22	30	23	23

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.184	0.100	54	0.080	80	0.080	100	
	臨時職員	0.168	0.060	36	0.040	67	0.040	100	
支出内訳	人件費	2,141,826	1,279,133	60	1,044,574	82	1,053,326	101	
	事業費			-		-		-	
	合計	2,141,826	1,279,133	60	1,044,574	82	1,053,326	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,141,826	1,279,133	60	1,044,574	82	1,053,326	101	
	合計	2,141,826	1,279,133	60	1,044,574	82	1,053,326	101	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

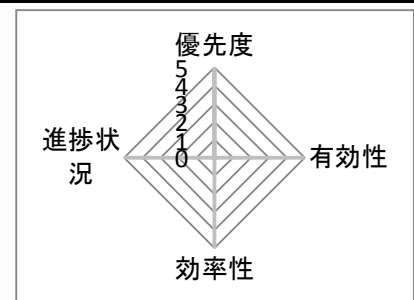
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060103010100		事業の種類		4
年度	27	事務事業名	行政評価システム推進事業	予算事業名	行政評価システム推進事業	優先度	4
		まちづくり目標	まちづくり目標推進のために	担当部局名	企画総務部企画広報課		
		施策名(中)	改革に挑戦する市役所をつくる	担当課長	松尾 次郎	担当者名	横川 昌紀
		取組み事項	行政経営を推進する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
		実施計画事業名					
		根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	庁内組織					
	意図(どのような状態にしたいのか)	NPMの考えのもと行政評価を適切に運用し、成果重視の行政運営になり、従来の削減型行政改革では解決しない課題について、一定のデータのもと戦略的な自治体経営をする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		行政活動を妥当性、有効性、効率性などの面から客観的に評価し、その評価結果を行政運営に反映させるため全事務事業及び施策について評価を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	事務事業評価	事業	547	530	546	540	
	職員研修	回	0	0	0	0	
	施策評価	施策	168	163	165	165	
	第三者評価対象	-	11事務事業	8事務事業	7事務事業	10事務事業	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.552	0.380	69	0.312	82	0.308	99	
	臨時職員	0.200	0.040	20	0.040	100	0.040	100	
支出内訳	人件費	5,048,754	3,399,973	67	2,780,398	82	2,844,950	102	
	事業費	1,149,300	2,257,880	196	659,480	29	708,000	107	
	合計	6,198,054	5,657,853	91	3,439,878	61	3,552,950	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,198,054	5,657,853	91	3,439,878	61	3,552,950	103	
	合計	6,198,054	5,657,853	91	3,439,878	61	3,552,950	103	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業の改革改善率							
指標説明(式)		100-(継続事業本数÷総事業本数×100)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
	実績	2.6	1.1	42.3	5.1	463.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		ヒアリングに要した時間数							
指標説明(式)		行政改革推進委員会及び第三者評価委員会による評価結果ヒアリング時間数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
時間	目標	12	14	116.7	16	114.3	16	100.0	
	実績	14.5	17.5	120.7	20	114.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	第三者評価等で指摘のあった事業について、統廃合や内容の見直しを行うなど評価結果に対してフィードバックを行っている。	4
	市民サービス	事務事業評価の全事業を一覧表としてホームページにて公表し、市民へ周知することにより、行政運営の透明性を高めた。	
効率性	手段の最適性	システムを活用した評価を行うことで、財務データとの整合性を高めることができ、また各種計画とも連携を図ることができるため手段として適切である。	3
	執行体制の効率性	システムの導入により作業が簡素化されてはいるものの、各体系データの修正等、手作業で行う必要がある部分について効率性の向上を図る必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	評価の各段階で軽微なシステム修正は行ったものの、概ね計画通り実施できた。	4

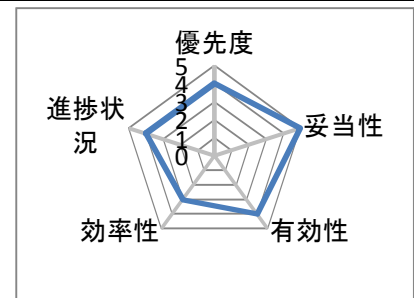
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	軽微なシステム修正を手作業で行うこともあり、修正の都度、入力担当課において作業が停まる事例がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	管理担当課でのマニュアルや、作業手順の整理を行う。第三者評価委員会を「相生市もっと活力上昇計画」の検証機関として位置づける。



配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060103020100		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	行政改革推進事業	予算事業名	行政改革事業		優先度	4	
		まちづくり目標	まちづくり目標推進のために	担当部局名	企画総務部企画広報課				
		施策名(中)	改革に挑戦する市役所をつくる	担当課長	松尾 次郎	担当者名	横川 昌紀		
		取組み事項	費用対効果を精査する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
		実施計画事業名							
		根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	庁内組織							
	意図(どのような状態にしたいのか)	分権時代にふさわしい計画的で効率的な行財政運営を図り、市民サービスが向上するようにする。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		第2期相生市行財政健全化計画の推進(平成23年度～27年度)					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	行政改革懇話会	回	1	1	2	1	
	本部会及び委員会	回	2	2	7	2	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員	0.240	0.184	77	0.112	61	0.100	89
	臨時職員	0.020	0.020	100	0.020	100		0
支出内訳	人件費	2,211,030	1,832,765	83	1,233,618	67	1,102,246	89
	事業費	59,134	46,700	79	93,400	200	47,000	50
	合計	2,270,164	1,879,465	83	1,327,018	71	1,149,246	87
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	2,270,164	1,879,465	83	1,327,018	71	1,149,246	87
	合計	2,270,164	1,879,465	83	1,327,018	71	1,149,246	87

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		経常収支比率							
指標説明(式)		財政指数に関する基準値のひとつ							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	94.9以下	94.9以下	-	94.9以下	-	94.9以下	-	
	実績	96.2	97.4	101.2	95.9	98.5			
指標名2		職員数							
指標説明(式)		定員適正化計画においての設定値							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	242	242	100.0	242	100.0	242	100.0	
	実績	239	240	100.4	242	100.8			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	実質公債費比率及び将来負担比率については、基準値目標内であり、活性化事業についても効果検証による見直しを実施した。経常収支比率については、市税の減少により目標値を達成できなかった。	3
	組織運営・適正管理	財政の健全化を保ちながら地域活力向上のためにアクションプログラムを設定し、施策を推進している。	
効率性	コストの節減	コストの節減については、第1期健全化から引き続き取り組みを行っている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	財政目標以外、計画通りに進んでいる。	3

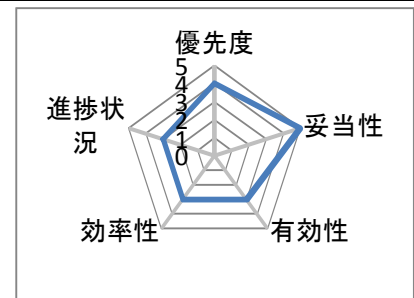
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	経済情勢や人口減少による市税減少に伴い、今後も財政状況の悪化が見込まれる。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	第3期行財政健全化計画を軸に、歳出削減、歳入増加施策を検討する。



配点	32.5
総合評価	24.5

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060103030100		事業の種類		3	
年度	27	事務事業名	市有財産管理事業	予算事業名	市有財産管理事業	優先度	3		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部財政課				
施策名(中)		改革に挑戦する市役所をつくる		担当課長	山本大介	担当者名	宮崎 晃		
取組み事項		資産の有効活用を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無		
実施計画事業名		奥の寺池改修工事		市有地整備事業					
		総合治水事業							
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、法人、各種団体等							
	誰(何)を対象として	公有財産を統括し、普通財産の有効活用、取得処分及び適正管理を図る。							
	意図(どのような状態にしたいのか)	住宅用地・駐車場用地等の提供。 適正管理による良好な居住環境の整備。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		普通財産の管理、貸付け、取得処分等の推進					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	管理面積	m ²	4079385	3858038	3856626	3849883	
	有償貸付面積	m ²	45720	49760	50359	50359	
	無償貸付面積	m ²	62304	62236	62242	62242	
	売却面積	m ²	721	228276	1435	6743	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.920	0.884	96	0.880	100	0.880	100	
	臨時職員	0.320	0.320	100	0.320	100	0.320	100	
支出内訳	人件費	8,170,490	7,985,365	98	7,735,494	97	8,097,406	105	
	事業費	17,560,388	75,753,389	431	36,680,229	48	87,058,000	237	
	合計	25,730,878	83,738,754	325	44,415,723	53	95,155,406	214	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金		13,084,200	-	0	0	51,130,000	-	地域の総合治水推進事業委託金
	市債			-		-		-	
	その他	47,536,222	29,832,010	63	33,558,770	112	35,928,000	107	
	一般財源	-21,805,344	40,822,544	-187	10,856,953	27	8,097,406	75	
	合計	25,730,878	83,738,754	325	44,415,723	53	95,155,406	214	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		未利用地の活用促進状況							
指標説明(式)		(有償貸付面積+無償貸付面積)÷管理面積							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	2.7	2.7	100.0	2.9	107.4	2.9	100.0	
	実績	2.6	2.9	111.5	2.9	100.0			
指標名2		土地売却料及び貸付料収入の増減							
指標説明(式)		土地売却料+貸付料							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	172928995	175884836	101.7	175172141	99.6	149661149	85.4	売却予定額+貸付料予算額
	実績	47415413	249900378	527.0	95102002	38.1			

【効率性】

指標名1		1㎡当りの管理経費の増減							
指標説明(式)		(事業費+人件費)／管理面積							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	5.8	22.1	381.0	29.2	132.1	24.7	84.6	
	実績	6.3	21.7	344.4	11.5	53.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	住宅用地および事業用地として2筆1,435.49㎡を売却した。	4
	期待する目標	普通財産の売却や有効活用の推進による、定住化の促進と税収・賃貸料等の増加が期待できる。	
効率性	コストの節減	草刈り等の管理については、できるだけ職員が実施するなど、経費コストの節減に努めた。	4
	負担割合の適正化	土地の売却については、相生市不動産価格審議会の諮問により最低売却価格決定し、貸付料については、固定資産税の評価替の翌年度に改定することで価格の適正化を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	草刈り等の市有地管理は、概ね適正に対応している。	3

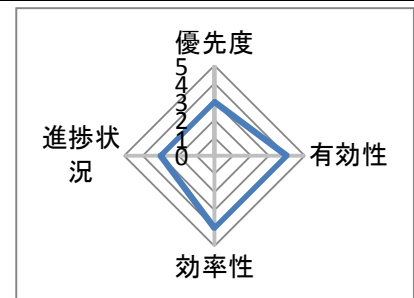
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	過大地やがけ地等のため、個人への売却は不向きな土地が売れ残っている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	地価下落の動向を踏まえ、価格の見直しを行うとともに、売却困難な土地については、借地による有効活用等を検討する。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060103030200		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	公共施設マネジメント推進事業		予算事業名			優先度	5
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	企画総務部企画広報課			
施策名(中)		改革に挑戦する市役所をつくる			担当課長	松尾 次郎		担当者名	富田 大三
取組み事項		資産の有効活用を図る			実施計画への記載	無		主要事業の指定	有
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	相生市所有の公共施設及びインフラ							
	意図(どのような状態にしたいのか)	人口減少・厳しい財政状況のなかで老朽化した施設の計画課的な更新及び施設量の適正配置							

2 事業の概要 Do

実施の概要		市有の公共施設の現状を把握するだけでなく、今後の人口や財源などを考慮したなかで総量圧縮や多機能化、長寿命化を含めた公共施設のマネジメント計画を策定する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	公共施設数	施設	109	109	110	110	
	下水施設数	施設	13	13	13	13	
	公共施設床面積	m ²	122,807	122,807	128,457	128,457	
	下水関係施設床面積	m ²	10,321	10,321	10,321	10,321	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.320	0.348	109	0.124	36	0.296	239	
	臨時職員	0.320	0.040	13	0.040	100	0.040	100	
支出内訳	人件費	3,558,290	3,152,037	89	1,373,782	44	2,750,654	200	
	事業費			-		-		-	
	合計	3,558,290	3,152,037	89	1,373,782	44	2,750,654	200	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,558,290	3,152,037	89	1,373,782	44	2,750,654	200	
	合計	3,558,290	3,152,037	89	1,373,782	44	2,750,654	200	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		適正床面積							
指標説明(式)		平成28年度において公共施設の床面積目標を設定予定である。							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		利用者の実態把握							
指標説明(式)		利用者である市民の声をアンケートなどにより集約し、情報共有を図る予定である。							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	施設の現状把握のため各施設の経費状況等の調査及び施設ヒアリングを実施した。	5
	市民サービス	公共施設の再配置の検討において市民サービスの低下にならないよう、各施設の利用者数などについて調査を実施した。	
効率性	コストの節減	計画策定については、委託事業でなく職員が実施している。また、更新計画においては、将来コストの低減が見込める。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成29年度までの総合管理計画策定に向けて順調に進んでいる。	5

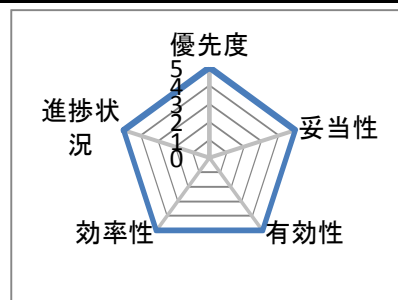
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	機能維持を前提としながらも更新面積を縮減していく必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	施設の優先度及び更新計画の方向性を決定する。



配点	32.5
総合評価	32.5

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060103030400		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	国土利用計画策定事業	予算事業名	国土利用計画策定事業	優先度	5		
		まちづくり目標	まちづくり目標推進のために	担当部局名	企画総務部企画広報課				
		施策名(中)	改革に挑戦する市役所をつくる	担当課長	松尾 次郎	担当者名	横川 昌紀		
		取組み事項	資産の有効活用を図る	実施計画への記載		無	主要事業の指定	無	
		実施計画事業名							
		根拠法規及び関連法規	国土利用計画法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	相生市の土地全体							
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市における長期にわたって、安定かつ均衡ある土地利用の実現							

2 事業の概要 Do

実施の概要		安定かつ均衡ある相生市の土地利用の実現のため、平成6年に策定した前計画から、社会・経済情勢の変化に即した計画へと改訂する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	計画調整部会の開催				4	6	
	計画検討委員会の開催				1	4	
	計画検討会議の開催					6	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.026	100
	参事以下職員			-	0.184	-	0.440	239
	臨時職員			-		-	0.004	-
支出内訳	人件費			-	1,721,942	-	3,784,790	220
	事業費			-	2,268,000	-	3,410,000	150
	合計			-	3,989,942	-	7,194,790	180
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源			-	3,989,942	-	7,194,790	180
	合計			-	3,989,942	-	7,194,790	180

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		国土利用計画の策定							
指標説明(式)		平成28年度中に国土利用計画を策定予定である。							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		内部・外部会議の開催							
指標説明(式)		計画策定において、幅広い意見を反映させるために各会議を開催する予定である。							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
開催回数	目標			-	5	-	16	320.0	
	実績			-	5	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	住民の意思確認のためのアンケートを実施した。	5
	組織運営・適正管理	策定における幅広い意見を反映できるような体制を整え、計画策定に向けた会議を開催した。	
効率性	手段の最適性	計画策定において、委託業者と連携を図ることで、ノウハウや他市町村の状況把握が図れた。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成28年度中の策定に向け、会議を開催中である。	5

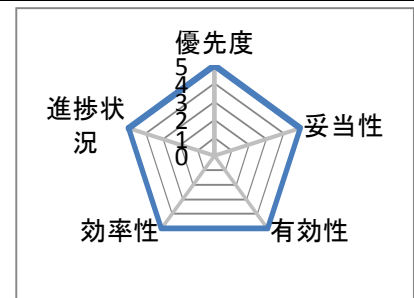
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	各会議の開催にあたって、委員の日程確保が困難な場合の対応

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	各会議を開催するにあたって、事前に委員の日程調整をおこなう



配点	32.5
総合評価	32.5

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060103040100		事業の種類		3	
年度	27	事務事業名	広域行政事業	予算事業名	広域行政事業		優先度	3	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課				
施策名(中)		改革に挑戦する市役所をつくる		担当課長	松尾 次郎		担当者名	横川 昌紀	
取組み事項		効率的で実践的な広域連携を推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	広域圏域の住民							
	誰(何)を対象として	周辺市町村との連携							
	意図(どのような状態にしたいのか)	広域的な住民活動や産業活動などができる							

2 事業の概要 Do

実施の概要		加入している各広域団体で、広域的に必要な取り組みに対して要望を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	兵庫県市長会	回	2	2	2	2	
	西播磨市町長会	回	2	2	2	2	
	山陽本線沿線市町連絡会	回	1	1	1	1	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員	0.164	0.148	90	0.016	11	0.016	100
	臨時職員	0.024	0.024	100	0.008	33	0	
支出内訳	人件費	1,636,582	1,563,557	96	485,118	31	442,174	91
	事業費	242,960	176,900	73	164,000	93	181,000	110
	合計	1,879,542	1,740,457	93	649,118	37	623,174	96
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	1,879,542	1,740,457	93	649,118	37	623,174	96
合計		1,879,542	1,740,457	93	649,118	37	623,174	96

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		広域的な協議会への参画数							
指標説明(式)		各協議会数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
-	目標	8	9	112.5	9	100.0	9	100.0	
	実績	7	7	100.0	8	114.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		広域団体としての要望手段数							
指標説明(式)		西播磨市町長会等の広域団体での要望手段数(西播磨市町長会、兵庫県市長会、山陽本線沿線市町連絡会)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
-	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	市町単独での解決が困難な課題に対して広域的に要望を提出することにより、圏域の問題として国や県へ認識され、早期の取り組みが期待できる。	3
	成果目標(改善)達成度	国及び県の財政状況が厳しく予算確保が難しい状況であるため、全ての要望を結果につなげるのが困難である。	
効率性	執行体制の効率性	要望活動等については、市長会等の事務局がとりまとめを行っているため、本市としては効率的である。平成27年4月5日より姫路市を中心とした連携中核拠点都市として協定を締結し、連携強化を図った。	4
	負担割合の適正化	平成25年度より、播磨広域連携協議会の負担金が追加となったが、それぞれの団体における負担割合は、自治体規模等からみて適正である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね広域的に取り組む事項については協議が進んでいる。	4

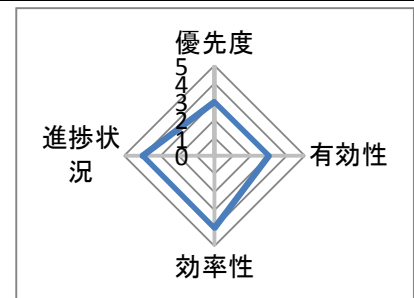
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	全ての要望を結果に繋げることが困難である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	要望事項・内容については、国や県の状況も考慮し、随時見直しを行ったものを要望していく。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		060104010100		事業の種類		9	
年度	27	事務事業名	人事給与管理事業	予算事業名	人事給与管理事業	優先度	
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために			担当部局名	企画総務部総務課		
施策名(中)	効率的で効果的な組織体制を図る			担当課長	三宅 淳一	担当者名	吉田 純也
取組み事項	効率的、効果的な組織を構築する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		給与システム					
根拠法規及び関連法規		相生市職員定数条例、相生市職員の定年等に関する条例、相生市職員の懲戒の手續及び効果に関する条例、相生市職員の給与に関する条例 等					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民(行政事務の執行のため)、市職員、臨時職員					
	誰(何)を対象として	市職員、市臨時職員、常勤特別職					
	意図(どのような状態にしたいのか)	職員の定員管理及び職員配置による公務能率の向上、合理的かつ効率的な支給事務、報酬の適正化					

2 事業の概要 Do

実施の概要		業務の効率化を図り、効果的な組織体制となるよう、職員の選考、任免、配置を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	職員数(正規職員)	人	264	264	263	261	
	職員数(臨時職員)	人	67	72	69	73	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	2.963	3.172	107	3.002	95	2.926	97	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	23,093,911	24,935,189	108	22,806,218	91	23,308,954	102	
	事業費	2,226,686	10,968,409	493	5,823,681	53	4,501,000	77	
	合計	25,320,597	35,903,598	142	28,629,899	80	27,809,954	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	804,566	818,290	102	1,070,183	131	824,000	77	
	一般財源	24,516,031	35,085,308	143	27,559,716	79	26,985,954	98	
	合計	25,320,597	35,903,598	142	28,629,899	80	27,809,954	97	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	第4次定員適正化計画の基づき、職員数の適正化を図っている。	
	組織運営・適正管理	厳正な服務規律の確保により、職員の意識付けが行われている。	
効率性	執行体制の効率性	職員の減少が住民サービスの低下とならないような職員配置に努めている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

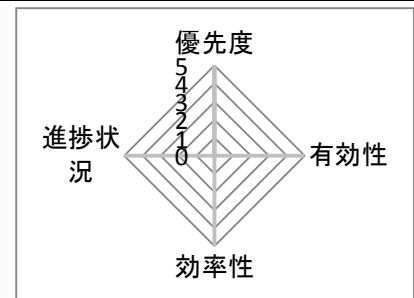
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060104020100		事業の種類		3	
年度	27	事務事業名	人材育成事業	予算事業名	職員研修事業		優先度		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部総務課				
施策名(中)		効率的で効果的な組織体制を図る		担当課長	三宅 淳一		担当者名	原田 大輔	
取組み事項		職員の資質向上を図る		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		相生市職員研修規程、相生市職員勤務成績評定規則							
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市職員							
	誰(何)を対象として	相生市職員							
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市人材育成基本方針に基づき、研修、適正な勤務評定等により職員資質の向上を図り、効果的な行政運営を推進し、市民から信頼される行政に寄与する。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		効果的な行政運営を推進するため、相生市人材育成基本方針に基づき、職員研修や勤務評定を適正かつ的確に行う。 また、市民から信頼される行政を目指し、職員の服務規律の確保について、指導を徹底す				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	単独・派遣研修実施回数	回	54	52	59	73
	単独・派遣研修実施人数	人	281	277	334	397
	勤務評定実施率	%	100	100	100	100
	服務規律通知	回	4	5	3	4

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.773	0.756	98	0.752	99	0.752	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	6,259,381	6,216,021	99	5,971,718	96	6,225,662	104	
	事業費	2,607,192	2,390,700	92	2,537,630	106	3,013,000	119	
	合計	8,866,573	8,606,721	97	8,509,348	99	9,238,662	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	178,390	132,590	74	157,360	119	141,000	90	
	一般財源	8,688,183	8,474,131	98	8,351,988	99	9,097,662	109	
	合計	8,866,573	8,606,721	97	8,509,348	99	9,238,662	109	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		勤務評定実施率							
指標説明(式)		勤務評定実施人数÷職員数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2		職員研修実施率							
指標説明(式)		職員研修受講者数÷研修受講計画者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	受講対象職員に対して、適正に研修を実施した。	
	成果目標(改善)達成度	研修実施計画に基づき、各種研修を実施した。	
効率性	コストの節減	受講対象者や受講年度等を精査し、経費の削減を図った。	
	手段の最適性	自己成長意識を喚起するため応募制の研修の充実を図り、研修効果向上を図った。結果、応募者数は年度により異なるが、平成26年度は減となった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	更なる職員資質の向上のため、引き続き実施していく。	

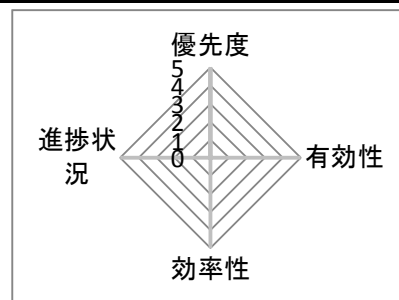
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	25
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060104030100		事業の種類		3	
年度	27	事務事業名	基幹系システム管理運営事業		予算事業名	基幹系システム管理運営事業		優先度	5
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	企画総務部企画広報課			
施策名(中)		効率的で効果的な組織体制を図る			担当課長	松尾 次郎		担当者名	岸本 一郎
取組み事項		行政情報システムの整備と業務の効率化を推進する			実施計画への記載		有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		基幹系システム更新(住基・税・財務会計)			電算周辺機器更新				
		電算室移設工事			社会保障・税番号制度システム整備事業				
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・事業所							
	誰(何)を対象として	職員							
	意図(どのような状態にしたいのか)	基幹業務である住民情報システムは市民に与える影響が多いため、運用・保守管理および情報保護の両面から信頼性と安全性を保持し、機器の安定稼働を図り、更に電子計算機器の							

2 事業の概要 Do

実施の概要		電子計算機器等の保守管理、住基・税・財務会計等の基幹系システムの運用支援、委託事業者との連絡調整を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	住民情報システム端末台数	台	39	39	39		
	財務会計システム端末台数	台	39	39	39		

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.640	0.680	106	0.980	144	1.168	119	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.008	-		0	
支出内訳	人件費	5,237,010	5,627,173	107	7,697,766	137	9,494,590	123	
	事業費	21,985,526	23,727,501	108	41,308,253	174	70,012,000	169	
	合計	27,222,536	29,354,674	108	49,006,019	167	79,506,590	162	
財源内訳	国庫支出金	0	2,981,000	-	26,775,000	898	6,462,000	24	
	県支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	市債	0	0	-	0	-	0	-	
	その他	0	0	-	0	-	0	-	
	一般財源	27,222,536	26,373,674	97	22,231,019	84	73,044,590	329	
	合計	27,222,536	29,354,674	108	49,006,019	167	79,506,590	162	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		基幹系システム処理業務件数							
指標説明(式)		基幹系システムで処理している業務の件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	19	19	100.0	19	100.0	19	100.0	
	実績	19	19	100.0	19	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		市民1人当たりの事業費コスト							
指標説明(式)		事業費÷人口(該当年度の4月1日現在)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	730	683	93.6	1127	165.0	2305	204.5	
	実績	712	779	109.4	1360	174.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会保障・税番号制度対応について、中間サーバーに接続するための庁内ネットワークの整備、及び番号連携サーバーの構築について予定どおり進行している。	5
	組織運営・適正管理	連携媒体の限定や、USB型ウイルス対策を導入するなどセキュリティの向上に努めているが、国の要求により更なるセキュリティ強化が必要となる。	
効率性	コストの節減	基幹業務システムのほとんどがパッケージソフトになり、法対応によるシステム改修費が削減され、バッチ処理等が各担当課で容易に可能となり、運用支援の労力が軽減している。	3
	執行体制の効率性	改修したシステムにおいて、操作方法や運用等に関して変更している部分も多く、社会保障・税番号制度に対応した事務の見直し等も含め、情報連携の強化に努めている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	社会保障・税番号制度におけるシステム整備状況等、県下13市町で設立しているミサリオユーザ会等を利用して情報連携の強化を図っている。	4

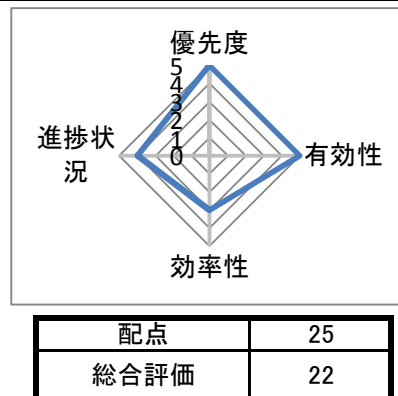
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	社会保障・税番号制度に伴う総合運用テストは、全庁的に取り組む体制が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	番号制度ワーキングチームで各部署との連携を強化し、効率的に社会保障・税番号制度に伴う総合運用テストに取り組む。



事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060104030200		事業の種類		3
年度	27	事務事業名	情報系システム管理運営事業	予算事業名	情報系システム管理運営事業	優先度	5
		まちづくり目標	まちづくり目標推進のために	担当部局名	企画総務部企画広報課		
		施策名(中)	効率的で効果的な組織体制を図る	担当課長	松尾 次郎	担当者名	岸本 一郎
		取組み事項	行政情報システムの整備と業務の効率化を推進する	実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
		実施計画事業名	情報系システム更新(購入)	LGWANシステム更新			
			情報系システム				
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	行政サービスを受ける市民					
	誰(何)を対象として	職員					
	意図(どのような状態にしたいのか)	行政事務の簡素・効率化に努める共に、情報化の進展と多様化する市民ニーズに合わせ、IT(情報技術)を活用した多角的な情報サービス機能の整備促進を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		職員が使用するパソコン機器等の運用・保守管理、チームウェア等の情報系システムの運用支援・管理、セキュリティ向上を図るために情報化リーダーとの連絡調整を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	ノートパソコン	台	254	245	245	245	
	デスクトップパソコン	台	-	17	17	17	
	サーバ	台	9	4	4	4	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	1.116	0.877	79	0.910	104	0.976	107	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-		-	
支出内訳	人件費	8,896,022	7,153,529	80	7,153,874	100	7,985,854	112	
	事業費	27,275,475	19,603,998	72	25,358,730	129	26,336,000	104	
	合計	36,171,497	26,757,527	74	32,512,604	122	34,321,854	106	
財源内訳	国庫支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	県支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	市債	0	0	-	0	-	0	-	
	その他	0	0	-	0	-	0	-	
	一般財源	36,171,497	26,757,527	74	32,512,604	122	34,321,854	106	
	合計	36,171,497	26,757,527	74	32,512,604	122	34,321,854	106	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		職員(事務補助員等含む)へのパソコンの一人一台配置							
指標説明(式)		パソコン配置台数/職員数(事務補助員等含む)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
台/人	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		パソコン1台当たりの事業費コスト							
指標説明(式)		事業費÷パソコン配置台数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	118961	96179	80.8	101656	105.7		0.0	
	実績	107384	74824	69.7	96789	129.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	平成20年度にシステム全体を更新し、パソコン一人一台配置を達成している。平成26年度の更新により、パソコンOSはWindows7に変更している。	5
	組織運営・適正管理	平成26年度に情報系システム全体を更新。セキュリティ機能の追加や、統一的に管理・監視が可能なシステムを新たに導入し、詳細に管理が可能となり、セキュリティの強化につながっている。	
効率性	コストの節減	セキュリティ機能の追加、新たな管理・監視システムを導入をしたが、前回(平成20年度)更新と比較して、導入・保守費用の5年間ベースで約32.5%の削減が見込まれる。	5
	執行体制の効率性	運営・管理については、主として職員自ら行っているが、平成26年度更新分の保守から、機器保守に加え運用支援についても委託しており、万一のセキュリティ対策に迅速に対応できるよう体制を強化している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成26年度のシステム更新は予定どおり完了し、今後システムをより効果的に活用できるよう習熟度を上げ、より一層セキュリティの向上を図る。	4

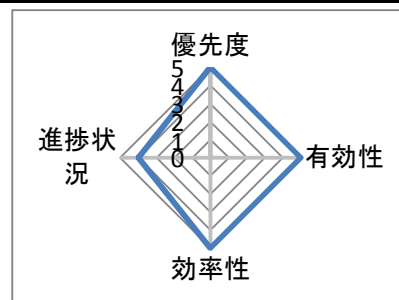
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	多様化する外部からの攻撃に対し、セキュリティを強化する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	情報化ワークを中心に利用職員と情報連携を強化しながら、県情報セキュリティクラウドへの参加に対し、安全で効率性の高いネットワーク分離を実施する



配点	25
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		060105010100		事業の種類		3	
年度	27	事務事業名	納税普及推進事業	予算事業名	税務総務費事務経費	優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部税務課		
施策名(中)		財政の健全化を図る		担当課長	山崎 久司	担当者名	中里 智美
取組み事項		安定的に財源を確保する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		地方税法、市税条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、納税者					
	誰(何)を対象として	市民、納税者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	公正適正な課税内容の理解を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		(1)固定資産評価審査委員会の運営 (2)税に関する広報 (3)税の統計・公表					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	審査委員会回数	回	1	1	3	1	
	広報回数	回	10	9	8	8	
	ホームページ更新回数	回	9	13	7	7	
	固定資産税閲覧・縦覧件数	件	54	55	66	65	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.552	0.552	100	0.552	100	0.552	100	
	臨時職員	0.202	0.202	100	0.202	100	0.202	100	
支出内訳	人件費	5,053,636	5,126,289	101	4,984,156	97	5,200,674	104	
	事業費	2,754,925	2,325,112	84	2,669,189	115	2,626,000	98	
	合計	7,808,561	7,451,401	95	7,653,345	103	7,826,674	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,808,561	7,451,401	95	7,653,345	103	7,826,674	102	
	合計	7,808,561	7,451,401	95	7,653,345	103	7,826,674	102	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		広報記事掲載回数							
指標説明(式)		税に対する市民の理解を深めるための広報記事の掲載回数。							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	10	9	90.0	8	88.9			
指標名2		ホームページ更新回数							
指標説明(式)		税に対する市民の理解を深めるためのホームページの更新回数。							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	9	13	144.4	7	53.8			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	閲覧・縦覧により、理解が得られた。	3
	組織運営・適正管理	閲覧・縦覧処理を適正に行った。	
効率性	手段の最適性	統計については電算を活用し、適正に処理した。	3
	執行体制の効率性	市民税係の職員が、審査委員会事務局の書記を担当し、審査・決定以外の職務を処理している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	広報の記事は内容の分かりやすさを重視し、広報で足りない部分はホームページにより情報の充実を図り、概ね計画どおりに進捗している。	4

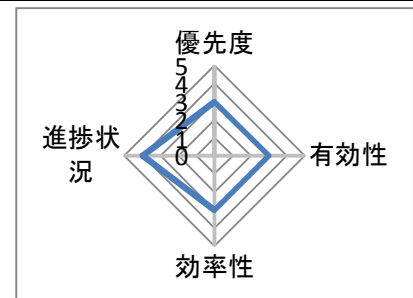
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	審査委員会の担当事務局については、固定資産税を担当する課以外の部署で担当するよう通達が出ている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	審査委員会事務局のあり方について協議し、審査委員の選任方法について検討する。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		060105010200		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	市民税等課税事業	予算事業名	賦課徴収費事務経費(市民税等)	優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部税務課		
施策名(中)		財政の健全化を図る		担当課長	山崎 久司	担当者名	中里 智美
取組み事項		安定的に財源を確保する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		社会保障・税番号制度システム整備事業					
根拠法規及び関連法規		市税条例、地方自治法第223条					
事業の目的	誰のために(具体的に)	納税義務者					
	誰(何)を対象として	納税義務者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正公平な課税のための調査・資料収集を行い、納税義務者への説明責任を果たし、納得し て納税できる環境を醸成する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		適正公平な課税のための業務				
		(1)申告受付事務		(2)課税資料整理・内容審査事務		(3)課税データ入力事務
		(4)課税データ変更・異動入力事務		(5)課税内容調査事務		
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	市民税等 調定額	千円	1,858,563	1920505	1893156	1737500
	個人市民税 納税者数	人	14,419	14368	14266	14200
	法人市民税 納税者数	社	613	599	604	600
	軽自動車課税台数	台	12,560	12677	12698	12699

3 投入資源

3 投入資源		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	4.287	4.391	102	4.287	98	4.232	99	
	臨時職員	1.125	1.134	101	1.133	100	1.178	104	
支出内訳	人件費	36,017,624	37,135,621	103	35,274,615	95	36,759,170	104	
	事業費	4,953,752	10,797,661	218	10,399,060	96	9,797,000	94	
	合計	40,971,376	47,933,282	117	45,673,675	95	46,556,170	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	40,971,376	47,933,282	117	45,673,675	95	46,556,170	102	
	合計	40,971,376	47,933,282	117	45,673,675	95	46,556,170	102	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		課税調査実施件数(個人市民税+法人市民税)							
指標説明(式)		扶養調査、個人未申告調査及び不申告事業所調査の実施件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	230	230	100.0	230	100.0	230	100.0	
	実績	350	332	94.9	336	101.2			
指標名2		課税調査による課税更正額(個人市民税+法人市民税)							
指標説明(式)		扶養調査、個人未申告調査及び不申告事業所調査の実施による課税更正額							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	500	500	100.0	500	100.0	500	100.0	
	実績	2,576	1975	76.7	895	45.3			

【効率性】

指標名1		調定額100万円あたりの課税コスト							
指標説明(式)		事業費÷調定額(百万円)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	24,457	24,932	101.9	26626	106.8	26795	100.6	
	実績	22,045	24959	113.2	24126	96.7			

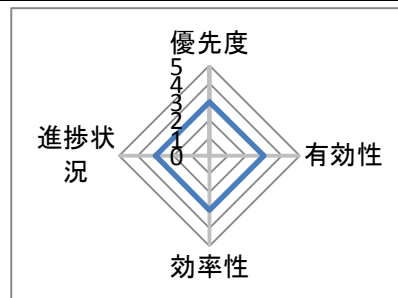
指標名2		職員1人あたりの納税者数							
指標説明(式)		(個人市民税納税者数+法人市民税納税社数+軽自動車課税台数)÷職員数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	5,004	5,021	100.3	5101	101.6	5243	102.8	
	実績	5,074	4980	98.1	5062	101.6			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	税法に基づいた適正な課税事務の執行を行っている。	3
	成果目標(改善)達成度	課税の公平性確保のため、課税対象の把握や調査、被扶養者の精査等を引き続き実施する。	
効率性	コストの節減	税制改正で課税資料の電子的媒体による提出が義務付けられ、基本的には課税データを基幹系システムに直接取り込んで効率的に課税処理ができるはずだが、実情は直接取り込めないものや取り込み後の修正が多いことにより、時間外処理が増えている。	3
	執行体制の効率性	個人住民税の公的年金からの特別徴収や国税連携の開始により課税作業は複雑化している。事務処理マニュアルを活用し、職員個々の能力に見合った作業を分担して賦課処理しているが、一部の職員の作業負担が重くなっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	近年、目まぐるしい税制改正に対応可能な専門的知識を有することがより一層重要となっているが、実情は職員個々の知識や能力に差があり、説明責任の観点から考えて納税義務者の納得を得るレベルには達していない。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	電子化により簡素化された作業がある一方、それぞれの電算システムの互換性などの影響により、従前にはなかった問題が生じ、課税作業が複雑化している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	電子化により複雑化する課税作業を検証し、職員の作業負担に差が生じないよう、より正確で効率的な処理ができるように事務改善を図る。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060105010300		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	固定資産税賦課事業	予算事業名	賦課徴収費事務経費(固定資産税)		優先度	3	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部税務課				
施策名(中)		財政の健全化を図る		担当課長	山崎 久司	担当者名	河本 和彦		
取組み事項		安定的に財源を確保する		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		固定資産税家屋評価システム更新			航空写真撮影業務				
		固定資産税評価替え作業			固定資産税土地評価支援システム更新				
根拠法規及び関連法規		市税条例、地方自治法第223条							
事業の目的	誰のために(具体的に)		納税義務者						
	誰(何)を対象として		納税義務者						
	意図(どのような状態にしたいのか)		適正公平な課税を行い、納税義務者が納得して納税できる環境を醸成する						

2 事業の概要 Do

実施の概要		適正公平な課税のための業務 (1)課税客体の把握調査 (2)資産の評価事務 (3)賦課事務 (4)評価替作業 (5)評価額の時点修正作業				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	固定資産税 賦課件数	件	21,358	21,405	21371	21397
	固定資産税 調定額	千円	2,189,003	2,189,518	2133849	2130351
	都市計画税 賦課件数	件	17,476	17,493	17730	17473
	都市計画税 調定額	円	300,780	298,921	286742	285504

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100		
	参事以下職員	5.724	5.177	90	5.651	109	5.706	101		
	臨時職員	0.700	0.728	104	0.720	99	0.724	101		
支出内訳	人件費	46,026,418	42,238,969	92	44,439,716	105	47,113,338	106		
	事業費	20,029,294	10,883,103	54	5,321,336	49	20,420,000	384		
	合計	66,055,712	53,122,072	80	49,761,052	94	67,533,338	136		
財源内訳	国庫支出金			-		-		-		
	県支出金			-		-		-		
	市債			-		-		-		
	その他			-		-		-		
	一般財源	66,055,712	53,122,072	80	49,761,052	94	67,533,338	136		
	合計	66,055,712	53,122,072	80	49,761,052	94	67,533,338	136		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		固定資産税・都市計画税の適正課税 (成果目標達成度)							
指標説明(式)		固定資産の価格等に重大な錯誤があることによる修正により、還付を行った件数(現年度分)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
千円	目標			-	12	-	12	100.0	
	実績	8	4	50.0	9	225.0			
指標名2		固定資産現所有者兼相続人代表者指定届件数 (根拠法令等から見た効果)							
指標説明(式)		地方税法の要請する適正な課税を行っているかどうかを相続人代表者の指定届により確認し、指定漏れの減少を目指すため、件数の増加を目指す。							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	150	160	106.7	160	100.0	160	100.0	
	実績	209	195	93.3	165	84.6			

【効率性】

指標名1		一人当たりの賦課事務に係る時間外勤務の時間数（コストの節減）							
指標説明(式)		賦課事務に係るコストの節減及び事務の効率化を図っているかどうかを一人当たりの賦課事務に係る時間外勤務の時間数により確認し、数値の減少を目指す。							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
時間/人	目標	80	100	125.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	65	82	126.2	73	89.0			
指標名2		具体的な評価方法等の取扱いの作成件数（執行体制の効率性）							
指標説明(式)		評価事務取扱要領に明記されていない具体的な評価方法等を作成し、公平な評価及び評価事務の簡素化を図っているかどうかを作成件数により確認する。							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	1	-	-	1	-			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	課税更正(重大な錯誤による)に伴う、還付(現年度分)件数が前年度より増加した。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	相続人に「固定資産現所有者兼相続人代表者指定届」の提出を促すことができ計画値を上回ったが、更に納税義務者等の確定を図る必要がある。	
効率性	コストの節減	前年度と比べ、時間外勤務を減らすとすることができた。今後も事務の効率化を図りながら、適正な事務を遂行していくことが必要である。	3
	執行体制の効率性	評価事務取扱要領を整備していくことにより、適正で公正な課税評価の実現が期待でき、今後も更に多くの具体的な評価方法を定める必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	一定の成果はあったが、全ての納税義務者の納得を得るレベルには達していない。	3

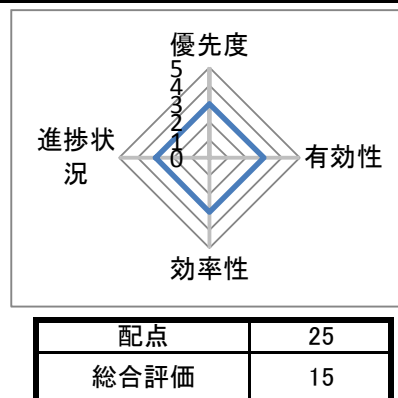
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	土地や家屋において、地目変更や滅失等による変化が生じた場合、その情報を的確に把握ができるような体制づくりが必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	効率性に留意しつつ、公平な課税を行うため、適正な評価及び課税客体の把握に努める。



事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060105010400	事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	市税徴収事務事業	予算事業名	賦課徴収費事務経費(徴収)ほか	優先度	5
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部徴収対策室		
施策名(中)		財政の健全化を図る		担当課長	櫻田 陽由	担当者名	岡部 一成
取組み事項		安定的に財源を確保する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		滞納管理システム更新		ペイジー口座振替受付サービス導入事業			
		滞納管理システム保守		公金クレジット収納導入事業			
根拠法規及び関連法規		地方税法、国税徴収法、国税通則法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	納税者					
	誰(何)を対象として	納税者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	納期内納付の徹底と滞納者及び滞納金額の減少を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		(1) 収納整理事務 現年度分収入額 (2) 滞納整理事務 滞納繰越分収入額 (3) 啓発事務 口座振替加入促進					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	市税現年度収入額	千円	4306426	4370353	4288032	4056228	
	市税滞納繰越分収入額	千円	55537	56103	50437	32013	
	市税口座振替加入者数	人	11161	10324	10268	11000	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	2.404	2.120	88	2.280	108	2.032	89	
	臨時職員	1.416	1.007	71	1.088	108	1.136	104	
支出内訳	人件費	22,253,334	19,231,303	86	20,144,886	105	19,357,918	96	
	事業費	32,112,761	25,785,963	80	31,275,269	121	31,411,000	100	
	合計	54,366,095	45,017,266	83	51,420,155	114	50,768,918	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	54,366,095	45,017,266	83	51,420,155	114	50,768,918	99	
	合計	54,366,095	45,017,266	83	51,420,155	114	50,768,918	99	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市税現年度分徴収率							
指標説明(式)		収入額／調定額							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	98.2	98	99.8	99	101.0	99	100.0	
	実績	98.9	98.9	100.0	99.3	100.4			
指標名2		市税滞納繰越分徴収率							
指標説明(式)		収入額／調定額							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	20	26	130.0	27	103.8	27	100.0	
	実績	26.5	32.0	120.8	33.8	105.6			

【効率性】

指標名1		市税口座振替加入率							
指標説明(式)		口座振替加入者数／納税義務者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	45	45	100.0	45	100.0	45	100.0	
	実績	37	38	102.7	35	92.1			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	徴収率は現年分で0.31ポイント、滞納分で1.89ポイント向上し、全体でも0.69ポイント向上した。	5
	関係(根拠)法令から見た効果	国税徴収法等に基づき、適切な滞納整理を行うことが出来た。	
効率性	手段の最適性	口座振替加入率は概ね横ばいであったが、コンビニ収納実施に伴い、窓口での収納事務の効率化が図られた。	4
	執行体制の効率性	徹底した財産調査の実施により、悪質滞納案件に対しても積極的な滞納整理が行えた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	順調に推進している。	4

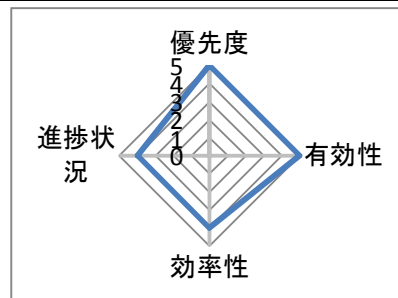
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	積極的な滞納整理が徴収率向上につながるため、それに専念できる環境の整備が必要。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	効率的で効果的な滞納整理を行っていく。



配点	25
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060105010500		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	介護保険収納事業	予算事業名				優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部徴収対策室				
施策名(中)		財政の健全化を図る		担当課長	櫻田 陽由		担当者名	岡部 一成	
取組み事項		安定的に財源を確保する		実施計画への記載		無	主要事業の指定		無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		介護保険法 介護保険施行法							
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の市民							
	誰(何)を対象として	65歳以上の市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	自立した日常生活を営むためのサービスを提供するにあたり、各人の負担能力に応じた保険料を納付してもらう。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険料の徴収・催告					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	保険料賦課人数	人	9808	10071	10232	10282	
	うち普通徴収人数	人	1184	1144	1037	1190	
	督促状発送件数	件	961	903	864	1500	
	口座振替利用者数	人	341	421	318	450	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.760	0.600	79	0.736	123	0.740	101	
	臨時職員	0.077	0.080	104	0.080	100	0.040	50	
支出内訳	人件費	6,347,407	5,201,733	82	6,053,526	116	6,239,606	103	
	事業費			-		-		-	
	合計	6,347,407	5,201,733	82	6,053,526	116	6,239,606	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,347,407	5,201,733	82	6,053,526	116	6,239,606	103	
	合計	6,347,407	5,201,733	82	6,053,526	116	6,239,606	103	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		介護保険料収納率							
指標説明(式)		保険料収納額÷保険料調定額							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	97.5	97.5	100.0	97.5	100.0	97.5	100.0	
	実績	97.9	98.1	100.2	98.4	100.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		口座振替加入率							
指標説明(式)		口座振替加入者数÷普通徴収賦課人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	23	30	130.4	40	133.3	40	100.0	
	実績	29	37	127.6	31	83.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	収納率は目標値を上回ることができたが、口座振替加入率は達成することができなかった。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	滞納整理を積極的に行うことができた。	
効率性	コストの節減	事務経費はほぼ前年と同等である。	4
	執行体制の効率性	収納率について現年度分は昨年と変わらないものの、過年度分は収納率が4.16ポイントの増となった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	順調に推進している。	4

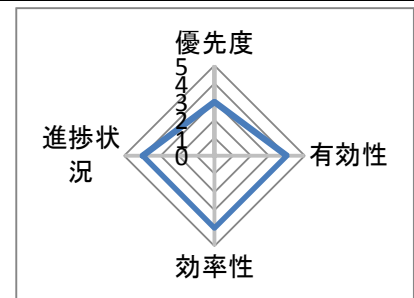
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	引き続き早期の調査と滞納整理体制を強化する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	早期催告と滞納整理を積極的に行う。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060105010600		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	市営住宅家賃収納事務事業	予算事業名				優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部徴収対策室				
施策名(中)		財政の健全化を図る		担当課長	櫻田 陽由		担当者名	岡部 一成	
取組み事項		安定的に財源を確保する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		公営住宅法 公営住宅法施行令 公営住宅法施行規則 相生市市営住宅条例 相生市市営住宅条例施行規則							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市営住宅入居者(住居に困窮している市民)							
	誰(何)を対象として	市営住宅入居者(住居に困窮している市民)							
	意図(どのような状態にしたいのか)	健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、納期限内に家賃の納付を徹底させ市営住宅運営の安定化を図る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		(1)啓発事業 口座振替加入促進 (2)収納整理事務 現年度分収入額 (3)滞納整理事務 滞納繰越分収入額				
		単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
活動実績	項目					
	口座振替加入者数	人	57	52	53	54
	現年度分収入額	千円	16627700	16300200	16231300	16300000
	滞納繰越分収入額	千円	2088400	1352300	2169200	2000000

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.380	0.300	79	0.340	113	0.376	111	
	臨時職員	0.073	0.105	144	0.104	99	0.068	65	
支出内訳	人件費	3,416,583	2,938,083	86	3,151,110	107	3,455,062	110	
	事業費			-		-		-	
	合計	3,416,583	2,938,083	86	3,151,110	107	3,455,062	110	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,416,583	2,938,083	86	3,151,110	107	3,455,062	110	
	合計	3,416,583	2,938,083	86	3,151,110	107	3,455,062	110	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市営住宅家賃現年度分収納率							
指標説明(式)		収入額/調定額							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	90	90	100.0	90	100.0	90	100.0	
	実績	88.9	88.8	99.9	89.6	100.9			
指標名2		市営住宅家賃滞納繰越分収納率							
指標説明(式)		収入額/調定額							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	25	20	80.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	18.2	11.8	64.8	17.8	150.8			

【効率性】

指標名1		口座振替加入率							
指標説明(式)		口座振替加入者数／市営住宅入居者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	43	43	100.0	43	100.0	43	100.0	
	実績	43	39	90.7	42	107.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	一括納付できない低所得者が多く、納付環境は非常に厳しいなか、分納誓約を徴するなど滞納整理に努めた結果、現年度分0.76%、滞納繰越分6.03%の収納率増となった。	4
	成果の向上	長引く不況により、低所得世帯が多いが、管理部門と連携し定期的に催告を行うことにより、全体として滞納整理が進んだ。	
効率性	手段の最適性	口座振替率の向上を図り、引き続き居住者に対し適切な納付指導を行っていく。	4
	手段の最適性	滞納世帯へ継続的に訪問し、状況把握のうえ納付指導を行う。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	未納額の縮減に向けて順調に進捗している。	4

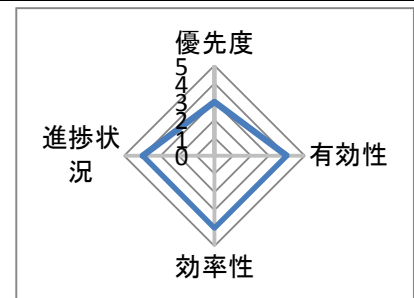
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	入居条件および督促、催告の強化。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	高額滞納事案に対する納付相談の実施。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060105010700		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	後期高齢者医療保険収納事業	予算事業名	後期高齢者医療保険事業(徴収)	優先度	3		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部徴収対策室				
施策名(中)		財政の健全化を図る		担当課長	櫻田 陽由	担当者名	岡部 一成		
取り組み事項		安定的に財源を確保する		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		高齢者の医療の確保に関する法律、相生市後期高齢者医療に関する条例							
事業の目的	誰のために(具体的に)	後期高齢者医療保険料納付対象者							
	誰(何)を対象として	後期高齢者医療保険料納付対象者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	納期内納付の徹底及び収納率の向上を図る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		(1)啓発事業 口座振替加入促進 (2)収納整理事務 現年度分収入額、督促状の発付 (3)滞納整理事務 滞納繰越分収入額					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	収納率(現年)	%	99.57	99.67	99.71	99.7	
	督促状発送件数	件	553	577		600	

3 投入資源

会計区分後期高齢者特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.508	0.240	47	0.300	125	0.336	112	
	臨時職員	0.284	0.304	107	0.304	100	0.248	82	
支出内訳	人件費	4,915,570	2,956,773	60	3,355,630	113	3,627,822	108	
	事業費	110,513	0	0	219,133	-		0	
	合計	5,026,083	2,956,773	59	3,574,763	121	3,627,822	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,026,083	2,956,773	59	3,574,763	121	3,627,822	101	
	合計	5,026,083	2,956,773	59	3,574,763	121	3,627,822	101	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		徴収率(現年課税分)							
指標説明(式)		収入額/調定額							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	99.7	99.7	100.0	99.7	100.0	99.7	100.0	
	実績	99.57	99.67	100.1	99.7	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		口座振替率							
指標説明(式)		口座振替世帯数／被保険者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	70	70	100.0	70	100.0	70	100.0	
	実績	63.92	63.68	99.6	65.66	103.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	収納率について目標に達することができた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令等に基づき適正な事務処理を行った。	
効率性	手段の最適性	催告や滞納処分を行うことで、昨年度を上回る徴収率を確保することができた。	4
	執行体制の効率性	他税との一斉催告等により、初期滞納件数を抑制させることができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	順調に推進した。	4

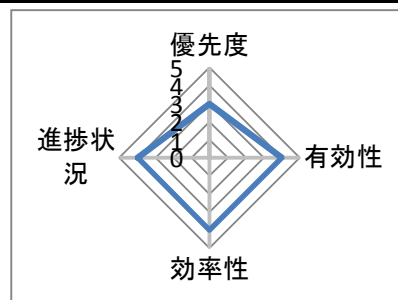
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	国保など既に口座振替利用者が新規加入した際の口座振替の再手続きの勧奨が課題である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	口座振替加入推進の取り組みを拡充させる。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060105020100	事業の種類		3	
年度	27	事務事業名	財政運営事務	予算事業名	一般管理費事務経費(財政)	優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部財政課		
施策名(中)		財政の健全化を図る		担当課長	山本 大介	担当者名	西山 学
取り組み事項		財源を効率的に運用する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		基幹系システム更新(財務会計)			起債管理システム整備事業		
根拠法規及び関連法規		地方自治法、地方財政法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民(市の方針に沿った予算編成、執行管理により、健全な財政運営を図る)					
	誰(何)を対象として	市全体の事務事業(予算による各課の事務事業)を対象として					
	意図(どのような状態にしたいのか)	健全で弾力的な財政基盤を築き、有効な予算配分と執行管理により財政の健全化を推進する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		予算編成の方針を周知し、その方針に沿った予算編成と執行管理を行う。そのうえで、必要な財源の確保、財政見通しの把握を行うとともに、予算及び決算状況の公表を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	当初予算総額	千円	23715100	25072830	27762387	25227500	
	一般会計当初予算総額	千円	13000000	13700000	15700000	13020000	
	実質公債費比率	%	12.1	13.0	13.8	14	
	経常収支比率	%	98.3	97.4	95.9	95.9	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	3.416	3.416	100	3.228	94	3.228	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	26,576,122	26,825,701	101	24,497,150	91	25,682,070	105	
	事業費	598,713	474,795	79	348,904	73	20,400,000	5,847	
	合計	27,174,835	27,300,496	100	24,846,054	91	46,082,070	185	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	27,174,835	27,300,496	100	24,846,054	91	46,082,070	185	
	合計	27,174,835	27,300,496	100	24,846,054	91	46,082,070	185	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		実質公債費比率							
指標説明(式)		(当該年度の元利償還金+公営企業元利償還金への一般会計繰越金等公債費類似経費) - (元利償還金等の特定財源+普通交付税の基準財政需要額算入公債費) / 標準財政規模							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	15.9	15.9	100.0	15.9	100.0	14	88.1	
	実績	12.1	13.0	107.4	13.8	106.2			
指標名2		経常収支比率							
指標説明(式)		財政構造の弾力性を測定する指標 経常経費充当一般財源÷経常一般財源×100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	94.9	94.9	100.0	94.9	100.0	95.9	101.1	
	実績	98.3	97.4	99.1	95.9	98.5			

【効率性】

指標名1		労働時間数							
指標説明(式)		財政係員の総労働時間数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
時間	目標	6113	6113	100.0	6113	100.0	6113	100.0	
	実績	5953	6152	103.3	6070	98.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	第三セクター等改革推進債や文化会館に係る償還などにより、実質公債費比率が上昇した。	4
	成果目標(改善)達成度	経常収支比率において、市税、臨時財政対策債が減少したものの、経常経費充当一般財源において人件費、繰出金が減少したことにより比率が減少した。	
効率性	コストの節減	予算編成、財政見通しにおいて国の動向が不透明なこと、当市の現状分析を細やかに行う必要があることなど業務内容は増加傾向にあるが、総労働時間については抑制に努めている。	4
	執行体制の効率性	事務の共有化を図るなど効率的な体制で取り組んでいる。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	突発的な大規模事業の実施により厳しい財政状況となっている	3

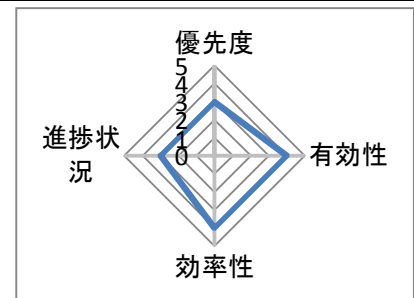
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	実質公債費比率の上昇

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	実施計画による事業の選択、予算ヒアリングにおける徹底した歳出削減



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060105020200		事業の種類		3	
年度	27	事務事業名	固定資産台帳整備事業	予算事業名	固定資産台帳整備事業	優先度	3		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部財政課				
施策名(中)		財政の健全化を図る		担当課長	山本 大介	担当者名	西山 学		
取組み事項		財源を効率的に運用する		実施計画への記載		有	主要事業の指定		無
実施計画事業名		固定資産台帳整備事業							
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市の会計事務							
	誰(何)を対象として	市の保有する固定資産							
	意図(どのような状態にしたいのか)	資産の把握を行い、財務書類の作成に必要な情報を備えた補助簿とする。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		財務書類作成に必要な情報を備えた補助簿として、固定資産台帳の整備を平成27年度及び平成28年度の2力年で行う。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.026	100	
	参事以下職員			-	0.188	-	0.188	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	1,751,870	-	1,793,750	102	
	事業費			-	6,102,000	-	5,000,000	82	
	合計			-	7,853,870	-	6,793,750	87	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	7,853,870	-	6,793,750	87	
	合計			-	7,853,870	-	6,793,750	87	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	固定資産台帳整備に必要となる収集した資料により、ある程度整備が行われることで、資産の全体的な把握が徐々に可視化できるようになっている。	3
効率性	執行体制の効率性	固定資産台帳整備委託業者と連絡調整を行い、台帳整備にあたっての資料収集等を効率的に行った。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	固定資産台帳整備に必要となる資料を収集し、ある程度の台帳整備を行うことができている。	4

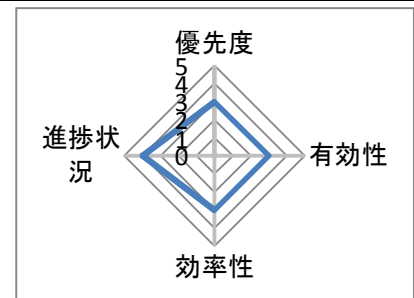
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	固定資産台帳整備に必要となるデータが未確定のものについては来年度において把握する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	台帳整備に不足しているデータを収集し、台帳を完成させる。また、今後の台帳管理マニュアルの作成を行う。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106010100		事業の種類		3	
年度	27	事務事業名	秘書業務	予算事業名	一般管理費事務経費(秘書)		優先度	4	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課				
施策名(中)		その他		担当課長	松尾 次郎		担当者名	久保 敏宏	
取組み事項		その他		実施計画への記載		無	主要事業の指定		無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	来庁者、市内外の住民、職員等							
	誰(何)を対象として	市長、副市長							
	意図(どのような状態にしたいのか)	来庁者、各種団体、職員等との情報交換や交渉をスムーズに行えるよう、市長・副市長が職務に専念できる環境を整える。また、市の公益に貢献した人を表彰することで市政の発展等に役							

2 事業の概要 Do

実施の概要		市長・副市長の日程調整、来庁者への対応。市内外の個人、団体等への表彰。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	椿賞	人	4	12	5	2	
	コスモス賞	人	1	0	3	2	
	その他表彰	人	0	0	4	2	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.880	0.948	108	0.940	99	0.940	100	
	臨時職員	1.000	1.000	100	1.000	100	1.000	100	
支出内訳	人件費	9,522,890	10,133,637	106	9,897,334	98	10,408,966	105	
	事業費	3,206,360	3,294,639	103	3,493,006	106	4,707,000	135	
	合計	12,729,250	13,428,276	105	13,390,340	100	15,115,966	113	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	12,729,250	13,428,276	105	13,390,340	100	15,115,966	113	
	合計	12,729,250	13,428,276	105	13,390,340	100	15,115,966	113	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		支出経費の1日あたりのコスト							
指標説明(式)		支出経費(人件費+事業費)÷365日							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	41907	42774	102.1	41086	96.1	41413	100.8	
	実績	34875	36790	105.5	36686	99.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	市の施策に対し、各担当との連絡を密にするとともに、係内での業務に関する情報の共有化を図ることができている。	4
効率性	コストの節減	旅費及び市長交際費について、必要性、妥当性等を考慮し、節減に努め、適正な執行を行った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市長、副市長が業務を円滑に行うための、各関係機関等との連絡調整を適切に実施することができた。	4

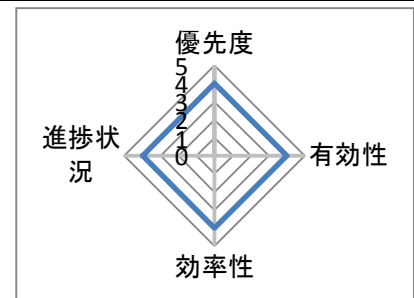
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	市長・副市長の指示等を迅速に担当部門に伝達するとともに、各担当においてその意図を的確に認識し、実行できる連絡調整体制の充実が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	連絡調整体制の充実を通じ、更なる業務の効率化を図る。



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106010200		事業の種類		3	
年度	27	事務事業名	契約検査事業	予算事業名	財産管理費事務経費	優先度	3		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部財政課				
施策名(中)		その他		担当課長	山本大介	担当者名	宮崎 晃		
取組み事項		その他		実施計画への記載		有	主要事業の指定		無
実施計画事業名		電子入札システム導入							
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	依頼課(庁内各関係課)							
	誰(何)を対象として	公共工事及び業者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	工事の入札・契約、物品の購入・修繕において、公平性、透明性、競争性を高めた制度を推進し、適正な契約検査事務を執行する。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		工事及び委託の執行のために、入札、契約等を行い、工事等施工業者の登録を行う。また、契約のとおりに工事が施工されたか検査を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	工事契約件数	件	49	53	55	55	
	工事検査件数	件	41	36	46	50	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	1.300	1.240	95	1.240	100	1.256	101	
	臨時職員	0.200	0.160	80	0.160	100	0.160	100	
支出内訳	人件費	10,798,630	10,354,853	96	10,025,974	97	10,619,054	106	
	事業費	1,347,057	1,310,945	97	1,351,513	103	674,000	50	
	合計	12,145,687	11,665,798	96	11,377,487	98	11,293,054	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	12,145,687	11,665,798	96	11,377,487	98	11,293,054	99	
	合計	12,145,687	11,665,798	96	11,377,487	98	11,293,054	99	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		工事検査による基準点以上の割合							
指標説明(式)		基準点以上の工事件数／工事検査実施件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	95	95	100.0	95	100.0	95	100.0	
	実績	93	94	101.1	95	101.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		工事契約取扱事務1件当りのコスト							
指標説明(式)		工事契約事務事業費／工事契約取扱件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	222730	212981	95.6	214698	100.8	205328	95.6	
	実績	247871	220109	88.8	206863	94.0			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	電子入札システムの活用により、業者同士の接触が希薄化し談合防止の効果が上がり、事務が簡素化され時間短縮することで入札事務の作業効率も高まっている。また、契約検査の実施により、適正な公共工事の実施が図られている。	4
	市民サービス	電子入札システムの活用により、入札者が指定された日時に来庁する必要がなくなった。また、開札執行のために福祉会館の研修室等を使用していたが、その必要性がなくなり、当該研修室等が他の用途に共されることで、市民サービスの向上に寄与している。	
効率性	コストの節減	兵庫県電子入札共同運営に加入し、県や他市町と共同で電子入札システムを用いることで、コスト削減を図っている。また、工事検査については、市職員が直接行う体制を組み、コスト削減を図っている。	4
	執行体制の効率性	電子入札システムの導入により、必要最小限の職員で開札執行が可能となり、効率的な運営が図られている。また、工事検査については、市職員による検査が困難な場合は外部委託を行うことで、適正かつ効率的な検査体制の構築を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	適正な事務事業の遂行が図られている。	4

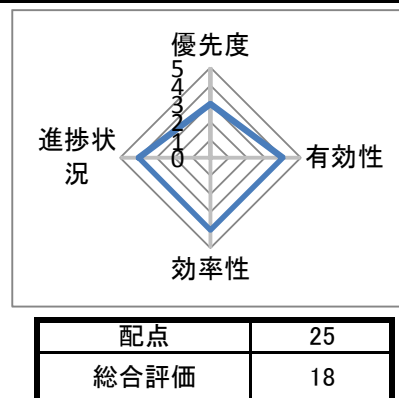
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	兵庫県電子入札共同システムは5年毎に機器の更新を行っていることから、より効率的な機能等の搭載要望を行っていく必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	工事検査の手法等、入札制度全般について改善を行う。



事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106010300		事業の種類		2	
年度	27	事務事業名	庁舎維持管理事業	予算事業名	庁舎管理事業(管財)	優先度	3		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部財政課				
施策名(中)		その他		担当課長	山本大介	担当者名	宮崎 晃		
取り組み事項		その他		実施計画への記載		有	主要事業の指定		無
実施計画事業名		庁舎耐震改修工事(設計、1号館)			庁舎耐震改修工事(設計、2号館)				
		庁舎維持修繕							
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	来庁者及び庁舎内で業務を行う者							
	誰(何)を対象として	庁舎及び来庁者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	庁舎施設・設備の適正な管理により、市民が快適に利用でき、職員が働きやすい庁舎環境をつくる。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		庁舎の維持管理及び警備					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	燃料費	円	765685	888658	775677	4009000	
	光熱水費	円	14933338	15791108	14506512	22500000	
	維持修繕費	円	3401800	3684856	3118164	3000000	
	委託料	円	15975304	22457552	18758768	34291000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.560	0.596	106	0.592	99	0.740	125	
	臨時職員	0.240	0.240	100	0.240	100	0.280	117	
支出内訳	人件費	5,207,890	5,559,541	107	5,379,158	97	6,889,046	128	
	事業費	69,894,283	47,503,763	68	41,323,387	87	208,820,000	505	
	合計	75,102,173	53,063,304	71	46,702,545	88	215,709,046	462	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-	2,500,000	-	143,200,000	5,728	庁舎1・2号館耐震補強事業
	その他			-		-	610,000	-	西はりま消防組合納付金
	一般財源	75,102,173	53,063,304	71	44,202,545	83	71,899,046	163	
	合計	75,102,173	53,063,304	71	46,702,545	88	215,709,046	462	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		1日当りの維持管理費							
指標説明(式)		事業費・人件費合計／年間管理日数(365日)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	330000	171197	51.9	162510	94.9	590983	363.7	
	実績	205759	145378	70.7	127952	88.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	迅速な修繕の実施により、良好な職場環境づくりに努めている。	4
	市民サービス	耐震化を進め、庁舎の延命化と来庁者等の安全向上を図っている。	
効率性	コストの節減	電力自由化を受け、見積り合わせを実施し、特定規模電気事業者(PPS)から電力調達しているほか、夏冬時のエアコン定時運転の実施、昼休みの時間中の消灯等、節電に取り組みコスト節減を図っている。	4
	執行体制の効率性	平日夜間、休日の受付業務をシルバー人材センターに委託を行い、執行体制は効果的である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね適正に維持管理できている。	4

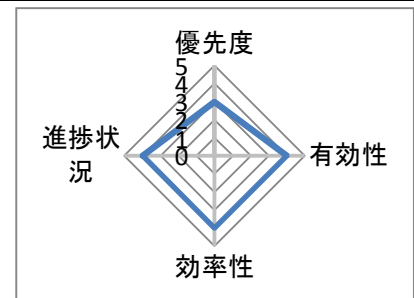
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	庁舎の経年劣化とともに維持管理費は上昇傾向であり、経費を抑え、かつ市庁舎としての機能及び快適性を高める必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	施設の維持修繕を行い、さらなる安心、安全な施設運営に取り組む。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106010400		事業の種類		3	
年度	27	事務事業名	公用車両管理事業	予算事業名	公用車両管理事業	優先度	3		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部財政課				
施策名(中)		その他		担当課長	山本大介	担当者名	宮崎 晃		
取組み事項		その他		実施計画への記載		有	主要事業の指定		無
実施計画事業名		公用車購入(財政)							
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	公用車を利用する職員、公用車の修繕等を必要とする所管課							
	誰(何)を対象として	公用車							
	意図(どのような状態にしたいのか)	共用公用車の効率的な運用、適切な車両整備を行い、職員の交通安全講習を実施し、交通事故の減少を図る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		共用公用車の効率的な貸出と適切な管理及びグリーンカーの導入の推進並びに交通事故の減少を図る。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	年間走行距離	km	203976	202244	192323	200000	
	車検件数	件	8	13	10	27	
	事故件数	件	1	0	5	0	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	
	参事以下職員	1.400	1.584	113	1.560	98	1.548	
	臨時職員	2.280	2.192	96	2.284	104	2.280	
支出内訳	人件費	16,644,610	17,957,925	108	17,770,570	99	18,650,310	
	事業費	14,455,969	12,551,230	87	10,150,560	81	13,901,000	
	合計	31,100,579	30,509,155	98	27,921,130	92	32,551,310	
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	31,100,579	30,509,155	98	27,921,130	92	32,551,310	
	合計	31,100,579	30,509,155	98	27,921,130	92	32,551,310	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		共用公用車1台当りの使用距離							
指標説明(式)		年間走行距離÷共用公用車数 (H25年度28台、H26年度27台、H27年度28台、H28年度28台)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
km	目標	7900	7300	92.4	7400	101.4	7100	95.9	
	実績	7284	7490	102.8	6868	91.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		共用自動車1台当りの経費							
指標説明(式)		事業費・人件費合計／共用自動車台数 (H25年度28台、H26年度27台、H27年度27台、H28年度28台)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1400000	1110000	79.3	1110000	100.0	1160000	104.5	
	実績	1110735	1129968	101.7	997183	88.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用用途により使用距離は大きく左右されるが、前年度並みの使用距離となった。	4
	組織運営・適正管理	安全運転管理者講習会の受講や公用車の利用者意識向上のために定期的な洗車を行い、円滑な公用車管理ができた。	
効率性	執行体制の効率性	公用車の集中管理により、効率的な運用管理体制の構築を行った。	4
	コストの節減	車両更新時にアイドリングストップ機能を搭載した低燃費車への買い替えを行い、燃料使用量の削減に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね適正に維持管理できている。	4

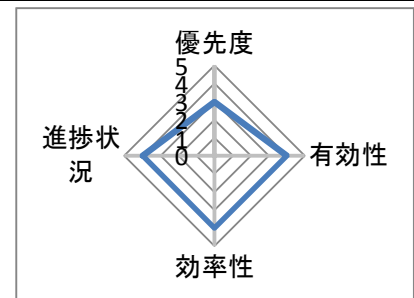
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	ガソリン価格が不安定なため、近距離の移動はエコ自転車を使用する等、使用者ひとりひとりの意識改革が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	使用時の日常点検励行を徹底するとともに、職員による洗車を引き続き実施し、使用意識の向上を図る。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106010500		事業の種類	9		
年度	27	事務事業名	企画費事務経費		予算事業名	企画費事務経費	優先度	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		その他			担当課長	松尾 次郎	担当者名	富田 大三
取り組み事項		その他			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)							
	誰(何)を対象として	係内の庶務						
	意図(どのような状態にしたいのか)							

2 事業の概要 Do

実施の概要		企画係における旅費及び需用費(庶務的経費)					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.236	0.236	100	0.240	102	0.160	67	
	臨時職員	0.136	0.120	88	0.120	100	0.040	33	
支出内訳	人件費	2,463,438	2,478,661	101	2,443,214	99	1,681,966	69	
	事業費	31,720	718,704	2,266	825,052	115	117,000	14	
	合計	2,495,158	3,197,365	128	3,268,266	102	1,798,966	55	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,495,158	3,197,365	128	3,268,266	102	1,798,966	55	
合計		2,495,158	3,197,365	128	3,268,266	102	1,798,966	55	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

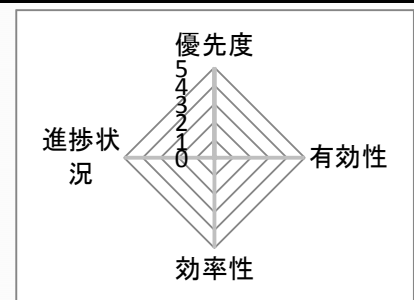
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106010600		事業の種類		2	
年度	27	事務事業名	事故等賠償事業	予算事業名	事故等賠償事業		優先度	3	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部財政課				
施策名(中)		その他		担当課長	山本大介		担当者名	宮崎 晃	
取り組み事項		その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民及び市の公金							
	誰(何)を対象として	市の故意・過失により損害を被った方への賠償 盗難等にあった公金の損失補てん							
	意図(どのような状態にしたいのか)	保険による賠償・補てんで市財政の安定的な運営を図る							

2 事業の概要 Do

実施の概要		事故等の発生で、市に賠償責任や損失が生じた際、適切かつ迅速に損害賠償や損失補てんを行うとともに、行財政運営に支障が生じないよう保険での対応を図る。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	賠償件数	件	1	0	2	1	
	損失補てん件数	件	0	0	0	1	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.320	0.320	100	0.320	100	0.320	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,777,170	2,837,893	102	2,739,494	97	2,831,006	103	
	事業費	0	0	-	0	-	1,000,000	-	
	合計	2,777,170	2,837,893	102	2,739,494	97	3,831,006	140	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-	1,000,000	-	
	一般財源	2,777,170	2,837,893	102	2,739,494	97	2,831,006	103	
	合計	2,777,170	2,837,893	102	2,739,494	97	3,831,006	140	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		保険料に対する賠償・補てん額の割合							
指標説明(式)		(損害賠償額+損失補てん額)/保険料							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	200	200	100.0	200	100.0	200	100.0	
	実績	72.6	0	0.0	110.8	-			
指標名2		損害事案・損失事案の発生件数							
指標説明(式)		損害賠償件数+損失補てん件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	1	0	0.0	2	-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	事故発生に伴う迅速かつ適切な損害賠償・損失補てんの実施は、組織運営上必要な事項であり、また、多額の賠償事案・損失事案が生じた場合の備えとして、安定的な行財政運営を図る上で保険加入は有効である。	3
	市民サービス	被害者の意向に応じて、保険者から自動車修理工場等に直接保険料支払する等、柔軟な対応が図られている。	
効率性	手段の最適性	保険加入により、多額の補償補填賠償金の予算を組む場合でも財源を心配する必要がない。	3
	コストの節減	全国市長会の保険加入により、保険料コストの節減を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事故等の発生を防止しつつ万一の備えとして保険加入は必要であり、毎年度加入更新している。	3

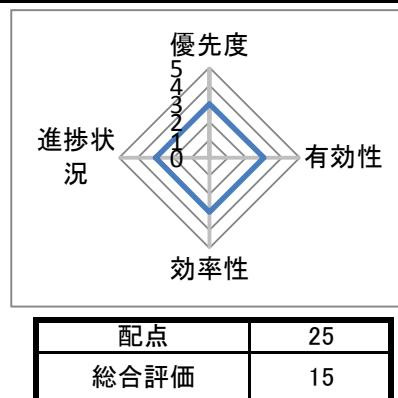
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容



事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106010700		事業の種類	9	
年度	27	事務事業名	財政調整基金事業		予算事業名	財政調整基金事業	優先度
		まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部財政課	
		施策名(中)	その他		担当課長	山本 大介	担当者名 西山 学
		取り組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
		実施計画事業名					
		根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)						
	誰(何)を対象として						
	意図(どのような状態にしたいのか)						

2 事業の概要 Do

実施の概要		財政調整基金に係る積立金 前年度基準財政需要額の1%以上、実質収支1/2以上、預金利息、財産売り払い収入等)					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	積立金	千円	410335	631956	514708	70484	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員	0.020	0.020	100	0.020	100	0.020	100
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	471,070	513,493	109	494,894	96	473,606	96
	事業費	410,335,262	631,955,860	154	514,707,736	81	70,484,000	14
	合計	410,806,332	632,469,353	154	515,202,630	81	70,957,606	14
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	410,806,332	632,469,353	154	515,202,630	81	70,957,606	14
合計		410,806,332	632,469,353	154	515,202,630	81	70,957,606	14

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

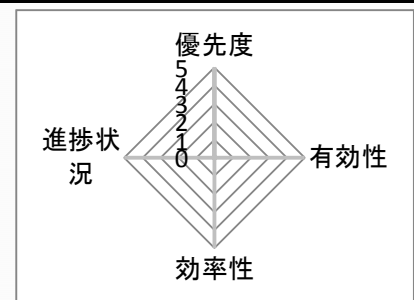
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106010800		事業の種類	9			
年度	27	事務事業名	減債基金事業		予算事業名	減債基金事業		優先度	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	財務部財政課			
施策名(中)		その他			担当課長	山本 大介	担当者名	西山 学	
取り組み事項		その他			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)								
	誰(何)を対象として								
	意図(どのような状態にしたいのか)								

2 事業の概要 Do

実施の概要		減債基金に係る積立金				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	積立金	千円	414	145	253	157

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.008	100	0.008	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	378,826	420,517	111	405,110	96	379,310	94	
	事業費	414,128	145,488	35	253,343	174	157,000	62	
	合計	792,954	566,005	71	658,453	116	536,310	81	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	792,954	566,005	71	658,453	116	536,310	81	
	合計	792,954	566,005	71	658,453	116	536,310	81	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

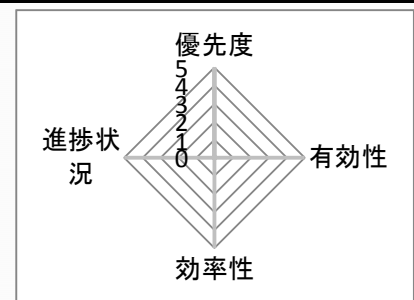
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106010900		事業の種類		9		
年度	27	事務事業名	公債費元金償還事業	予算事業名	公債費元金償還事業	優先度				
		まちづくり目標	まちづくり目標推進のために	担当部局名	財務部財政課					
		施策名(中)	その他	担当課長	山本 大介	担当者名	西山 学			
		取り組み事項	その他	実施計画への記載		無	主要事業の指定		無	
		実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規										
事業の目的	誰のために(具体的に)									
	誰(何)を対象として									
	意図(どのような状態にしたいのか)									

2 事業の概要 Do

実施の概要		既発債に係る元金償還金					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	元金償還金	千円	1292897	1379803	1409524	1425195	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.012	0.012	100	0.012	100	0.012	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	409,574	451,509	110	435,038	96	410,742	94	
	事業費	1,292,897,061	1,379,803,046	107	1,409,523,535	102	1,425,195,000	101	
	合計	1,293,306,635	1,380,254,555	107	1,409,958,573	102	1,425,605,742	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,293,306,635	1,380,254,555	107	1,409,958,573	102	1,425,605,742	101	
	合計	1,293,306,635	1,380,254,555	107	1,409,958,573	102	1,425,605,742	101	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

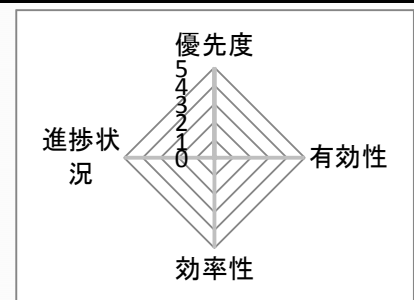
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106011000		事業の種類		9	
年度	27	事務事業名	公債費利子償還事業	予算事業名	公債費利子償還事業	優先度			
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部財政課				
施策名(中)		その他		担当課長	山本 大介	担当者名	西山 学		
取組み事項		その他		実施計画への記載		無	主要事業の指定		無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)								
	誰(何)を対象として								
	意図(どのような状態にしたいのか)								

2 事業の概要 Do

実施の概要		既発債に係る利息償還金					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	利息償還金	千円	205915	183454	168822	162686	

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.012	0.012	100	0.012	100	0.012	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	409,574	451,509	110	435,038	96	410,742	94	
	事業費	205,914,667	183,453,837	89	168,822,015	92	162,686,000	96	
	合計	206,324,241	183,905,346	89	169,257,053	92	163,096,742	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	206,324,241	183,905,346	89	169,257,053	92	163,096,742	96	
合計		206,324,241	183,905,346	89	169,257,053	92	163,096,742	96	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

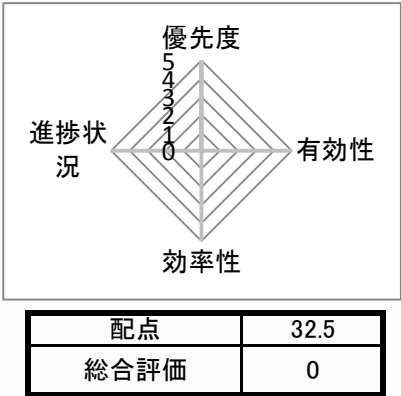
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		060106011200		事業の種類		9		
年度	27	事務事業名	予備費	予算事業名	予備費		優先度	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部財政課			
施策名(中)		その他		担当課長	山本 大介	担当者名	西山 学	
取り組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)							
	誰(何)を対象として							
	意図(どのような状態にしたいのか)							

2 事業の概要 Do

実施の概要		予算外の支出又は予算超過の支出に充てるため用途を特定しないで歳入歳出予算に計上し執行機関にその使用を委ねた目的外予算 なお、予備費は他の科目へ充用するため決算額は0となる。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	予備費充用額	千円	950	1080	0	10000

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.008	100	0.008	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	378,826	420,517	111	405,110	96	379,310	94	
	事業費	0	0	-	0	-	10,000,000	-	
	合計	378,826	420,517	111	405,110	96	10,379,310	2,562	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	378,826	420,517	111	405,110	96	10,379,310	2,562	
合計		378,826	420,517	111	405,110	96	10,379,310	2,562	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

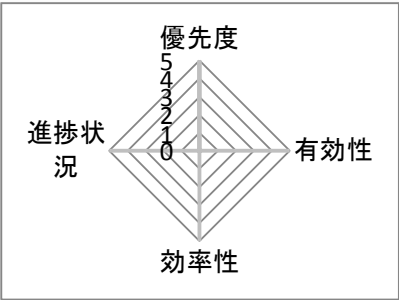
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106011300		事業の種類		9	
年度	27	事務事業名	遺族年金事業	予算事業名	遺族年金事業		優先度		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部総務課				
施策名(中)		その他		担当課長	三宅 淳一		担当者名	小林 佳代子	
取り組み事項		その他		実施計画への記載		無	主要事業の指定		無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		相生市職員の退職年金等に関する条例及び平成15年以降における遺族年金の年額の改定に関する条例							
事業の目的	誰のために(具体的に)	遺族年金受給者							
	誰(何)を対象として	遺族年金受給者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	遺族年金の支給を適正に行う							

2 事業の概要 Do

実施の概要		遺族年金支給事務					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	遺族年金支給者数	人	1	1	1	1	
	遺族年金支給回数	回	4	4	4	4	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100		
	参事以下職員	0.056	0.056	100	0.056	100	0.056	100		
	臨時職員			-		-		-		
	人件費	747,802	792,421	106	764,246	96	756,494	99		
支出内訳	事業費	830,900	830,900	100	830,900	100	840,000	101		
	合計	1,578,702	1,623,321	103	1,595,146	98	1,596,494	100		
財源内訳	国庫支出金			-		-		-		
	県支出金			-		-		-		
	市債			-		-		-		
	その他			-		-		-		
	一般財源	1,578,702	1,623,321	103	1,595,146	98	1,596,494	100		
	合計	1,578,702	1,623,321	103	1,595,146	98	1,596,494	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		支給者数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	条例及び規則の基づき適正に支給した。	
効率性	執行体制の効率性	条例及び規則の基づき適正に支給した。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

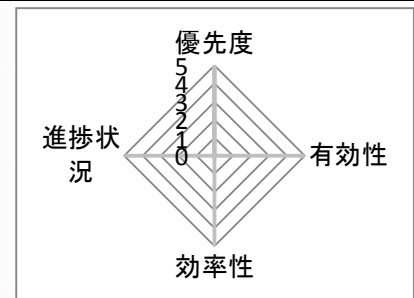
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106011400		事業の種類		9	
年度	27	事務事業名	職員退職手当基金事業	予算事業名	職員退職手当基金事業	優先度			
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部総務課				
施策名(中)		その他		担当課長	三宅 淳一		担当者名	田淵 博昭	
取組み事項		その他		実施計画への記載		無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		相生市職員退職手当基金の設置、管理及び処分に関する条例							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市職員							
	誰(何)を対象として	市職員							
	意図(どのような状態にしたいのか)	計画的な予算の執行							

2 事業の概要 Do

実施の概要		一般会計における前年度の給料決算額の100分の3を基金に積み立てる。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	退職者数	人	13	20	19	8	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.072	0.070	97	0.082	117	0.082	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	870,794	900,893	103	958,778	106	960,802	100	
	事業費	31,819,900	25,362,034	80	26,248,405	103	25,004,000	95	
	合計	32,690,694	26,262,927	80	27,207,183	104	25,964,802	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	2,142,900	1,127,034	53	1,113,405	99	504,000	45	
	一般財源	30,547,794	25,135,893	82	26,093,778	104	25,460,802	98	
合計		32,690,694	26,262,927	80	27,207,183	104	25,964,802	95	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

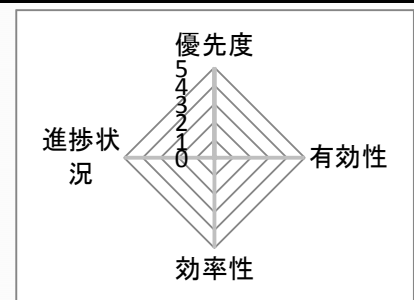
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060106011500		事業の種類		9
年度	27	事務事業名	総務管理事業	予算事業名	文書事務管理事業ほか	優先度	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部総務課		
施策名(中)		その他		担当課長	三宅 淳一	担当者名	宮下 忠和
取り組み事項		その他		実施計画への記載		主要事業の指定	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市行政手続条例、相生市行政手続条例施行規則、相生市役所処務規則、相生市決裁規程等					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市民					
	誰(何)を対象として	相生市職員					
	意図(どのような状態にしたいのか)	行政事務の適正化を推進することで行政サービスの向上を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		行政事務手続きの適正化を図る。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	異議申立て件数		0	0	3	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員	1.900	1.939	102	1.776	92	2.459	138
	臨時職員	1.004	0.967	96	1.000	103	1.010	101
支出内訳	人件費	17,373,394	17,731,715	102	16,152,286	91	22,372,328	139
	事業費	24,527,245	23,260,948	95	23,950,290	103	26,294,000	110
	合計	41,900,639	40,992,663	98	40,102,576	98	48,666,328	121
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	41,900,639	40,992,663	98	40,102,576	98	48,666,328	121
合計		41,900,639	40,992,663	98	40,102,576	98	48,666,328	121

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

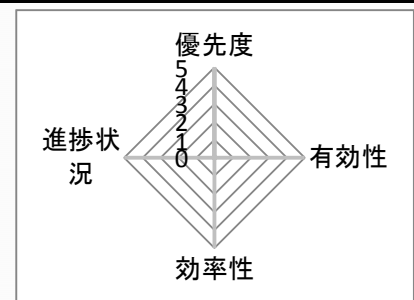
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106011600		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	非核平和展事業		予算事業名	非核平和展事業		優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	企画総務部総務課			
施策名(中)		その他			担当課長	三宅 淳一		担当者名	宮下 忠和
取り組み事項		その他			実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		なし							
事業の目的	誰のために(具体的に)	すべての市民							
	誰(何)を対象として	すべての市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	核兵器廃絶平和都市宣言のまちにふさわしい平和を希望する市民意識が育つ							

2 事業の概要 Do

実施の概要		非核平和展事業					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	非核平和展	人	212	408	387	500	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.028	0.028	100	0.028	100	0.040	143	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	532,566	575,477	108	554,750	96	630,766	114	
	事業費	25,695	25,490	99	23,755	93	39,000	164	
	合計	558,261	600,967	108	578,505	96	669,766	116	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	558,261	600,967	108	578,505	96	669,766	116	
	合計	558,261	600,967	108	578,505	96	669,766	116	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		非核平和展参加者数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	500	500	100.0	500	100.0	500	100.0	
	実績	212	408	192.5	387	94.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		参加者一人当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷参加者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1064	1178	110.7	1133	96.2	1340	118.3	
	実績	2633	1473	55.9	1495	101.5			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	「折り鶴コーナー」の設置、大型スクリーンでのビデオ上映などを行ったが、来場者数は減となった。今後、更なる周知や開催時間、方法等の検討をしていくことが必要である。	4
	市民サービス	土日も実施し、適切であった。	
効率性	コストの節減	来場者数が減となったことで、参加者一人あたりコストは増加した。	3
	手段の最適性	適切であった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	引き続き実施していく。	4

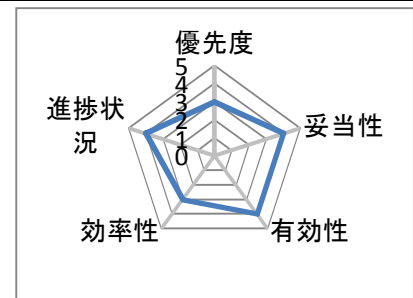
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	昨年度の結果を踏まえ、市民会館での開催とし、「折り鶴コーナー」の設置、大型スクリーンでのビデオ上映などを行ったが、来場者数は減となった。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	広く市民へPRできるよう、今後についても新たな取り組みを検討していく。



配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060106011700		事業の種類		9
年度	27	事務事業名	福利厚生事業	予算事業名	福利厚生事業		優先度
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部総務課		
施策名(中)		その他		担当課長	三宅 淳一	担当者名	原田 大輔
取り組み事項		その他		実施計画への記載		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市職員の共済制度に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市職員及びその家族					
	誰(何)を対象として	相生市職員及びその家族					
	意図(どのような状態にしたいのか)	職員の福利厚生等の充実を図り、職員が安心して生きがいをもって働けるよう支援する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		・職員の福利厚生及び共済組合に関すること。 ・兵庫県市町村職員年金者連盟に関すること。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	職員共済会補助金	千円	2500	2500	2500	2500

3 投入資源

3 投入資源		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.372	0.374	101	0.374	100	0.374	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,176,894	3,256,285	102	3,143,522	97	3,255,338	104	
	事業費	2,500,000	2,500,000	100	2,500,000	100	2,500,000	100	
	合計	5,676,894	5,756,285	101	5,643,522	98	5,755,338	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	0	0	-		-		-	
	一般財源	5,676,894	5,756,285	101	5,643,522	98	5,755,338	102	
	合計	5,676,894	5,756,285	101	5,643,522	98	5,755,338	102	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		会員1人当たりの補助金単価							
指標説明(式)		補助金額÷会員							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度		
効率性	執行体制の効率性		
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

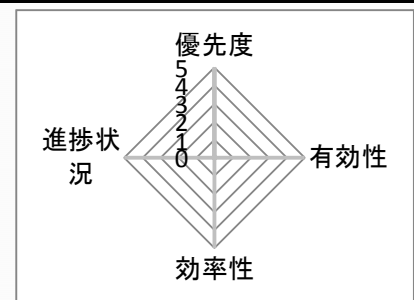
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060106011800		事業の種類		9	
年度	27	事務事業名	労務管理事業	予算事業名	労務管理事業		優先度	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部総務課			
施策名(中)		その他		担当課長	三宅 淳一	担当者名	原田 大輔	
取り組み事項		その他		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市職員安全衛生管理規程						
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市職員(非常勤職員含む)						
	誰(何)を対象として	相生市職員(非常勤職員含む)						
	意図(どのような状態にしたいのか)	職場における労働災害の防止と職員の健康保持増進を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		職員の公務災害補償事務及び健康管理の充実					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	職員の公務災害数	件	1	1	0	0	
	安全衛生委員会開催数	回	1	1	2	1	
	健康診断受診者数	人	181	184	184	194	
	人間ドック受診者数	人	130	130	124	116	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分		一般会計		事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.208	0.208	100	0.292	140	0.292	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,916,226	1,970,117	103	2,529,998	128	2,610,982	103	
	事業費	3,907,967	4,312,421	110	4,169,338	97	5,954,000	143	
	合計	5,824,193	6,282,538	108	6,699,336	107	8,564,982	128	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	518,865	530,694	102	525,260	99	526,000	100	
	一般財源	5,305,328	5,751,844	108	6,174,076	107	8,038,982	130	
	合計	5,824,193	6,282,538	108	6,699,336	107	8,564,982	128	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		公務災害発生率							
指標説明(式)		災害者数÷職員数×100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		健康診断1人当たり単価							
指標説明(式)		健康診断手数料÷受検者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理		
	成果目標(改善)達成度		
効率性	執行体制の効率性		
	コストの節減		
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

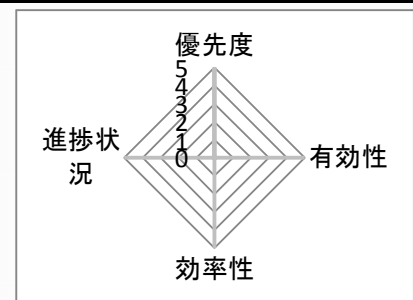
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060106011900		事業の種類		9	
年度	27	事務事業名	労働組合対応事業	予算事業名			優先度	
		まちづくり目標	まちづくり目標推進のために	担当部局名	企画総務部総務課			
		施策名(中)	その他	担当課長	三宅 淳一	担当者名	吉田 純也	
		取組み事項	その他	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		地方公務員法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	職員						
	誰(何)を対象として	職員						
	意図(どのような状態にしたいのか)	労働組合との適正な関係を築き、職員の士気を高める						

2 事業の概要 Do

実施の概要		労働条件の改善、生活安定及び組合員の相互親睦と地方自治の発展向上を図ることを目的に組織された職員労働組合連合会等と労使交渉を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	団体交渉回数	回	4	2	2	1	

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.164	0.164	100	0.164	100	0.164	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,577,998	1,629,205	103	1,572,302	97	1,605,158	102	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,577,998	1,629,205	103	1,572,302	97	1,605,158	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,577,998	1,629,205	103	1,572,302	97	1,605,158	102	
	合計	1,577,998	1,629,205	103	1,572,302	97	1,605,158	102	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		団体交渉回数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	1	1	100.0	1	100.0		0.0	
	実績	4	2	50.0		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	労働組合との労使交渉を行い、適正な関係に努めた。	
効率性	執行体制の効率性	節度ある交渉が行われた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

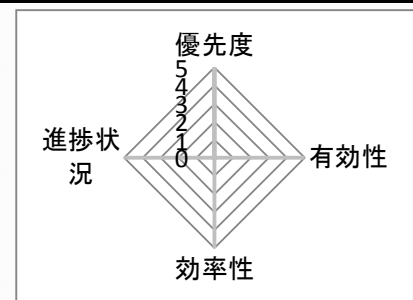
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106012000		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	統計調査事務事業	予算事業名	統計調査事務事業	優先度	3		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課				
施策名(中)		その他		担当課長	松尾 次郎	担当者名	中山 基恵		
取り組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民 関係機関 各種統計資料利用者							
	誰(何)を対象として	各種統計資料利用者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	市に関する各種統計資料を公表し、市民や関係機関の利用に供するとともに、市の現状や統計調査についての理解を深めてもらう。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		統計書の編集・発行 協議会への出席 登録統計調査員の確保対策					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	相生市統計書	部	80	80	80	80	
	登録統計調査員	人	72	82	92	92	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員	0.056	0.060	107	0.108	180	0.160	148
	臨時職員	0.200	0.040	20	0.080	200		0
支出内訳	人件費	1,236,002	920,613	74	1,354,830	147	1,573,726	116
	事業費	75,460	76,700	102	75,020	98	101,000	135
	合計	1,311,462	997,313	76	1,429,850	143	1,674,726	117
財源内訳	国庫支出金	0	0	-	0	-	0	-
	県支出金	34,000	32,000	94	35,000	109	54,000	154
	市債	0	0	-	0	-	0	-
	その他	0	0	-	0	-	0	-
	一般財源	1,277,462	965,313	76	1,394,850	144	1,620,726	116
	合計	1,311,462	997,313	76	1,429,850	143	1,674,726	117

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		外部施設等への統計書配布数							
指標説明(式)		統計書配布数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
部	目標	45	45	100.0	45	100.0	45	100.0	
	実績	45	45	100.0	45	100.0			
指標名2		登録統計調査員の登録率							
指標説明(式)		登録統計調査員/登録基準数*100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	150	170.8	113.9	191.7	112.2			

【効率性】

指標名1		統計書1部を作成するためにかかるコスト							
指標説明(式)		統計書作成にかかる経費/統計書部数 (平成17年度より庁内印刷:経費100,000で計算)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1250	1250	100.0	1250	100.0	1250	100.0	
	実績	1250	1250	100.0	1250	100.0			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	登録統計調査員の確保については、既に登録基準数を超過しており、さらに国勢調査の調査員をしていただいた方から11名新規登録できた。	4
	市民サービス	各種統計資料の公表により、市民が市の現状を理解することができる。	
効率性	コストの節減	庁内印刷を行っているため、コストは低く抑えられている。	3
	手段の最適性	ホームページを利用し広く公表している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	統計書を予定どおり編集発行できた。	4

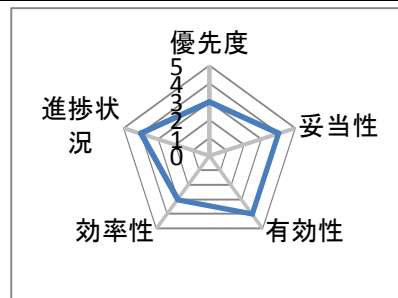
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	国や県の統計における統廃合に伴い、統計書の掲載内容を変更する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	過去の掲載項目とのつながりを意識し、調査結果を掲載する。



配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106012100		事業の種類		0	
年度	27	事務事業名	工業統計調査事業		予算事業名	工業統計調査事業		優先度	－
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	企画総務部企画広報課			
施策名(中)		その他			担当課長	松尾 次郎		担当者名	中山 基恵
取り組み事項		その他			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		統計法、同法施行令							
事業の目的	誰のために(具体的に)	工業統計調査に関する情報利用者 行政機関							
	誰(何)を対象として	製造業に属する事業所(国営企業に属する事業所を除く)(全数)							
	意図(どのような状態にしたいのか)	統計調査の結果を市民に公表するとともに、行政施策の立案・実行の基礎資料とするため、迅速かつ正確な統計調査を行う。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		工業統計調査にかかる事業					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	対象事業所	件	68	66	0	0	
	調査客体	件	—	52	0	0	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.105	0.112	107	0.000	0	0.180	-	
	臨時職員	0.200	0.160	80	0.004	3		0	
支出内訳	人件費	1,612,665	1,615,109	100	355,330	22	1,730,886	487	
	事業費	176,000	145,850	83	2,000	1	55,000	2,750	
	合計	1,788,665	1,760,959	98	357,330	20	1,785,886	500	
財源内訳	国庫支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	県支出金	176,000	176,000	100	2,000	1	55,000	2,750	
	市債	0	0	-	0	-	0	-	
	その他	0	0	-	0	-	0	-	
	一般財源	1,612,665	1,584,959	98	355,330	22	1,730,886	487	
	合計	1,788,665	1,760,959	98	357,330	20	1,785,886	500	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		工業統計調査調査票の回収率							
指標説明(式)		回収調査票/調査客体*100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	—	—	—	—	—	—	—	
	実績	67.6	82.7	122.3	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

【効率性】

指標名1		工業統計調査1調査客体あたりにかかる費用							
指標説明(式)		総事業費(人件費含む)/調査客体							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	26304	33865	128.7	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	中止年度により準備事務のみ。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	中止年度により準備事務のみ。	
効率性	コストの節減	全額県支出金により充当するため、節減に裁量がない。	3
	執行体制の効率性	中止年度により準備事務のみ。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	中止年度により準備事務のみ。	4

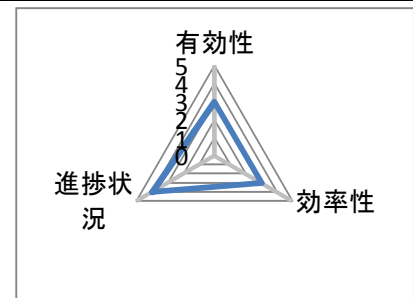
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	調査員の対面調査では、経済情勢の悪化や個人情報保護意識の高まり等により調査が困難となっている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	今年度は調査中止。次年度以降新たな調査手段やより簡易的な調査となるよう要望し、登録統計調査員との連携を強化し資質向上を図る。



配点	32.5
総合評価	10

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060106012200		事業の種類	0	
年度	27	事務事業名	経済センサス事業	予算事業名	経済センサス事業	優先度	－
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		その他	担当課長	松尾 次郎	担当者名	中山 基恵	
取組み事項		その他	実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		統計法、同法施行令					
事業の目的	誰のために(具体的に)	経済センサスに関する情報利用者 行政機関					
	誰(何)を対象として	事業所及び企業					
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業所及び企業の経済活動の状態を調査し、すべての産業分野における事業所及び企業の活動からなる経済の構造を全国的及び地域別に明らかにすること、各種統計調査実施のため					

2 事業の概要 Do

実施の概要		経済センサスに係る事業					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	対象事業所	件	—	1548	—	—	
	調査客体	件	—	1179	—	—	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.012	0.273	2,275	0.160	59	0.831	519	
	臨時職員	0.040	0.440	1,100	0.152	35		0	
支出内訳	人件費	507,214	3,542,937	699	1,925,262	54	6,846,444	356	
	事業費	11,000	1,136,601	10,333	124,613	11	1,530,000	1,228	
	合計	518,214	4,679,538	903	2,049,875	44	8,376,444	409	
財源内訳	国庫支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	県支出金	11,000	1,239,000	11,264	174,000	14	1,670,000	960	
	市債	0	0	-	0	-	0	-	
	その他	0	0	-	0	-	0	-	
	一般財源	507,214	3,440,538	678	1,875,875	55	6,706,444	358	
	合計	518,214	4,679,538	903	2,049,875	44	8,376,444	409	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		経済センサス調査票の回収率							
指標説明(式)		回収調査票/調査客体*100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	—	—	—	—	—	—	—	
	実績	—	78.3	—	—	—			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—			

【効率性】

指標名1		経済センサス1調査客体あたりにかかる費用							
指標説明(式)		総事業費(人件費含む)/調査客体							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	-	3969	-	1739	43.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	平成28年経済センサス活動調査に係る準備事務のみ。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	平成28年経済センサス活動調査に係る準備事務のみ。	
効率性	コストの節減	全額県支出金より充当するため、コスト節減に裁量がない。	3
	執行体制の効率性	平成28年経済センサス活動調査に係る準備事務のみ。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成28年経済センサス活動調査に係る準備事務のみ。	4

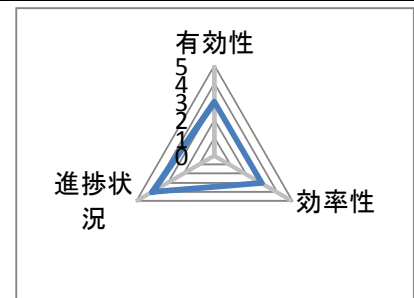
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	調査票の回収率を向上させる必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	新たな調査手段やより簡易的な調査となるよう要望し、調査員との連携を強化し資質向上を図る。



配点	32.5
総合評価	10

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106012300		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	厚生労働統計調査事業	予算事業名	厚生労働統計調査事業(市民)	優先度	3		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部市民課				
施策名(中)		その他		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	平野 潤		
取組み事項		その他		実施計画への記載		無	主要事業の指定		無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		人口動態調査令・人口動態調査令施行規則							
事業の目的	誰のために(具体的に)	国、兵庫県							
	誰(何)を対象として	出生、死亡、転入転出届等から人口動態統計							
	意図(どのような状態にしたいのか)	人口動向を調査することにより、国・地方公共団体の各種施策のための基礎資料として活用。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		人口動態調査令により次の事務を行う。 出生票・死亡票・婚姻票・離婚票・死産票 作成					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	人口動態調査票作成件数	件	837	827	779	800	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員	1.029	1.029	100	0.410	40	0.078	19
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	8,227,253	8,331,225	101	3,412,874	41	929,370	27
	事業費	39,000	39,000	100	38,526	99	45,000	117
	合計	8,266,253	8,370,225	101	3,451,400	41	974,370	28
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金	30,737		0		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	8,235,516	8,370,225	102	3,451,400	41	974,370	28
	合計	8,266,253	8,370,225	101	3,451,400	41	974,370	28

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		人口動態調査票作成時間							
指標説明(式)		人口動態調査票作成の平均時間							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
分	目標	5	5	100.0	5	100.0	2	40.0	
	実績	5	5	100.0	2	40.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		1件あたりの調査票作成コスト							
指標説明(式)		総事業費／調査票作成件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10513	10824	103.0	10037	92.7	1218	12.1	
	実績	9876	10121	102.5	4431	43.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標は達成できた。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	適正に執行した。	
効率性	コストの節減	前年度に比べて、1件あたりの調査票作成コストが減少した。	4
	執行体制の効率性	調査票作成業務を係内でカバーできる体制づくりに努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

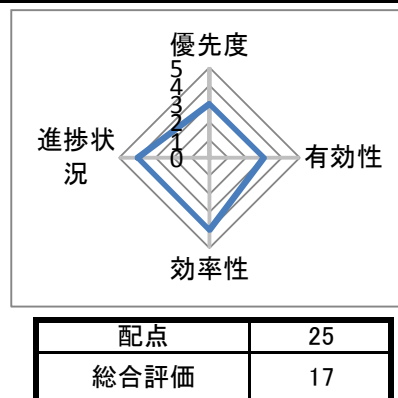
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	引き続き戸籍事務処理との連携を円滑に行い、より正確・迅速な処理を行う。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	引き続き事務処理の迅速化・正確化を図る。



事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106012400		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	証明書交付事業	予算事業名	戸籍住民基本台帳等事務事業		優先度	3	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部市民課				
施策名(中)		その他		担当課長	岩崎 徹博		担当者名	大川 彩恵	
取組み事項		その他		実施計画への記載		無	主要事業の指定		無
実施計画事業名		住基ネットシステム			戸籍事務電算化				
		戸籍システム保守料			本人通知制度				
		本人通知制度(保守)			住民票等コンビニ交付事業				
根拠法規及び関連法規			戸籍法、住民基本台帳法、相生市印鑑条例、相生市手数料条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)		戸籍等謄抄本、住民票の写し、印鑑登録証明書等の申請者						
	誰(何)を対象として		戸籍等謄抄本、住民票の写し、印鑑登録証明書等の申請者						
	意図(どのような状態にしたいのか)		住居身分関係などの公証を受けることにより、年金受給手続・相続手続等各種届出の添付書類として日常生活において利便性を確保できる。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		戸籍法に基づく戸籍謄抄本等や住民基本台帳に基づく住民票の写し等及び、相生市印鑑条例に基づく印鑑証明書の交付や、手数料の徴収、納付を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	証明書交付件数(有料)	件	38223	34882	35400	35500	
	証明書交付件数(無料)	件	4960	4894	3672	3700	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.969	0.944	97	0.440	47	0.840	191	
	臨時職員	0.577	0.584	101	1.152	197	0.782	68	
支出内訳	人件費	9,174,490	9,091,765	99	6,539,222	72	9,033,258	138	
	事業費	26,241,379	14,609,510	56	21,867,136	150	13,042,000	60	
	合計	35,415,869	23,701,275	67	28,406,358	120	22,075,258	78	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	35,415,869	23,701,275	67	28,406,358	120	22,075,258	78	
	合計	35,415,869	23,701,275	67	28,406,358	120	22,075,258	78	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		証明書交付平均時間							
指標説明(式)		戸籍謄抄本・住民票の写し・印鑑証明書等の請求受け付けから交付までの平均時間							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
分	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	5	5	100.0	5	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		1件あたりの証明書交付コスト							
指標説明(式)		総事業費/証明書交付件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	991	437	44.1	544	124.5	563	103.5	
	実績	820	596	72.7	727	122.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目的は達成できた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	適正に執行した。	
効率性	コストの節減	前年度に比べて、1件あたりの証明書交付コストが増加した。	3
	執行体制の効率性	窓口受付業務を係内でカバーできるよう努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

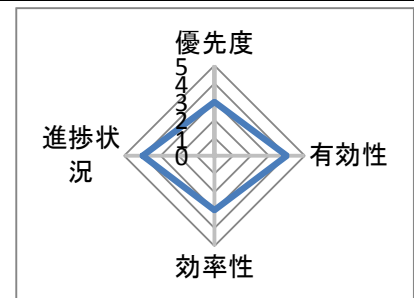
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	さらに正確・迅速に事務処理を行うこと。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	さらに正確・迅速に事務処理を行うこと。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		060106012500		事業の種類	
年度	27	事務事業名	戸籍事務事業	予算事業名	優先度
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部市民課
施策名(中)		その他		担当課長	岩崎 徹博
取り組み事項		その他		担当者名	平野 潤
				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
実施計画事業名		社会保障・税番号制度システム整備事業			
根拠法規及び関連法規		戸籍法・戸籍法施行規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	本市に本籍地を有する人			
	誰(何)を対象として	戸籍届出及び受付事務並びに戸籍簿、除籍簿の管理			
	意図(どのような状態にしたいのか)	国籍及び身分関係、居住関係等について公証を受けられることにより、市民が安心して暮らせる。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		戸籍新システムを活用し、戸籍法に基づき、戸籍届出の受付、審査、受理、記載を行う。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	戸籍届出受付件数	件	1846	1812	1783	1800
	年度末本籍数	件	16370	16292	16188	16180

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円						
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員	3.086	3.039	98	2.946	97	2.890	98
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	24,039,412	23,904,705	99	22,387,226	94	23,026,066	103
	事業費			-		-		-
	合計	24,039,412	23,904,705	99	22,387,226	94	23,026,066	103
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	24,039,412	23,904,705	99	22,387,226	94	23,026,066	103
	合計	24,039,412	23,904,705	99	22,387,226	94	23,026,066	103

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		戸籍簿作成平均日数							
指標説明(式)		戸籍関係届出受付から戸籍簿作成までに要する日数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
日	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2		1件あたりの戸籍届出受付コスト							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		1件あたりの戸籍届出受付コスト							
指標説明(式)		総事業費／戸籍届出受付総件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	13217	15537	117.6	13535	87.1	12792	94.5	
	実績	13022	13192	101.3	12556	95.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標は達成できた。	5
	関係(根拠)法令から見た効果	適正に執行した。	
効率性	コストの節減	前年度に比べて1件あたりの戸籍届出受付コストが減少した。	4
	執行体制の効率性	システムを活用し、受付に伴う時間短縮、関連事務の効率化、事務の正確化を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

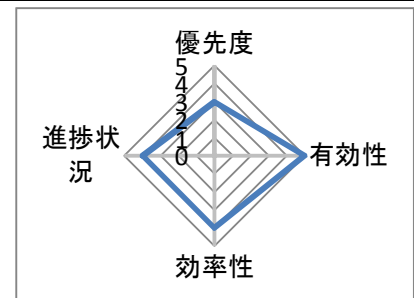
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	システムを活用し、さらに事務の効率化を図る。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	システムを活用し、さらに事務の効率化を図る。



配点	32.5
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060106012700	事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	印鑑登録事務事業	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		その他	担当課長		担当者名		
取り組み事項		その他	実施計画への記載	無	主要事業の指定		無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市印鑑条例、相生市印鑑条例施行規則、地方自治法第2条第3項					
事業の目的	誰のために(具体的に)	印鑑登録者					
	誰(何)を対象として	印鑑登録者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	印鑑登録をし、提出が義務付けられている不動産登記や公正証書作成等に印鑑証明を添付することにより、本市に在住する本人であることの証明となり、取引等の安全性を確保できる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市印鑑条例に基づく、印鑑登録の申請、印鑑登録の廃止申請等の受付。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	印鑑登録等申請受付件数	件	1392	1278	1316	1320	
	年度末登録総件数	件	21096	20894	20754	20700	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.323	0.322	100	0.292	91	0.302	103	
	臨時職員	0.092	0.092	100	0.152	165	0.143	94	
支出内訳	人件費	3,024,803	3,076,949	102	2,912,886	95	3,076,520	106	
	事業費			-		-		-	
	合計	3,024,803	3,076,949	102	2,912,886	95	3,076,520	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,024,803	3,076,949	102	2,912,886	95	3,076,520	106	
	合計	3,024,803	3,076,949	102	2,912,886	95	3,076,520	106	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		印鑑登録作成平均時間							
指標説明(式)		印鑑登録の申請から登録までの平均時間							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
分	目標	7	7	100.0	7	100.0	7	100.0	
	実績	7	7	100.0	7	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		1件あたりの印鑑登録等申請受付コスト							
指標説明(式)		総事業費／印鑑登録等申請受け付け件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2190	2193	100.1	2300	104.9	2331	101.3	
	実績	2172	2408	110.9	2213	91.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標は達成できた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	適正に執行した。	
効率性	コストの節減	前年度に比べて、1件あたりの印鑑登録等申請受付コストが減少した。	4
	執行体制の効率性	窓口受付業務を係内でカバーできるよう努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

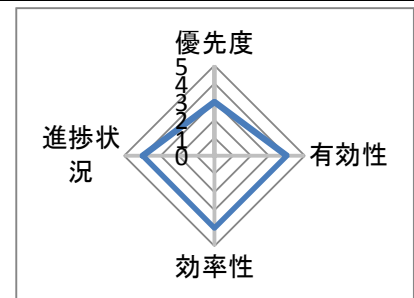
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	さらに正確・迅速に事務処理を行うこと。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	さらに事務の効率化・迅速化を図る。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060106012800	事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	住民基本台帳事務事業	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		その他	担当課長	岩崎 徹博		担当者名	武長 洋孝
取り組み事項		その他	実施計画への記載		有	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		住民基本台帳法、住民基本台帳法施行令、住民基本台帳法施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	本市に住所地を有する人					
	誰(何)を対象として	住民基本台帳の記録管理					
	意図(どのような状態にしたいのか)	居住関係の交渉を受け、選挙人名簿に登録されるとともに、各種行政サービスを受けることができ、市民の利便性が確保できる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		住民基本台帳法に基づく住民記録処理を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	年度末台帳管理総件数	件	30862	30460	30380	30350	
	登録・異動処理件数	件	4301	4834	4960	5000	

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円					
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員	0.643	0.768	119	1.426	186	1.965	138
	臨時職員	0.300	0.304	101	0.440	145	0.534	121
支出内訳	人件費	5,992,371	7,047,717	118	12,122,946	172	17,202,420	142
	事業費			-		-		-
	合計	5,992,371	7,047,717	118	12,122,946	172	17,202,420	142
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	5,992,371	7,047,717	118	12,122,946	172	17,202,420	142
	合計	5,992,371	7,047,717	118	12,122,946	172	17,202,420	142

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		住民基本台帳登録・異動処理平均時間							
指標説明(式)		住民基本台帳法に基づく登録や異動の申請から処理が終わるまでの平均時間							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
分	目標	8	8	100.0	8	100.0	8	100.0	
	実績	8	8	100.0	8	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		1件あたりの登録・異動処理コスト							
指標説明(式)		総事業費／登録・異動処理件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1206	1470	121.9	1289	87.7	3440	266.9	
	実績	1393	1458	104.7	2444	167.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標は達成できた。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	適正に処理した。	
効率性	コストの節減	前年度に比べて、1件あたりの登録・異動処理コストが増加した。	3
	執行体制の効率性	登録・異動業務を係内でカバーできる体制づくりに努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

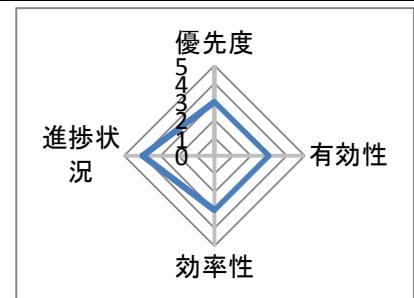
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	さらに適正・迅速に事務処理を行うこと。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	引き続き事務処理の正確化・迅速化を図る。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106012900		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	臨時運行許可事業	予算事業名				優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部市民課				
施策名(中)		その他		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	大川 彩恵		
取り組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		道路運送車両法、相生市自動車臨時運行許可規則							
事業の目的	誰のために(具体的に)	臨時運行許可申請者							
	誰(何)を対象として	臨時運行許可申請者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	車の継続検査時、新規登録時の検査場への回送等の目的で道路を運行する為の特例的な許可制度であり、申請者の利便性を確保する。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		道路運送車両法第34条第2項に基づく自動車の臨時運行許可申請に対する審査・許可					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	臨時運行許可件数	件	170	141	190	190	

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.044	0.047	107	0.050	106	0.058	116	
	臨時職員	0.018	0.009	50	0.027	300	0.022	81	
支出内訳	人件費	699,496	744,559	106	787,367	106	831,742	106	
	事業費			-		-		-	
	合計	699,496	744,559	106	787,367	106	831,742	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	699,496	744,559	106	787,367	106	831,742	106	
	合計	699,496	744,559	106	787,367	106	831,742	106	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		臨時運行許可申請受付平均時間							
指標説明(式)		臨時運行許可申請受付から、許可証・番号標を交付する平均時間							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
分	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	5	5	100.0	5	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		1件あたりの許可コスト							
指標説明(式)		総事業費／許可件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2557	3052	119.4	4602	150.8	4378	95.1	
	実績	4114	5281	128.4	4144	78.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標は達成できた。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	適正に執行した。	
効率性	コストの節減	1件あたりのコストが減少した。	4
	執行体制の効率性	窓口受付業務を係内でカバーできる体制づくりに努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

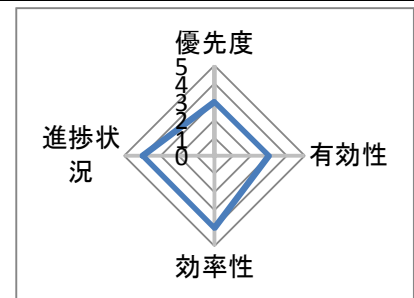
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	さらに正確・迅速に事務処理を行う。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	引き続き係内研修を充実させ、事務の迅速化・適正化を図る。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106013000		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	公的個人認証受付事業		予算事業名			優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	市民生活部市民課			
施策名(中)		その他			担当課長	岩崎 徹博		担当者名	武長 洋孝
取り組み事項		その他			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律、同法施行規則、同法施行令							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律第3条及び第22条に基づく事務。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		公的個人認証の受付、認証を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	公的個人認証事務件数	件	70	49	150	2000	

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.050	0.050	100	0.056	112	0.051	91	
	臨時職員	0.014	0.014	100	0.026	186	0.027	104	
支出内訳	人件費	735,854	779,953	106	829,740	106	790,266	95	
	事業費			-		-		-	
	合計	735,854	779,953	106	829,740	106	790,266	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	735,854	779,953	106	829,740	106	790,266	95	
合計		735,854	779,953	106	829,740	106	790,266	95	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		公的個人認証申請受付平均時間							
指標説明(式)		公的個人認証申請受付から認証にかかる平均時間							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
分	目標	15	15	100.0	15	100.0	15	100.0	
	実績	15	15	100.0	15	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		1件あたりの認証コスト							
指標説明(式)		総事業費／認証件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	15548	10837	69.7	14672	135.4	395	2.7	
	実績	10512	15917	151.4	5531	34.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標は達成した。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	適正に執行した。	
効率性	コストの節減	前年度に比べて、認証件数減により1件あたり認証コストが減少した。	3
	執行体制の効率性	認証業務を係内でカバーできる体制づくりに努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

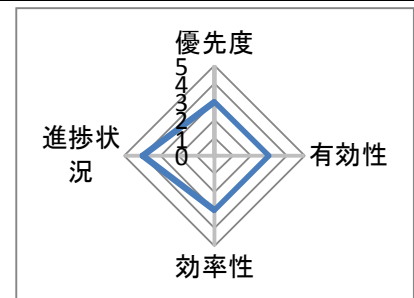
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	さらに事務処理の効率化を図る。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	係内研修を充実させ、さらに事務処理の効率化と正確化を図る。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106013100		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	自衛官募集事務事業	予算事業名				優先度	3
		まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部市民課			
		施策名(中)	その他	担当課長	岩崎 徹博		担当者名	平林 良子	
		取組み事項	その他	実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
		実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規			自衛隊法、自衛隊法施行令						
事業の目的	誰のために(具体的に)		市民(日本人)						
	誰(何)を対象として		市民(日本人)						
	意図(どのような状態にしたいのか)		自衛官募集の情報を提供することにより、就職の機会が広がる。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		自衛官募集に関する次の事務を行う。 広報紙への募集記事の掲載、募集案内資料の設置、ポスター掲示場所の提供等					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	広報紙掲載回数	回	4	4	4	4	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.038	0.038	100	0.058	153	0.058	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	609,436	652,957	107	779,210	119	772,210	99	
	事業費			-		-		-	
	合計	609,436	652,957	107	779,210	119	772,210	99	
財源内訳	国庫支出金	12,000		0		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	597,436	652,957	109	779,210	119	772,210	99	
	合計	609,436	652,957	107	779,210	119	772,210	99	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		自衛官募集広報紙掲載回数							
指標説明(式)		広報紙掲載回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	4	4	100.0	4	100.0	4	100.0	
	実績	4	4	100.0	4	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		広報紙掲載コスト							
指標説明(式)		総事業費／広報紙掲載回数×1回あたりの平均発行部数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10	11	110.0	11	100.0	14	127.3	
	実績	11	12	109.1	14	116.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標は達成できた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	適正に執行した。	
効率性	コストの節減	1件あたりの広報掲載コストが増加した。	3
	執行体制の効率性	募集時期にあわせて、随時広報紙に掲載している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

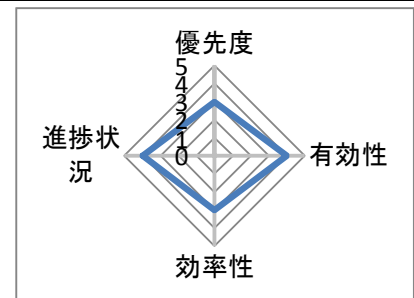
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	引き続き効果的な方法で周知する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	適時の広報と関係団体との連携を図る。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106013200		事業の種類		0	
年度	27	事務事業名	日雇特例被保険者事業	予算事業名				優先度	－
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部市民課				
施策名(中)		その他		担当課長	岩崎 徹博		担当者名	木下 卓巳	
取り組み事項		その他		実施計画への記載		無	主要事業の指定		無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		健康保険法							
事業の目的	誰のために(具体的に)		日雇特例被保険者						
	誰(何)を対象として		日雇特例被保険者						
	意図(どのような状態にしたいのか)		日雇特例被保険者の生活の安定と福祉の向上に寄与する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		日雇特例被保険者に関する報告等を作成する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	被保険者手帳交付等状況報告書作成	件	12	0	—	—	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	317,330	358,533	113	345,254	96	316,446	92	
	事業費			-		-		-	
	合計	317,330	358,533	113	345,254	96	316,446	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	317,330	358,533	113	345,254	96	316,446	92	
	合計	317,330	358,533	113	345,254	96	316,446	92	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		被保険者手帳交付等状況報告							
指標説明(式)		報告件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	12	0	0.0	—	—		—	
	実績	12	0	0.0	—	—		—	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

【効率性】

指標名1		事業費1件当たりコスト							
指標説明(式)		事業費/報告件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	—	-		-	
	実績	0	0	-	—	-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成26年2月28日をもって、相生市の区域については、新規に当該被保険者となる者の見込みがないため、申請により、厚生労働大臣が指定する日雇特例被保険者に係る事務の一部を行わせる地域から除外された。	

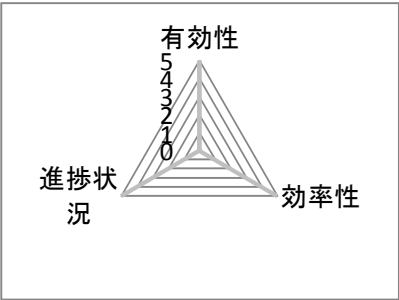
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106013300		事業の種類		9	
年度	27	事務事業名	福祉医療費等助成事業		予算事業名	福祉医療費一般事務経費		優先度	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	市民生活部市民課			
施策名(中)		その他			担当課長	岩崎 徹博		担当者名	木下 卓巳
取り組み事項		その他			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名		福祉医療費助成システム構築事業							
根拠法規及び関連法規		福祉医療費等助成条例							
事業の目的	誰のために(具体的に)	老人、重度障害者(児)、乳幼児等、子ども、母子家庭の母子、父子家庭の父子及び遺児							
	誰(何)を対象として	老人、重度障害者(児)、乳幼児等、子ども、母子家庭の母子、父子家庭の父子及び遺児							
	意図(どのような状態にしたいのか)	これらの者に係る医療費の一部を助成し、もってこれらの者の福祉の増進を図る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		老人、重度障害者(児)、乳幼児等、子ども、母子家庭の母子、父子家庭の父子及び遺児に係る医療費を助成するための各種受給者証の交付にかかる事務経費 各種事業評価は別シートあり							
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画			
	福祉医療費一般事務経費	円	12,246,744	13,591,830	25984220	14724000			

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	317,330	358,533	113	345,254	96	316,446	92	
	事業費	12,246,744	13,591,830	111	25,984,220	191	14,724,000	57	
	合計	12,564,074	13,950,363	111	26,329,474	189	15,040,446	57	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	3,637,211	3,526,878	97		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,926,863	10,423,485	117	26,329,474	253	15,040,446	57	
合計		12,564,074	13,950,363	111	26,329,474	189	15,040,446	57	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

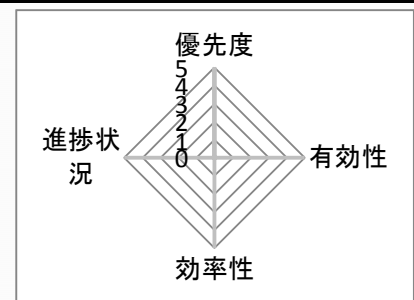
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060106013400		事業の種類		9	
年度	27	事務事業名	厚生労働統計調査事業(社会福祉)	予算事業名			優先度	
		まちづくり目標	まちづくり目標推進のために	担当部局名	健康福祉部社会福祉課			
		施策名(中)	その他	担当課長	清水 直子	担当者名	坂本 哲弥	
		取り組み事項	その他	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
		実施計画事業名						
		実施計画事業名						
		実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規			統計法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市民						
	誰(何)を対象として	相生市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	福祉行政の実態を数量的に把握することにより、社会福祉行政運営の基礎資料とする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		福祉行政統計に係る経費の執行				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	予算執行額	円	47600	0	0	0

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.120		0		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,239,770	358,533	29	345,254	96	316,446	92	
	事業費	47,600	0	0		-		-	
	合計	1,287,370	358,533	28	345,254	96	316,446	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,287,370	358,533	28	345,254	96	316,446	92	
	合計	1,287,370	358,533	28	345,254	96	316,446	92	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

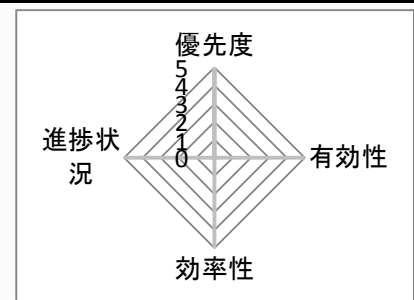
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106013500		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	社会福祉総務費事務経費	予算事業名	社会福祉総務費事務経費(社会福祉)	優先度	4		
		まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	健康福祉部社会福祉課			
		施策名(中)	その他		担当課長	清水 直子	担当者名	番匠 芳敬	
		取り組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
		実施計画事業名	地域福祉計画策定事業						
		根拠法規及び関連法規	社会福祉法						
事業の目的	誰のために(具体的に)		相生市民						
	誰(何)を対象として		相生市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)		相生市の地域福祉を総合的に推進することを目的に地域福祉計画を策定する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域福祉計画策定にかかる経費の執行。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	アンケート調査	件	-	-	-	-	
	策定委員会の実施	回	-	-	-	-	
	推進委員会の実施	回	2	1	1	1	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.220	0.388	176	0.232	60	0.192	83	
	臨時職員	0.080	0.020	25		0		-	
支出内訳	人件費	2,203,750	3,413,357	155	2,081,078	61	1,825,182	88	
	事業費		497,859	-	344,714	69	379,000	110	
	合計	2,203,750	3,911,216	177	2,425,792	62	2,204,182	91	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,203,750	3,911,216	177	2,425,792	62	2,204,182	91	
	合計	2,203,750	3,911,216	177	2,425,792	62	2,204,182	91	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	市民の見守り活動等を実施している民生委員・児童委員に対し、研修会等を開催し、地域福祉への理解を深めることができた。	4
効率性	負担割合の適正化	民生・児童委員協議会で地域福祉の研修会の実施。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	地域福祉計画の推進状況に関し、各課への聞き取り調査及び庁内連絡会を実施した。	4

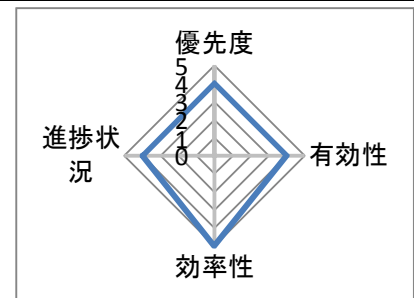
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	自治会及び地区社協役員については、地域福祉の重要性について浸透しつつあるが、一般市民には計画内容が十分浸透していない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	(1) 社協、自治会、民生・児童委員との連携強化 (2) 庁内推進体制へのフィードバック



配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060106013600		事業の種類		9
年度	27	事務事業名	障害者福祉費事務経費	予算事業名	障害者福祉費事務経費	優先度	3
		まちづくり目標	まちづくり目標推進のために	担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
		施策名(中)	その他	担当課長	清水 直子	担当者名	井上 勇治
		取組み事項	その他	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
		実施計画事業名					
		根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	障害福祉関連サービスを受ける市民					
	誰(何)を対象として	障害福祉関連事務を執行する職員及び職場環境等の体制					
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害福祉担当職員の資質向上と事務機器等の整備・保守を適切に行い、市民が障害福祉関連サービスを円滑かつ適切に受けることのできる体制を整備する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		事務処理のための環境・基盤整備を行うとともに、事務の効率化・円滑化を図るため、担当職員の専門知識の向上及び県並びに県下各自治体との連絡調整・情報共有を目的に、研修会や連絡会等に参加する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	障害者福祉費事務経費	円	209228	192487	3668454	1167000	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.008	0.042	525	0.060	143	0.072	120	
	臨時職員		0.020	-	0.049	245	0.128	261	
支出内訳	人件費	378,826	732,549	193	917,605	125	1,228,590	134	
	事業費	209,228	192,487	92	3,668,454	1,906	1,167,000	32	
	合計	588,054	925,036	157	4,586,059	496	2,395,590	52	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	588,054	925,036	157	4,586,059	496	2,395,590	52	
	合計	588,054	925,036	157	4,586,059	496	2,395,590	52	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

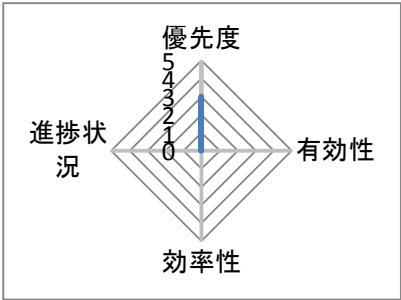
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	6

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106013700		事業の種類		3	
年度	27	事務事業名	保健衛生総務事務経費	予算事業名	保健衛生総務費事務経費	優先度	4		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	健康福祉部健康介護課				
施策名(中)		その他		担当課長	友上 啓子	担当者名	桂 安邦		
取り組み事項		その他		実施計画への記載		有	主要事業の指定		無
実施計画事業名		健康管理システム更新			健康管理システム保守				
根拠法規及び関連法規		予防接種法、母子保健法、健康増進法、高齢者の医療の確保に関する法律							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	健康に暮らせる環境づくり							

2 事業の概要 Do

実施の概要		健康管理システムの稼働(適正管理)					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	健康管理システム導入費	円					
	健康管理システム保守料	円	787500	826200			

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.188	0.120	64	0.600	500	0.240	40	
	臨時職員	0.076	0.292	384		0	0.300	-	
支出内訳	人件費	1,948,002	1,997,853	103	4,834,454	242	3,014,166	62	
	事業費	2,585,224	2,518,320	97	3,975,531	158	4,814,000	121	
	合計	4,533,226	4,516,173	100	8,809,985	195	7,828,166	89	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,533,226	4,516,173	100	8,809,985	195	7,828,166	89	
	合計	4,533,226	4,516,173	100	8,809,985	195	7,828,166	89	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		健康管理システム導入費(円)							
指標説明(式)		健康管理システム導入費(円)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2		健康管理システム保守料(円/年)							
指標説明(式)		健康管理システム保守料(円/年)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	788000	826200	104.8	826200	100.0	826200	100.0	
	実績	787500	826200	104.9	826200	100.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	基幹システムとの連携による最新の住基情報等と同期をとらせた、25年度に実施した特定健診、基本健診、がん検診などの一般健診情報、予防接種、乳幼児健診、妊婦健診費助成などの母子保健情報をシステムに入力し、システムの維持管理を行った。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	健康増進法、高齢者の医療の確保に関する法律、予防接種法、母子保健法に定める実施事業の健康情報を逐次システムに入力した。	
効率性	執行体制の効率性	システム導入時のシステム保守点検料により、軽微な制度改正等によるバージョンアップを含めシステムの適正管理を行った。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	出生から高齢に至る生涯にわたっての情報システムであり、健康情報を蓄積中である。	4

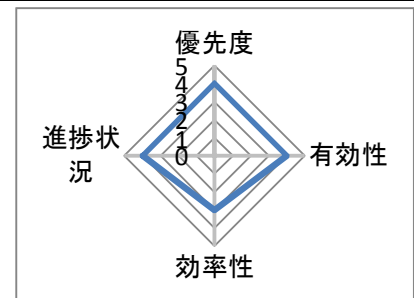
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	システム導入から5年が経過しているため、機器の更新が必要になっている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	機器更新について、買取ではなくリース対応の方向で進めていく。



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060106013800	事業の種類		9
年度	27	事務事業名	児童福祉総務費事務経費	予算事業名	児童福祉総務費事務経費	優先度
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	健康福祉部子育て支援室	
施策名(中)		その他		担当課長	平松 孝夫	担当者名 前岸 育恵
取り組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規		児童福祉法第24条、第56条、第51条 同施行令 同施行規則等				
事業の目的	誰のために(具体的に)	就学前の児童を保護者の様々な理由で保育できない家庭				
	誰(何)を対象として	就学前の児童を保護者の様々な理由で保育できない家庭				
	意図(どのような状態にしたいのか)	保育に欠ける児童の養護と教育を行うとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援する。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		保育事業の実施に必要な事務経費を執行する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	保育所入所	延月人	3767	3709	5307	-	
	保育料徴収	千円	64792	55566	62180	-	
	保育所管理運営	千円	344170	335748	445091	-	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分		一般会計		事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.335	0.367	110	0.367	100	0.277	75	
	臨時職員	0.435	0.435	100	0.435	100	0.645	148	
支出内訳	人件費	3,954,310	4,259,099	108	4,186,913	98	4,238,482	101	
	事業費	41,042	35,284	86	197,720	560	13,000	7	
	合計	3,995,352	4,294,383	107	4,384,633	102	4,251,482	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,995,352	4,294,383	107	4,384,633	102	4,251,482	97	
	合計	3,995,352	4,294,383	107	4,384,633	102	4,251,482	97	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		保育所入所率							
指標説明(式)		年間延入所児童数/年間延定員							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2		保育料収納率							
指標説明(式)		現年度保育料収入額/保育料調定額							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		児童1人当りコスト							
指標説明(式)		年間事業費／年間延入所児数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

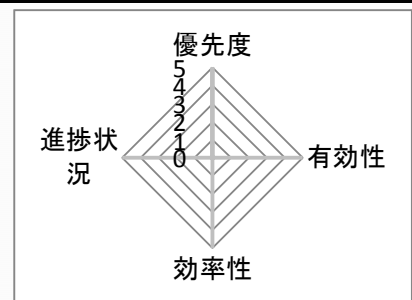
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106013900		事業の種類		3	
年度	27	事務事業名	建設管理課事務経費	予算事業名	建設管理課事務経費	優先度	3		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	建設農林部建設管理課				
施策名(中)		その他		担当課長	水原 至		担当者名	後藤 卓	
取り組み事項		その他		実施計画への記載		無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	建設管理課職員							
	誰(何)を対象として	建設管理課職員							
	意図(どのような状態にしたいのか)	建設管理課内に係る事務を円滑に遂行する。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		建設管理課内に係る調整事務及び円滑な推進を図る				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	建設管理課事務経費	千円	350	350	317	409

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.200	0.200	100	0.200	100	0.196	98	
	臨時職員	0.124	0.128	103	0.128	100	0.128	100	
支出内訳	人件費	2,157,414	2,219,173	103	2,164,086	98	2,202,982	102	
	事業費	350,050	350,273	100	317,186	91	409,000	129	
	合計	2,507,464	2,569,446	102	2,481,272	97	2,611,982	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,507,464	2,569,446	102	2,481,272	97	2,611,982	105	
合計		2,507,464	2,569,446	102	2,481,272	97	2,611,982	105	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		建設管理課事務経費							
指標説明(式)		旅費＋消耗品費＋負担金及び交付金							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	426,000	426,000	100.0	350000	82.2	409000	116.9	
	実績	350,050	350273	100.1	317186	90.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	ほぼ現状維持できた。	4
効率性	コストの節減	現状維持	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね、計画どおり進捗している。	4

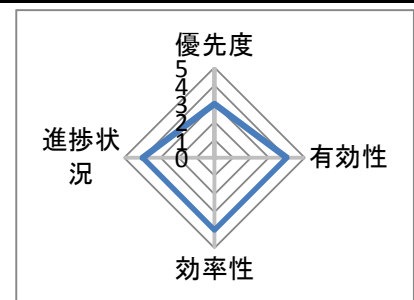
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	各経費の適切な執行に努める



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106014000		事業の種類		3	
年度	27	事務事業名	都市整備課事務経費		予算事業名	都市整備課事務経費		優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		その他			担当課長	齊藤 誠		担当者名	船曳 直志
取り組み事項		その他			実施計画への記載		主要事業の指定		
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	庁内の土木設計							
	誰(何)を対象として	市の土木積算システム							
	意図(どのような状態にしたいのか)	兵庫県内の市町が土木積算システムを共同利用する。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		設計積算システムを使用し、設計積算業務の効率的で正確な事務処理を行う。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	積算システム利用回数	回	154	150	150	150

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員			-		-		-
	臨時職員			-	0.397	-	0.420	106
支出内訳	人件費	317,330	358,533	113	1,345,297	375	1,452,966	108
	事業費	2,741,617	2,362,189	86	4,478,424	190	2,865,000	64
	合計	3,058,947	2,720,722	89	5,823,721	214	4,317,966	74
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	3,058,947	2,720,722	89	5,823,721	214	4,317,966	74
合計		3,058,947	2,720,722	89	5,823,721	214	4,317,966	74

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		県土木積算共同利用率							
指標説明(式)		事業費/利用回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	15000	15000	100.0	17000	113.3	19100	112.4	
	実績	17802	18138	101.9	29856	164.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである	4
効率性	コストの節減	兵庫県内の市町が共同で積算システムを利用するうため、ランニングコストが安価に抑えられる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり事業が進捗している。	4

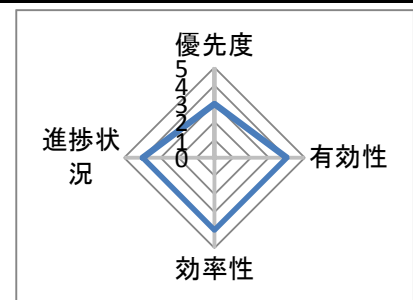
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	兵庫県と連携していくことが重要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	システムの適正運用が重要である。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106014100		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	教育統計調査事業	予算事業名	教育統計調査事業	優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		その他		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	平松 孝夫
取り組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		統計法(昭和二十二年法律第十八号)第二条 学校基本調査規則(昭和二十七年三月十一日文部省令第四号)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	文部科学省、地方公共団体(地方交付税算定基準等)					
	誰(何)を対象として	学校、卒業者及び不就学の学齢児童生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、盲学校、聾学校、養護学校、幼稚園、専修学校及び各種学校の教員、職員、幼児、児童及び生徒の数並びに学級数に関する事項について検査し、報告する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	学校基本調査	実施件数	18	18	19	19	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員	0.040	0.040	100	0.040	100	0.040	100
	臨時職員	0.012	0.012	100	0.012	100	0.012	100
支出内訳	人件費	654,102	697,613	107	674,762	97	663,238	98
	事業費	23,650	24,000	101	24,000	100	24,000	100
	合計	677,752	721,613	106	698,762	97	687,238	98
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-	24,000	-	25,000	104
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	677,752	721,613	106	674,762	94	662,238	98
	合計	677,752	721,613	106	698,762	97	687,238	98

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	適正な調査による正確なデータの把握が図れた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた調査を実施した。	
効率性	手段の最適性	全て電算による報告により、効率的に行うことができた。	4
	執行体制の効率性	各学校における専門的立場の職員により実施した。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

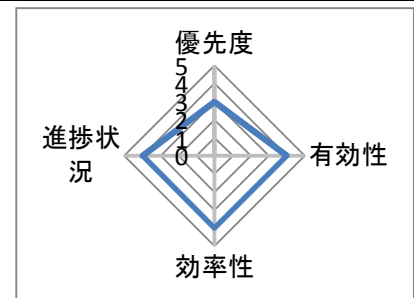
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	各学校園毎に期限内入力を徹底する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	事務処理担当者へ向けた集計方法等の指導。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060106014200		事業の種類		3
年度	27	事務事業名	議会事務局管理事業	予算事業名	議会費事務経費	優先度	4
		まちづくり目標	まちづくり目標推進のために	担当部局名	議会事務局議会事務局		
		施策名(中)	その他	担当課長	寺田 大輔	担当者名	坪田 知己
		取組み事項	その他	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		議会インターネット配信事業		インターネット配信			
		市民会館仮議場マイク設備設置事業					
根拠法規及び関連法規		相生市議会会議規則等					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市議会議員					
	誰(何)を対象として	市議会議員					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正で効率的な議会事務局の管理、運営を図り、もって議員活動の効果的な支援を行える体制としたい。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		(1)議場、委員会室等の管理 (2)来庁議員・市民等の受け入れ (3) 議会事務局職員の研修				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	来庁議員等対応日数	日	242	234	233	240
	職員研修日数	日	6	7	7	7

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.520	0.520	100	0.520	100	0.520	100	
	臨時職員	0.240	0.240	100	0.240	100	0.240	100	
支出内訳	人件費	4,900,410	4,970,693	101	4,840,454	97	5,052,046	104	
	事業費	973,823	976,496	100	1,109,665	114	1,058,000	95	
	合計	5,874,233	5,947,189	101	5,950,119	100	6,110,046	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,874,233	5,947,189	101	5,950,119	100	6,110,046	103	
	合計	5,874,233	5,947,189	101	5,950,119	100	6,110,046	103	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		来庁議員、市民等の受け入れ							
指標説明(式)		来庁議員、市民等の受け入れ対応日数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
日数	目標	240	240	100.0	240	100.0	240	100.0	
	実績	242	234	96.7	233	99.6			
指標名2		議会事務局職員研修							
指標説明(式)		議会事務局職員研修日数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
日数	目標	7	7	100.0	7	100.0	7	100.0	
	実績	6	7	116.7	7	100.0			

【効率性】

指標名1		来庁議員、市民等対応にかかる1日あたりのコスト							
指標説明(式)		管理経費(需用費、役務費、使用料及び賃借料)／対応日数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1350	1350	100.0	2254	167.0	1363	60.5	
	実績	1050	1020	97.1	1749	171.5			

指標名2		職員研修にかかるコスト							
指標説明(式)		職員研修費(旅費、負担金)／日数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	20857	20000	95.9	20000	100.0	20000	100.0	
	実績	19297	19101	99.0	15869	83.1			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	最低限の必要経費を計上するなど予算を精査した。	4
	成果目標(改善)達成度	昨年度の実績も考慮し、管理経費としての必要経費(コスト)及び問題点(有用性の有無)を検証し、極力支出を抑制した。	
効率性	手段の最適性	職員研修にあたっては、研修内容を精査し、必要最小限の研修に留めた。	5
	負担割合の適正化	平成19年度より議長会等の負担金について、有用性の検証により適正化が図られた。併せて、職員研修内容等のあり方についても引き続き検討する。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	より開かれた議会を目指して、本会議インターネット動画配信のための調査・研究を行い、市民サービスの向上にむけた準備を行っている。	4

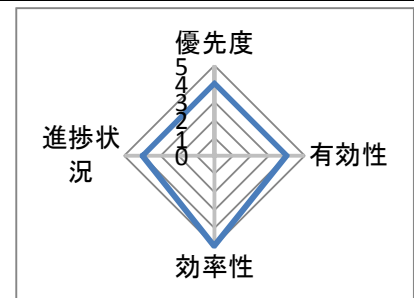
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	所属している協議会の有効性等を含め、内容の向上を検討する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	有効性とコストのバランスを考慮し、必要最小限の予算組を行った。



配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060106014300	事業の種類		3	
年度	27	事務事業名	議会活動支援事業	予算事業名	議会活動事業	優先度	4
		まちづくり目標	まちづくり目標推進のために	担当部局名	議会事務局議会事務局		
		施策名(中)	その他	担当課長	寺田 大輔	担当者名	坪田 知己
		取り組み事項	その他	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市議会会議規則等					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市議会議員					
	誰(何)を対象として	市議会議員					
	意図(どのような状態にしたいのか)	議長政務の円滑な支援並びに、議員活動全体をサポートし、かつ研修・調査を企画・実施することにより議員の資質向上を図り、もって市民の負託に応えうる市議会としたい。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		(1)議長政務の調整 (2)議員視察の依頼・調整 (3)議員視察の受け入れ (4)請願・陳情の受理 (5)議員報酬・共済費等支出の手続き					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	議長公務日数	日	146	158	146	150	
	請願・陳情件数	件	14	17	12	15	
	先進地調査件数	件	8	8	8	8	
	議員視察受入件数	件	32	45	40	40	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.960	0.960	100	0.960	100	0.960	100	
	臨時職員	0.360	0.360	100	0.360	100	0.360	100	
支出内訳	人件費	8,575,610	8,671,413	101	8,434,814	97	8,834,286	105	
	事業費	149,954,865	150,814,868	101	142,445,268	94	126,469,000	89	
	合計	158,530,475	159,486,281	101	150,880,082	95	135,303,286	90	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	158,530,475	159,486,281	101	150,880,082	95	135,303,286	90	
	合計	158,530,475	159,486,281	101	150,880,082	95	135,303,286	90	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		議長の公務日数							
指標説明(式)		公務日数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
日	目標	140	140	100.0	150	107.1	150	100.0	
	実績	146	158	108.2	146	92.4			
指標名2		議員調査件数							
指標説明(式)		各常任委員会、特別委員会、会派等による調査件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	8	8	100.0	8	100.0	8	100.0	
	実績	8	8	100.0	8	100.0			

【効率性】

指標名1		議員活動・調査にかかる1人当たりのコスト							
指標説明(式)		議員活動・調査にかかる旅費／議員数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	225813	225813	100.0	258071	114.3	258429	100.1	
	実績	163,508	135109	82.6	125722	93.1			

指標名2		議員活動・調査にかかる1人当たりのコスト							
指標説明(式)		政務調査費支出額／議員数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	144000	144000	100.0	145714	101.2	144000	98.8	
	実績	114,978	117345	102.1	122767	104.6			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生市と同規模の自治体等との比較では、議員定数等は少ない方であるが、今後の議会活動の実効性等を検証する必要がある。	5
	組織運営・適正管理	26年度に議員定数の見直しを行う等、議会改革を継続して行っている。また、19年度より常任委員会を2つにすることで、調査件数が削減されたが、その弊害(調査項目の偏り等)も顕在化しており、今後の運営等が課題となっている。	
効率性	コストの節減	議員活動に対する経費(コスト)として、報酬、旅費等については、常に精査し今後の課題としている。また、政務活動費の適正支出を図るため、領収書原本添付を義務付けるなど、透明性の向上を図っている。	4
	手段の最適性	議員活動の調査研究については、インターネット等の情報化機器の活用により、最新の情報を収集するなど効率的な活動が図られた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	順調に進んでいる	4

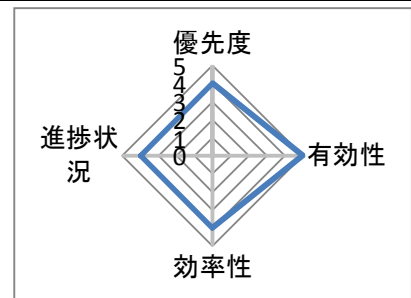
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	議員一人ひとりの活動がより重要となっていることから、議会活動の成果の市民への情報提供及び経費等について、より透明性を図る必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	議会活動の成果を市民に報告する場となる議会報告会の詳細について、協議検討する必要がある。



配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060106014400	事業の種類		3	
年度	27	事務事業名	議会図書室整備事業	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	議会事務局議会事務局		
施策名(中)		その他	担当課長	寺田 大輔	担当者名	坪田 知己	
取組み事項		その他	実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		地方自治法、相生市議会会議規則等					
事業の目的	誰のために(具体的に)	議員					
	誰(何)を対象として	議員					
	意図(どのような状態にしたいのか)	議員の資質向上及び情報の提供を行うため整備する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		(1) 先進事例の提供 (2) 各種法令集の提供 (2) 会議録、相生市史等永久保存文書の保管					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	新規図書の購入	冊	2	2	3	2	
	市町村総覧の加除数	回	0	0	0	0	

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円					
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.040	100	0.040	100
支出内訳	人件費	414,970	455,733	110	446,014	98	424,686	95
	事業費			-		-		-
	合計	414,970	455,733	110	446,014	98	424,686	95
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	414,970	455,733	110	446,014	98	424,686	95
	合計	414,970	455,733	110	446,014	98	424,686	95

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		新規図書購入件数							
指標説明(式)		発注回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
冊	目標	0	2	-	2	100.0	2	100.0	
	実績	2	2	100.0	3	150.0			
指標名2		地方公共団体総覧加除回数							
指標説明(式)		年度ごと加除回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

指標名1		議会図書室整備事業管理にかかるコスト							
指標説明(式)		総事業費／加除回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	多くの議会事務局が採用している「地方公共団体総覧」については、その必要性を検証し、平成18年度で廃止したが、図書室運営に支障はない。	3
	組織運営・適正管理	議会図書室の整備については、書籍による情報の収集とインターネットによる情報の収集との両面で対応している。	
効率性	コストの節減	議会図書室として必要な経費については、議会事務局一般事務経費と一本化することによりコストの縮減が図れた。	3
	執行体制の効率性	議会図書室の情報提供は、インターネット等によるものを利用し、できるだけ書籍の購入は避けるようにした。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	順調に進んでいる	4

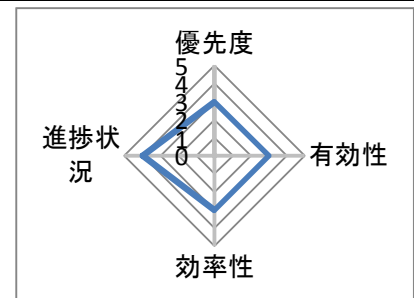
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	書籍による資料閲覧とIT化に伴う資料検索が行える環境の整備が必要。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	議会基本条例においても整備充実が求められている議会図書室の機能維持・向上を図っていく。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106014500		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	会議録作成事業	予算事業名	会議録作成事業	優先度	3		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	議会事務局議会事務局				
施策名(中)		その他		担当課長	寺田 大輔	担当者名	坪田 知己		
取り組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		相生市議会会議規則等							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	議会の活性化の一環として、適正で効率的な議会運営を行い、もって開かれた議会を目指す。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		(1)本会議録の調整 (2)委員会記録の調整					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	本会議開催日数	日	15	16	15	15	
	委員会開催日数	日	32	45	27	27	
	会議録ページ数	頁	800	824	734	734	
	委員会録ページ数	頁	1021	1360	820	1200	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員	0.360	0.360	100	0.360	100	0.360	100
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.200	100	0.200	100
支出内訳	人件費	3,572,850	3,633,813	102	3,542,574	97	3,686,526	104
	事業費	2,922,986	3,250,240	111	2,759,683	85	3,785,000	137
	合計	6,495,836	6,884,053	106	6,302,257	92	7,471,526	119
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	6,495,836	6,884,053	106	6,302,257	92	7,471,526	119
	合計	6,495,836	6,884,053	106	6,302,257	92	7,471,526	119

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		本会議開催							
指標説明(式)		本会議開催日数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
日	目標	16	16	100.0	16	100.0	15	93.8	
	実績	15	16	106.7	15	93.8			
指標名2		会議録検索システムアクセス数							
指標説明(式)		月平均アクセス数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	300	300	100.0	300	100.0	300	100.0	
	実績	182	215	118.1	208	96.7			

【効率性】

指標名1		会議録作成にかかる1ページ当たりのコスト							
指標説明(式)		作成事業費／総ページ数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2598	2674	102.9	2609	97.6	2914	111.7	
	実績	2027	2139	105.5	2145	100.3			

指標名2		会議録検索システムにかかる1ページ当たりのコスト							
指標説明(式)		総事業費／総ページ数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1054	1084	102.8	1073	99.0	1183	110.3	
	実績	1006	1012	100.6	1110	109.7			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	条例で定められた本会議開催数及び付託調査事件に対応した委員会開催数は達成した。	5
	市民サービス	相生市議会ホームページについて、随時最新情報に更新することで、市民への議会情報の迅速な提供を行うことができた。	
効率性	コストの節減	委託契約の算定方法を見直し、音声データ反訳を分単位の契約に変更することにより、コスト増大を最小限に抑えた。	4
	コストの節減	会議録作成に併せ検索システムページ数等が経費に影響するため、音声データを分単位で精査するなど工夫によりコストの削減を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	順調に進んでいる。	4

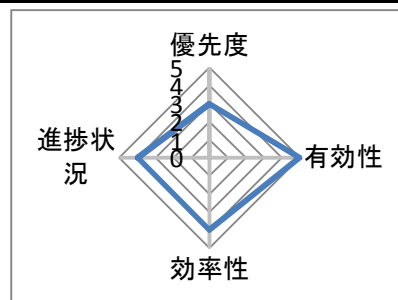
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	平成29年度の仮議場での本会議・委員会開催に向けた音響設備等の準備及び更なるIT化の推進に向けた検討を進めていくが必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	今後もコストの増加を最小限に抑えるため、平成29年度の仮議場への音響設備導入に係る関連経費を含め、委託契約の算定方法等の検証を常に実施する



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060106014600		事業の種類		1
年度	27	事務事業名	議会広報事業	予算事業名	議会報作成事業	優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	議会事務局議会事務局		
施策名(中)		その他		担当課長	寺田 大輔	担当者名	坪田 知己
取り組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市議会会議規則等					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	議会活動をわかりやすく市民に伝え、市民が身近に感じる市議会とすることにより、市議会への関心を高め、さらに開かれた市議会を目指す。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		「相生市議会だより」の発行						
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画		
	編集委員会開催数	回	5	9	7	8		
	発行部数	部	13400	13400	13500	13500		
	発行回数	回	4	4	4	4		
	ページ数	頁	32	32	34	34		

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.160	0.160	100	0.160	100	0.160	100	
	臨時職員	0.160	0.160	100	0.160	100	0.160	100	
支出内訳	人件費	1,937,810	1,987,013	103	1,945,414	98	2,006,686	103	
	事業費	889,987	850,262	96	831,175	98	927,000	112	
	合計	2,827,797	2,837,275	100	2,776,589	98	2,933,686	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,827,797	2,837,275	100	2,776,589	98	2,933,686	106	
	合計	2,827,797	2,837,275	100	2,776,589	98	2,933,686	106	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市議会だより発行							
指標説明(式)		発行回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	4	4	100.0	4	100.0	4	100.0	
	実績	4	4	100.0	4	100.0			
指標名2		市議会だより発行							
指標説明(式)		発行ページ数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
頁	目標	32	32	100.0	34	106.3	34	100.0	
	実績	32	32	100.0	34	106.3			

【効率性】

指標名1		市議会だより1部当たりのコスト							
指標説明(式)		市議会だより発行にかかる事業費／発行部数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	18	18	100.0	19	105.6	17	89.5	
	実績	15	16	106.7	15	93.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	議会改革として、議会の情報公開を推進するため、平成27年11月10日号より、各議員の議案の賛否状況の掲載を開始した。	4
効率性	手段の最適性	平成23年度から議会報編集システムのパソコンを入れ替え、事務の効率化が図られている。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	順調に進んでいる。	4

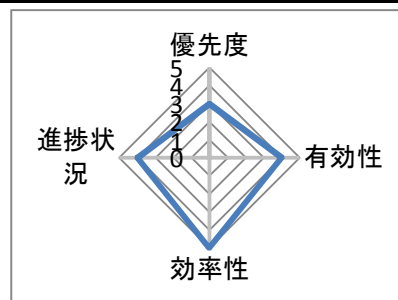
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	市民により興味を持っていただくような見直しが必要。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	議会の情報公開を推進するため、H28.6.10号から会派の視察報告を、H28.8.10号から政務活動費の執行状況を掲載し、議会活動の広報の充実を図る



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060106014700		事業の種類		1
年度	27	事務事業名	選挙管理委員会一般事務	予算事業名	選挙管理委員会費事務経費	優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	選挙管理委員会事務局選挙管理委員会事務局		
施策名(中)		その他	担当課長	中濱 和義	担当者名	中野 聡	
取り組み事項		その他	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		期日前投票管理システム改修事業					
根拠法規及び関連法規		公職選挙法、地方自治法、検察審査会法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	当該有権者					
	誰(何)を対象として	選挙人、選挙管理委員会委員、委員会事務局					
	意図(どのような状態にしたいのか)	選挙を執行する側の資質を高め、適正な管理執行を行い、公正・公平な選挙の執行が図られることにより、市民の政治や行政に対する要求を正しく反映させることができる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		委員会の開催、各種選挙人名簿の調製、検察審査員候補者・裁判員候補者の選定					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	委員会の開催	回	15	17	15	15	
	各種選挙人名簿の調製	種	3	3	3	3	
	検察審査員候補者の選定	人	9	9	9	9	
	裁判員候補者の選定	人	35	39	37	37	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.816	0.364	45	0.804	221	0.800	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	6,589,922	3,178,805	48	6,360,782	200	6,602,846	104	
	事業費	1,462,750	1,342,702	92	1,630,293	121	1,670,000	102	
	合計	8,052,672	4,521,507	56	7,991,075	177	8,272,846	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	2,898	414	14	388,800	93,913		0	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,049,774	4,521,093	56	7,602,275	168	8,272,846	109	
	合計	8,052,672	4,521,507	56	7,991,075	177	8,272,846	104	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		選挙管理委員会の開催							
指標説明(式)		定例委員会及び臨時委員会の開催							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	15	15	100.0	17	113.3	17	100.0	
	実績	15	17	113.3		0.0			
指標名2		各種選挙人名簿の作成							
指標説明(式)		選挙人名簿、農業委員会委員選挙人名簿、海区漁業調整委員会委員選挙人名簿							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
種	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			

【効率性】

指標名1		選挙管理委員報酬							
指標説明(式)		委員長 @42,000円/月 ⇒ @39,000円/月 (平成18年6月より) 委員 @21,000円/月 ⇒ @19,000円/月 (平成18年6月より)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1152000	1152000	100.0	1152000	100.0	1152000	100.0	
	実績	1152000	1152000	100.0	1152000	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	公職選挙法、地方自治法等の関係法令に基づき、適正に管理されている。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	公職選挙法、地方自治法等の関係法令に基づき、適正に処理されている。	
効率性	コストの節減	コストの節減は必要であるが、法の制約があるため、成果を維持したままでのコスト節減は難しい。	4
	執行体制の効率性	法の規制があるため、市民参画、市民活動との連携等は難しい。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	公職選挙法、地方自治法等の関係法令に基づき、概ね計画通り進捗している。	4

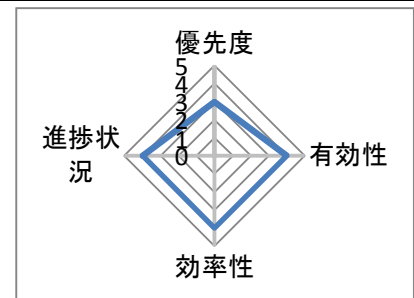
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	コストの節減は必要であるが、法の制約があるため、成果を維持したままでのコスト節減は難しい。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	引き続きコスト削減に努める。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060106014800		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	明るい選挙推進事業	予算事業名			優先度	4
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	選挙管理委員会事務局選挙管理委員会事務局			
施策名(中)		その他		担当課長	中濱 和義		担当者名	中野 聡
取り組み事項		その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		公職選挙法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	当該選挙人、児童・生徒、新成人						
	誰(何)を対象として	明るい選挙推進協議会委員、児童・生徒、新成人						
	意図(どのような状態にしたいのか)	選挙の啓発活動を行うことにより、市民の投票参加意識が高まる。 未成年のうちから明るい選挙の推進に関心を持つ。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		パンフレット等による啓発、新有権者啓発、啓発ポスターの募集、推進協議会の開催					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	成人式での啓発誌配布	人	270	270	270	270	
	啓発ポスターの募集	点	202	157	174	170	
	推進協議会の開催	回	1	2	0	1	
	啓発紙「白バラ」の配布	部	13200	13500	13200	13200	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員	0.208	0.120	58	0.120	100	0.120	100
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	1,916,226	1,288,293	67	1,243,094	96	1,259,406	101
	事業費			-		-		-
	合計	1,916,226	1,288,293	67	1,243,094	96	1,259,406	101
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	1,916,226	1,288,293	67	1,243,094	96	1,259,406	101
	合計	1,916,226	1,288,293	67	1,243,094	96	1,259,406	101

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		成人式での啓発誌配布							
指標説明(式)		成人式参加者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	230	230	100.0	270	117.4	270	100.0	
	実績	270	270	100.0	270	100.0			
指標名2		啓発ポスターの募集							
指標説明(式)		啓発ポスターの応募者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
点	目標	200	200	100.0	200	100.0	170	85.0	
	実績	202	157	77.7	174	110.8			

【効率性】

指標名1		啓発事業費							
指標説明(式)		西播4市明るい選挙推進協議会連合会負担金							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
	実績	10	10	100.0	10	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	対応策として、看護専門学校生を選挙事務従事アルバイトに採用し、若年層の啓発を図る。	3
	上位施策への貢献度	常時啓発の成果が各種選挙執行時の投票率に反映させる。	
効率性	コストの節減	選挙毎に検挙される選挙違反や、選挙に対する意識の希薄化から、明るい選挙の啓発の必要性は高まっており、減額できない。	3
	執行体制の効率性	各種団体から委員を選出してもらっているが、増員や、若年層が主たる構成員である団体からの委員の選出も検討すべきである。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	学生の選挙事務従事は継続できている。明るい選挙推進委員の若年層の採用は青年会議所からの代表が委員となっている。	3

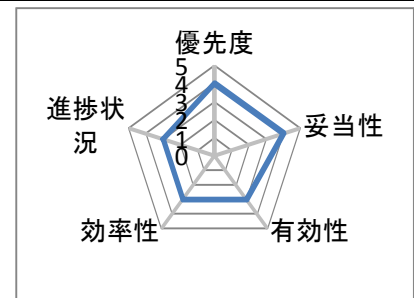
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	明るい選挙推進委員の若年層の採用

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	若年層委員の選任ができる環境について検討する



配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106014900		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	市議会議員選挙執行事業		予算事業名	市議会議員選挙執行事業		優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	選挙管理委員会事務局選挙管理委員会事務局			
施策名(中)		その他			担当課長	中濱 和義		担当者名	中野 聡
取り組み事項		その他			実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		公職選挙法、選挙執行経費基準法							
事業の目的	誰のために(具体的に)	当該有権者、候補者							
	誰(何)を対象として	市議会議員選挙執行事業							
	意図(どのような状態にしたいのか)	選挙人の利便を図り、公正な選挙を執行することにより、選挙人の政治への関心を高め、参政権が守られる。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		市議会議員選挙の執行準備				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	市議会議員選挙	回	0	0	1	0

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員		0.400	-	0.480	120		0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	317,330	3,457,733	1,090	3,936,614	114	316,446	8	
	事業費		852,363	-	13,577,838	1,593		0	
	合計	317,330	3,457,733	1,090	17,514,452	507	316,446	2	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	317,330	3,457,733	1,090	17,514,452	507	316,446	2	
	合計	317,330	3,457,733	1,090	17,514,452	507	316,446	2	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市議会議員選挙投票者数							
指標説明(式)		市議会議員選挙における投票者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	0	0	-	17500	-	0	0.0	
	実績	0	0	-	15685	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	選挙を通じて自分たちの意見を政治に反映させることができる。	4
	期待する目標	政治への参加意識を高めることにより、投票率を向上させる。	
効率性	コストの節減	コストの削減は必要であるが、法の制約があるため、成果を維持したままでのコスト削減は難しい。	4
	執行体制の効率性	投票管理者は民間人を採用している。投票事務従事者も民間人(アルバイト)を採用し、併せて若年層の啓発を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	公職選挙法に基づき、概ね計画通りに執行できた。	4

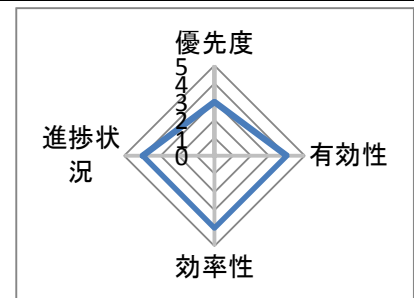
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	コストの削減は必要であるが、法の制約があるため、成果を維持したままでのコスト削減は難しい。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	啓発方法及び執行体制の見直しを検討



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060106015000	事業の種類		0	
年度	27	事務事業名	県議会議員選挙執行事業	予算事業名	県議会議員選挙執行事業	優先度	－
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	選挙管理委員会事務局選挙管理委員会事務局		
施策名(中)		その他	担当課長	中濱 和義	担当者名	中野 聡	
取り組み事項		その他	実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		公職選挙法、選挙執行経費基準法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	当該有権者、候補者					
	誰(何)を対象として	県議会議員選挙執行事業					
	意図(どのような状態にしたいのか)	選挙人の利便を図り、公正な選挙を執行することにより、選挙人の政治への関心を高め、参政権が守られる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		県議会議員選挙の執行準備					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	県議会議員選挙	回	0	0	1	0	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	
	参事以下職員		0.508	-	0.670	132	0	
	臨時職員		0.242	-	0.196	81	0	
支出内訳	人件費	317,330	4,882,577	1,539	5,851,918	120	316,446	5
	事業費		1,711,318	-	3,836,514	224	0	
	合計	317,330	4,882,577	1,539	9,688,432	198	316,446	3
財源内訳	国庫支出金			-		-	-	
	県支出金		3,426,957	-	9,688,432	283	0	
	市債			-		-	-	
	その他			-		-	-	
	一般財源	317,330	1,455,620	459	0	0	316,446	-
	合計	317,330	4,882,577	1,539	9,688,432	198	316,446	3

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		県議会議員選挙投票者数							
指標説明(式)		県議会議員選挙における投票者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	0	0	-	17500	-	0	0.0	
	実績	0	0	-	13963	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	選挙を通じて自分たちの意見を政治に反映させることができる。	4
	期待する目標	政治への参加意識を高めることにより、投票率の向上を図る。	
効率性	コストの節減	コストの節減は必要であるが、法の制約があるため、成果を維持したままでのコスト節減は難しい。	4
	執行体制の効率性	投票管理者は民間人を採用している。投票事務従事者も民間人(アルバイト)を採用し、併せて若年層の啓発を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	公職選挙法に基づき、概ね計画通り執行できた。	4

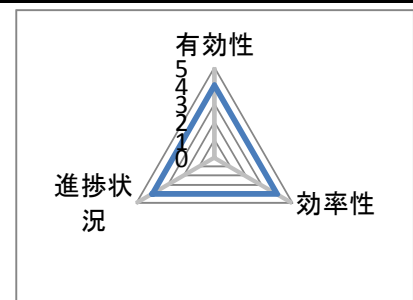
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	コストの節減は必要であるが、法の制約があるため、成果を維持したままでのコスト節減は難しい。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	啓発方法等を検討



配点	32.5
総合評価	12

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060106015400		事業の種類		1
年度	27	事務事業名	監査委員業務	予算事業名	監査委員事務事業	優先度	4
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	監査事務局監査事務局		
施策名(中)		その他	担当課長	松本 雅弥		担当者名	高田 樹里
取組み事項		その他	実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		地方自治法、地方公営企業法、地方公共団体の財政の健全化に関する法律					
事業の目的	誰のために(具体的に)	すべての市民					
	誰(何)を対象として	市の現金出納、市の決算及び財政健全化状況、市の財務に関する事務の執行、経営に係る事業の管理又は市の事務の執行					
	意図(どのような状態にしたいのか)	公正で合理的かつ能率的な行政運営の確保のため、行政の適法性、効率性、妥当性の保障を期す。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		毎年度策定する監査等年間計画に従い、地方自治法等に基づく監査等を着実に実施する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	例月出納検査	回	12	12	12	12	
	定期監査	回	9	9	9	9	
	決算審査	回	1	1	1	1	
	随時監査	回	0	0	1	0	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	2.700	2.700	100	1.806	67	1.800	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	21,072,230	21,278,133	101	13,857,746	65	14,460,846	104	
	事業費	2,006,946	1,985,123	99	2,014,895	101	2,143,000	106	
	合計	23,079,176	23,263,256	101	15,872,641	68	16,603,846	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	23,079,176	23,263,256	101	15,872,641	68	16,603,846	105	
合計		23,079,176	23,263,256	101	15,872,641	68	16,603,846	105	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		監査委員業務							
指標説明(式)		監査・検査実施回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	40	40	100.0	41	102.5	39	95.1	
	実績	41	44	107.3	42	95.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		年間の監査委員業務一人当たりコスト							
指標説明(式)		監査・検査業務総経費／(監査委員2名＋事務局職員2名) ※H26年度以前は事務局職員3名							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4,764,140	4,840,978	101.6	4,111,879	84.9	4,150,962	101.0	
	実績	4,615,835	4,652,651	100.8	3,968,160	85.3			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	監査・検査実施回数は、前年度のそれを下回ってはいるが、年度当初に計画した目標数を達成している。平成22年度以来の随時監査(工事監査)を実施した。	4
	成果の向上	客観的な立場から、違法・不正の指摘にとどまらず、指導に重点を置いて監査等を実施し、それぞれの結果に対して監査委員の意見等を付して報告・公表することにより、市の行財政健全化に資している。	
効率性	コストの節減	国の法令に基づいた必置機関であるとともに、事業費の大半は人件費及び固定的な経費であることから、コスト削減の余地は少ない。	4
	手段の最適性	外部の視点を入れるために工事監査の一部を委託しているが、職員が対象事項の課題を共有しながら意見形成を図ることが不可欠であり、また費用対効果の観点からも、これ以上の外部委託は困難である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	監査等年間計画に従い、地方自治法等に基づく監査等を着実に実施できている。	4

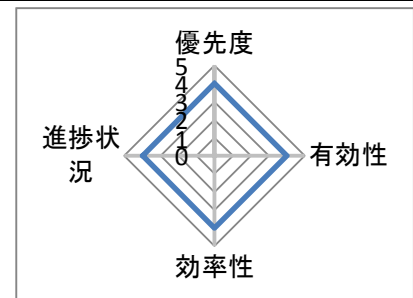
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	住民監査請求に迅速に対応できる体制整備や、公会計制度改革等に適切に対応できる知識、能力の習得に取り組む必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	国において財務会計制度の見直しの一つとして、監査制度自体の充実強化について議論される中、今後の動向を注視し的確な情報収集に努める。



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106015500		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	公平委員会業務		予算事業名	公平委員会費	事務経費	優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	公平委員会公平委員会			
施策名(中)		その他			担当課長	松本 雅弥		担当者名	高田 樹里
取り組み事項		その他			実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		地方自治法、地方公務員法、相生市公平委員会設置条例							
事業の目的	誰のために(具体的に)	職員及び職員団体							
	誰(何)を対象として	職員及び職員団体							
	意図(どのような状態にしたいのか)	中立的かつ専門的な人事機関として、公正な任命権及び人事権の行使を保障し、市職員の利益を保護する。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		市職員の公正な労使関係を維持するため、公平委員会定例会・臨時会を開催する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	公平委員会定例会	回	4	4	4	4	
	公平委員会臨時会	回	1	0	1	0	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.300	0.300	100	0.200	67	0.200	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,623,430	2,682,933	102	1,841,654	69	1,888,046	103	
	事業費	413,552	361,227	87	371,160	103	428,000	115	
	合計	3,036,982	3,044,160	100	2,212,814	73	2,316,046	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,036,982	3,044,160	100	2,212,814	73	2,316,046	105	
	合計	3,036,982	3,044,160	100	2,212,814	73	2,316,046	105	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		公平委員会業務							
指標説明(式)		公平委員会定例会等開催回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	5	4	80.0	5	125.0	4	80.0	
	実績	5	4	80.0	5	125.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		年間の公平委員会業務一人当たりコスト							
指標説明(式)		公平委員会業務総経費／(公平委員3名＋事務局職員2名) ※H26年度以前は事務局職員3名							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	515,683	518,082	100.5	459,543	88.7	463,209	100.8	
	実績	506,164	507,360	100.2	442,563	87.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	公平委員会定例会を開催し、公平委員へ人事行政に関する新しい情報の提供及び関連規則を整備することにより、不利益処分の審査請求及び措置要求に対する審理を公平で公正なものとしている。	4
	期待する目標	平成27年度は不利益処分の審査請求及び措置要求の事案はなかったが、人事行政の公平性を保障することにより、市職員が安心して職務に専念することができる環境を整備するものである。	
効率性	コストの節減	人事行政の公平性を保障する執行機関として市に設置されたものであるとともに、事業費の大半は人件費及び固定的な経費であることから、コスト削減の余地は少ない。	4
	手段の最適性	地方公務員法に基づき、公平委員会設置条例により人事行政の公平性を保障する執行機関として設置されているため、公平委員会の運営は行政が行うべきであり、外部委託はできない。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成27年度は不利益処分の審査請求及び措置要求の事案はなかったが、計画通り、公平委員会定例会・臨時会を円滑に実施できている。	4

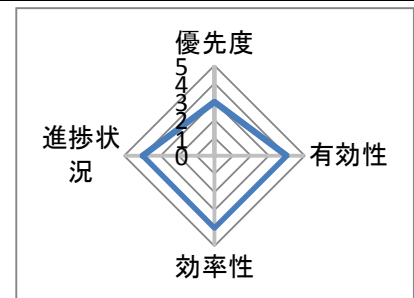
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	不利益処分の審査請求等に的確に対応するため、プライバシーに配慮した相談方法及び体制整備に取り組む必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	公務員制度改革による人事行政の変遷に伴い、不利益処分の審査請求等が顕著になる恐れがあり、今後の動向を注視し的確な情報収集に努める。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060106015600		事業の種類		1
年度	27	事務事業名	出納業務事業	予算事業名	一般管理費事務経費(出納)	優先度	3
		まちづくり目標	まちづくり目標推進のために	担当部局名	出納室出納室		
		施策名(中)	その他	担当課長	番匠 真由美	担当者名	肥塚 佳代子
		取組み事項	その他	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
		実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規			地方自治法149条第5項				
事業の目的	誰のために(具体的に)		債権者・納入義務者				
	誰(何)を対象として		支出負担行為・支出命令書・現金・有価証券・資金計画・指定金融機関・収納代理金融機関・出納員・各担当者				
	意図(どのような状態にしたいのか)		1 現金及び有価証券等を適正に管理する。 2 公金の収納や支払を正確に処理する。 3 預金状況及び資金計画・資金運用を効率的に管理する。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		1 公金の適正な支払		2 指定金融機関及び収納代理金融機関の検査			
		3 出納員及び分任出納員の検査		4 効率的な資金計画及び資金運用			
		5 債権者の適正な管理		6 庶務担当者に対して適性な指導及び助言			
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	支払件数	件	16503	16796	16799	16800	
	口座振込支払件数	件	13004	13165	13138	13200	
	指定及び収納代理の検査	店舗数	3	3	3	3	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	
	参事以下職員	1.530	1.505	98	1.508	100	1.540	
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	12,078,440	12,019,273	100	11,628,110	97	12,417,766	
	事業費	246,540	325,080	132	422,780	130	751,000	
	合計	12,324,980	12,344,353	100	12,050,890	98	13,168,766	
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	12,324,980	12,344,353	100	12,050,890	98	13,168,766	
	合計	12,324,980	12,344,353	100	12,050,890	98	13,168,766	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		口座振込支払件数							
指標説明(式)		口座振込支払件数/総支払件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	75	75	100.0	75	100.0	77	102.7	
	実績	78.8	78.4	99.5	78.2	99.7			
指標名2		支出命令提出遅延数							
指標説明(式)		支出命令提出遅延数/総支払件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	1.3	2	153.8	2.5	125.0	2.5	100.0	
	実績	2.9	2.9	100.0	2.9	100.0			

【効率性】

指標名1		支払1件当たりの単位コスト							
指標説明(式)		人件費・事業費合計/総支払件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	630	740	117.5	740	100.0	730	98.6	
	実績	746	735	98.5	717	97.6			
指標名2		指定及び収納代理金融機関の検査							
指標説明(式)		店舗数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	支出命令書等の提出遅延数は横ばい状態である。	3
	組織運営・適正管理	財務システムの活用により支払業務がスムーズに行えている。	
効率性	コストの節減	インターネットバンキングの利用により時間コストの軽減が図れている。	3
	執行体制の効率性	書類の期限後提出や不備・訂正などにより、支払事務に支障をきたしてる。また、振込先誤りにより再振込依頼手続きに時間を費やしている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	目標には達していない項目もあるが、問題なく進捗している。	3

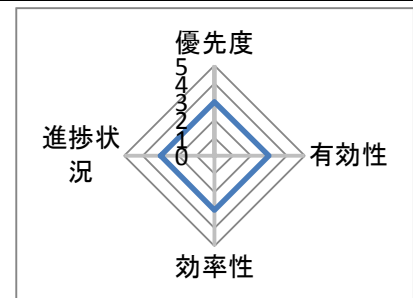
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	毎月、掲示板に支出命令書提出期限を掲載しているが、遅延件数は横ばい状態である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	支出命令書のミスを防止するため、新任・臨時職員及び庶務担当者を対象に財務会計事務研修の内容を充実させる。



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106015700		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	会計審査業務事業	予算事業名	会計管理事業		優先度	3	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	出納室出納室				
施策名(中)		その他		担当課長	番匠 真由美		担当者名	肥塚 佳代子	
取り組み事項		その他		実施計画への記載		無	主要事業の指定		無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		地方自治法149号第5項							
事業の目的	誰のために(具体的に)	債権者・納入義務者							
	誰(何)を対象として	支出負担行為・支出命令書・現金・調定書・出納員・各担当者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	1 支出項目の内容や支出先の債権者が適正であるか、振込先が正しいか等を審査することによって、予算執行の適正化を図る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		1 支出負担行為の目的、内容、債権者、支出科目、支払方法、支払時期等の書類審査 2 庶務担当者に対して適切な指導、助言 3 支出命令書・調定書の審査 4 公金の適正な支払 5 決算の調整				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	支出命令書審査件数	件	16286	16558	16552	16800
	調定書審査件数	件	2468	2503	2565	2600
	決算調整期間	月	2	2	2	2

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100		
	参事以下職員	1.519	1.512	100	1.536	102	1.564	102		
	臨時職員			-		-		-		
支出内訳	人件費	11,993,883	12,073,509	101	11,837,606	98	12,606,358	106		
	事業費	2,631,704	2,647,759	101	2,619,476	99	2,585,000	99		
	合計	14,625,587	14,721,268	101	14,457,082	98	15,191,358	105		
財源内訳	国庫支出金			-		-		-		
	県支出金			-		-		-		
	市債			-		-		-		
	その他			-		-		-		
	一般財源	14,625,587	14,721,268	101	14,457,082	98	15,191,358	105		
	合計	14,625,587	14,721,268	101	14,457,082	98	15,191,358	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		訂正依頼件数							
指標説明(式)		訂正依頼件数/総審査件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	15	16	106.7	16	100.0	16	100.0	
	実績	17	16.7	98.2	16.7	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		支出命令書1件の審査に係る経費							
指標説明(式)		人件費・事業費合計/総支出命令書審査件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	800	890	111.3	880	98.9	880	100.0	
	実績	898	889	99.0	873	98.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	財務システムの変更から数年経ち、慣れてきたことと、研修を開催し、財務会計事務の基本的事項について理解を深めたことにより、訂正依頼率がほぼ横ばい状態となっている。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	出納員等の公金事務取扱検査及び指導により適正な公金管理を行うことができた。	
効率性	手段の最適性	最適な手段を求めて、常に職場内で見直し、改善を行っている。	3
	執行体制の効率性	業務の効率化のため、担当職員は職場内研修及び自己研鑽により、日常業務執行上必要な知識を習得し、熟練化を図る。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

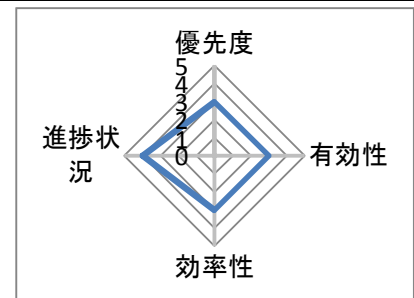
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	訂正依頼率を減らすべく、各課でのチェック体制が十分機能するよう改めて促す必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	ミス防止のため、庶務担当者をはじめ職員に対し財務会計事務取扱要領に基づく研修内容をさらに充実させる。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106015800		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	教育委員会事業	予算事業名	教育委員会費事務経費	優先度	3		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	教育委員会教育管理課				
施策名(中)		その他		担当課長			担当者名		
取り組み事項		その他		実施計画への記載		無	主要事業の指定		無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		地方教育行政の組織及び運営に関する法律							
事業の目的	誰のために(具体的に)	住民							
	誰(何)を対象として	市の学術・文化							
	意図(どのような状態にしたいのか)	教育の政治的中立、安定を図り学術・文化の振興を図る							

2 事業の概要 Do

実施の概要		地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく教育委員会に関する事業					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	定例会等開催回数	回	13	13	13	13	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.524	0.356	68	0.356	100	0.352	99	
	臨時職員	0.120	0.120	100	0.120	100	0.120	100	
支出内訳	人件費	4,638,238	3,408,421	73	3,311,126	97	3,407,182	103	
	事業費	3,148,599	3,178,036	101	3,156,530	99	3,261,000	103	
	合計	7,786,837	6,586,457	85	6,467,656	98	6,668,182	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,786,837	6,586,457	85	6,467,656	98	6,668,182	103	
合計		7,786,837	6,586,457	85	6,467,656	98	6,668,182	103	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		各年度における決算額(千円)							
指標説明(式)		前年比							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	7,725	6,804	88.1	6,685	98.3	6,668	99.7	
	実績	7,787	6,586	84.6	6,468	98.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	成果は達成している。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令の意図する状態に合致している。	
効率性	コストの節減	委員報酬の見直し、負担金及び旅費の精査の検討。	5
	執行体制の効率性	法令の定めにより内容等は変更できないが、その他、事務処理においては、一部変更が可能であり、整理、検討の余地はある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

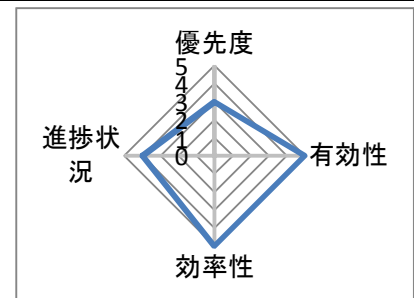
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	教育委員会の透明性を引き続き維持する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	教育委員会会議の会議録のホームページ公開、教育委員会だよりの発行など、当市教育行政を引き続き市民等への周知に努める。



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106015900		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	教育委員会事務局事業	予算事業名	事務局費事務経費	優先度	3		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	教育委員会教育管理課				
施策名(中)		その他		担当課長		担当者名			
取り組み事項		その他		実施計画への記載		無	主要事業の指定		無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		地方教育行政の組織及び運営に関する法律							
事業の目的	誰のために(具体的に)	教育委員会事務局							
	誰(何)を対象として	事務局運営							
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な運営を行う							

2 事業の概要 Do

実施の概要		教育長会議に関する事務、教育委員会事務局運営に関する事務等					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.298	0.388	130	0.388	100	0.388	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,608,056	3,364,757	129	3,248,270	97	3,365,350	104	
	事業費	13,858,621	2,765,922	20	3,115,248	113	3,033,000	97	
	合計	16,466,677	6,130,679	37	6,363,518	104	6,398,350	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	16,466,677	6,130,679	37	6,363,518	104	6,398,350	101	
	合計	16,466,677	6,130,679	37	6,363,518	104	6,398,350	101	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		各年度における決算額(千円)							
指標説明(式)		前年比							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	17,203	6,769	39.3	6,961	102.8	6,398	91.9	
	実績	16,467	6,131	37.2	6,364	103.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	成果は達成している。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令に意図する状態に合致している。	
効率性	コストの節減	予算計上にあたっては、必要最低限を計上しているため、これ以上のコスト削減は事務局運営に支障をきたす。	5
	手段の最適性	開かれた教育委員会を目指すため、更なる情報発信に努める必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

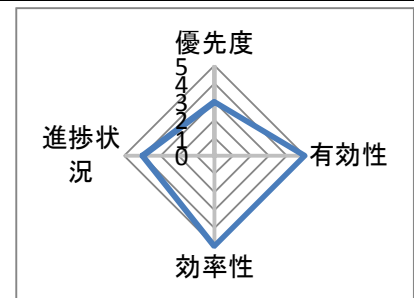
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	開かれた教育委員会を目指すため、更なる情報発信に努める必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	教育委員会だよりや子育て支援リーフレットを作成し、ホームページ掲載や全戸配布をするなど市民への周知を図る。



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106016000		事業の種類		3	
年度	27	事務事業名	学校教育課一般事務経費	予算事業名	教育指導費事務経費	優先度	3		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	教育委員会学校教育課				
施策名(中)		その他		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	平松 孝夫		
取り組み事項		その他		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼・小・中学校の園児・児童・生徒及び教諭							
	誰(何)を対象として	幼・小・中学校の園児・児童・生徒及び教諭							
	意図(どのような状態にしたいのか)	幼・小・中学校の園児・児童・生徒の就学意欲の高揚及び教諭の指導能力の向上を図る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		小・中学校児童・生徒の通知票、表彰状の印刷、教諭の研究会・研修会の実施及び参加				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.108	0.088	81	0.088	100	0.084	95	
	臨時職員	0.080	0.076	95	0.080	105	0.080	100	
支出内訳	人件費	1,342,806	1,225,037	91	1,205,190	98	1,192,998	99	
	事業費	1,526,491	1,599,363	105	1,467,401	92	1,715,000	117	
	合計	2,869,297	2,824,400	98	2,672,591	95	2,907,998	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,869,297	2,824,400	98	2,672,591	95	2,907,998	109	
	合計	2,869,297	2,824,400	98	2,672,591	95	2,907,998	109	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	取りまとめによる有効的な予算の執行。	3
	組織運営・適正管理	学校教育課による予算の執行。	
効率性	手段の最適性	印刷物の校内印刷等への変更。	3
	執行体制の効率性	予算一元管理による執行体制で効率的運営。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

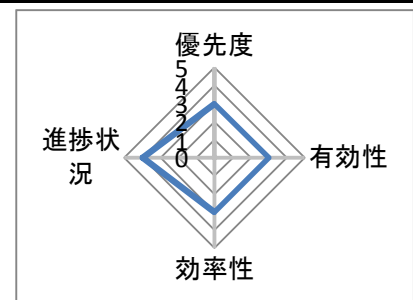
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	各校ごとの必要数を精査する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	適正な見積合わせ実施し、コストの削減を進める。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106016300		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	災害見舞事業		予算事業名	災害見舞事業		優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	健康福祉部社会福祉課			
施策名(中)		その他		担当課長	清水 直子		担当者名	立花 大地	
取り組み事項		その他		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		災害弔慰金の支給等に関する法律・被災者生活再建支援法・相生市災害見舞金等に関する条例規則等							
事業の目的	誰のために(具体的に)	自然災害による被災者							
	誰(何)を対象として	自然災害による被災者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	被災者の自立した生活の再建を支援する。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		見舞金 (全焼・全壊10万円 半焼・半壊 5万円 死亡弔慰金5万円) 住宅再建支援金25万円							
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画			
	見舞金支給	件	2	0	3	6			
	住宅再建支援	件	0	0	0	0			

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.016		0	0.016	-	0.016	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	440,322	358,533	81	464,966	130	442,174	95	
	事業費	100,000	0	0	250,000	-	400,000	160	
	合計	540,322	358,533	66	714,966	199	842,174	118	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	540,322	358,533	66	714,966	199	842,174	118	
	合計	540,322	358,533	66	714,966	199	842,174	118	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		災害見舞金支給1件当たりコスト							
指標説明(式)		事業費÷件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	66,666	66,666	100.0	66666	100.0	66666	100.0	
	実績	50,000	0	0.0	83333	-			

指標名2		住宅再建支援金1件当たりコスト							
指標説明(式)		事業費÷件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	消防本部との連携により対象者を把握、迅速に見舞金の支給を行い被災者の生活再建を支援できた。	4
効率性	手段の最適性	法律・条例に基づき適正に執行した。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	本事業は突発的な事象に対応するものであり、執行件数の予測は困難である。	3

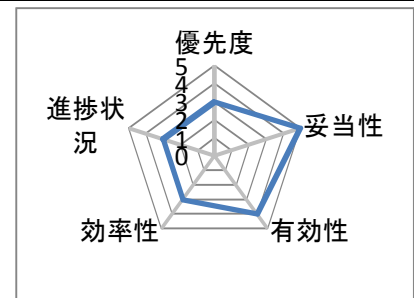
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	土口町における災害発生についても、迅速に対応するため西はりま消防組合との連携を強化する。また、係内の連絡体制を整備・係員が共通認識を持つ必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	課内の連絡体制の整備・共通認識の共有



配点	32.5
総合評価	23.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106016400		事業の種類	3		
年度	27	事務事業名	福祉事務所実習受入事業		予算事業名	優先度		3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		その他			担当課長	清水 直子	担当者名	立花 大地
取り組み事項		その他			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	福祉事務所実習生						
	誰(何)を対象として	福祉事務所実習生						
	意図(どのような状態にしたいのか)	福祉事務所に実習生を受入れ、現場実習を実施する						

2 事業の概要 Do

実施の概要		社会福祉系大学、専門学校、ヘルパー養成機関より依頼を受け、福祉事務所での実習を指導する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	受入れ延べ人数	人	0	0	0	0	

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員			-		-	0.016	-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	317,330	358,533	113	345,254	96	442,174	128	
	事業費			-		-		-	
	合計	317,330	358,533	113	345,254	96	442,174	128	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	317,330	358,533	113	345,254	96	442,174	128	
合計		317,330	358,533	113	345,254	96	442,174	128	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		受入れ延べ人数							
指標説明(式)		人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1		受入れ延べ人数1人当りコスト							
指標説明(式)		事業費／受入れ延べ人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	H23年度以降社会福祉士取得のための実習生受入れ施設として対象外になったため、27年度は受入れなし。(社会福祉士取得の在籍職員がいないため)	

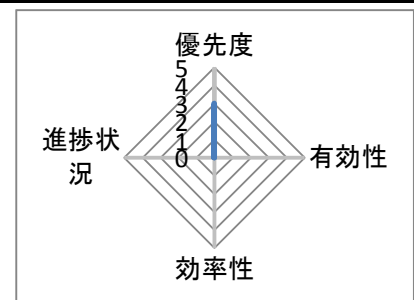
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	25
総合評価	6

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106016800		事業の種類		0	
年度	27	事務事業名	国勢調査事業	予算事業名	国勢調査事業		優先度	－	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課				
施策名(中)		その他		担当課長	松尾 次郎		担当者名	中山 基恵	
取り組み事項		その他		実施計画への記載		無	主要事業の指定		無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		統計法、同法施行令							
事業の目的	誰のために(具体的に)	国勢調査に関する情報利用者 行政機関							
	誰(何)を対象として	本邦内に常住している者(外国政府の外交使節団等を除く)							
	意図(どのような状態にしたいのか)	国内の人口及び世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		国勢調査にかかる事業					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	調査区設定	件	—	255	—	—	
	調査客体	件	—	—	—	—	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.027	-	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員		0.097	-	1.159	1,195		0	
	臨時職員		0.080	-	0.788	985		0	
支出内訳	人件費		1,304,489	-	11,001,864	843	316,446	3	
	事業費		72,475	-	11,462,663	15,816		0	
	合計		1,376,964	-	22,464,527	1,631	316,446	1	
財源内訳	国庫支出金		0	-	0	-	0	-	
	県支出金		241,000	-	13,066,000	5,422	0	0	
	市債		0	-	0	-	0	-	
	その他		0	-	0	-	0	-	
	一般財源		1,135,964	-	9,398,527	827	316,446	3	
	合計		1,376,964	-	22,464,527	1,631	316,446	1	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		国勢調査調査票の回収率							
指標説明(式)		回収調査票/調査客体*100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	—	—	—	—	—	—	—	
	実績	—	—	—	86.8	—			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—			

【効率性】

指標名1		国勢調査1調査単位区あたりにかかる費用							
指標説明(式)		総事業費(人件費含む)/調査単位区							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	-	5400	-	88096	1631.4			

指標名2		国勢調査1調査客体あたりにかかる費用							
指標説明(式)		総事業費(人件費含む)/調査客体							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	239調査区と無人調査区の16調査区、合わせて255調査区すべてに調査を実施した。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	全世帯調査にも関わらず、調査拒否の世帯も散見される。	
効率性	コストの節減	全額県支出金より充当するため、コスト節減に裁量がない。	4
	執行体制の効率性	全世帯にオンライン調査が導入され、調査員事務が煩雑になったが、説明会を2回に分けて実施することで、調査誤りを減らし調査の円滑化につながった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成27年10月1日基準日で調査活動を行った。	4

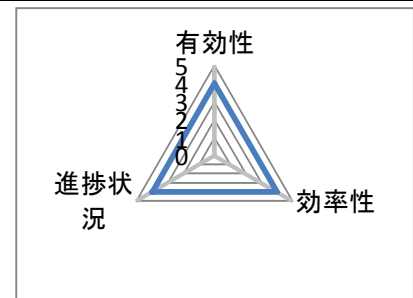
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	オンライン調査導入により、事務が複雑化しており担当者の業務量が増えている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	次回に向けてオンライン調査の改善を要望する。



配点	32.5
総合評価	12

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060106017000		事業の種類		0
年度	27	事務事業名	農林業センサス事業	予算事業名	農林業センサス事業	優先度	－
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		その他		担当課長	松尾 次郎	担当者名	中山 基恵
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		統計法、同法施行令					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農林業センサスに関する情報利用者 行政機関					
	誰(何)を対象として	農林業経営体					
	意図(どのような状態にしたいのか)	平成27年を調査年とする農林業構造統計を作成し、食料・農業・農村基本計画及び森林・林業基本計画に基づく諸施策並びに農林業に関する諸統計調査に必要な基礎資料を整備する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		農林業センサスに係る事業				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	客体候補	件	－	1140	－	－
	調査客体	件	－	331	－	－

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.027	-	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員		0.164	-	0.020	12		0	
	臨時職員		0.080	-	0.020	25		0	
支出内訳	人件費		1,823,605	-	545,274	30	316,446	58	
	事業費		1,150,000	-	22,000	2		0	
	合計		2,973,605	-	567,274	19	316,446	56	
財源内訳	国庫支出金		0	-	0	-	0	-	
	県支出金		1,150,000	-	22,000	2	0	0	
	市債		0	-	0	-	0	-	
	その他		0	-	0	-	0	-	
	一般財源		1,823,605	-	545,274	30	316,446	58	
	合計		2,973,605	-	567,274	19	316,446	56	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		農林業センサス調査票の回収率							
指標説明(式)		回収調査票/調査客体*100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	－	－	－	－	－	－	－	
	実績	－	100	－	－	－			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			－		－		－	
	実績			－		－			

【効率性】

指標名1		農林業センサス1調査客体あたりにかかる費用							
指標説明(式)		総事業費(人件費含む)/調査客体							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	-	8984	-	1714	19.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	2015年農林業センサスに係る確認事務のみ。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	2015年農林業センサスに係る確認事務のみ。	
効率性	コストの節減	全額県支出金により充当するため、節減に裁量がない。	3
	執行体制の効率性	2015年農林業センサスに係る確認事務のみ。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	2015年農林業センサスに係る確認事務のみ。	4

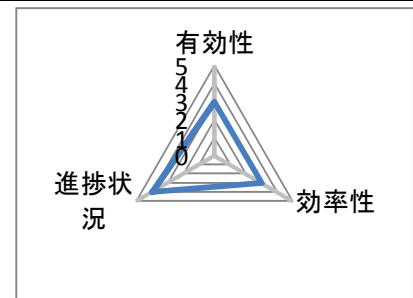
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	現在活動していない過去の調査履歴が多く、調査客体候補の整理が煩雑である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	調査結果等の整理を行い、新たな調査手法などを要望する。



配点	32.5
総合評価	10

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106017200		事業の種類		0	
年度	27	事務事業名	商業統計調査事業	予算事業名	商業統計調査事業	優先度	－		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課				
施策名(中)		その他		担当課長	松尾 次郎	担当者名	中山 基恵		
取組み事項		その他		実施計画への記載		無	主要事業の指定		無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		統計法、同法施行令							
事業の目的	誰のために(具体的に)	商業統計調査に関する情報利用者 行政機関							
	誰(何)を対象として	事業所							
	意図(どのような状態にしたいのか)	卸売・小売業を営むすべての事業所について、業種別、規模別、地域別等に把握し、分布状況や販売活動の実態を明らかにする。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		商業統計調査にかかる事業					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	対象事業所	件	—	—	—	—	—
	調査客体	件	—	—	—	—	—

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.026	100	
	参事以下職員			-	0.008	-		0	
	臨時職員			-	0.000	-		-	
支出内訳	人件費			-	405,110	-	316,446	78	
	事業費			-	10,000	-		0	
	合計			-	415,110	-	316,446	76	
財源内訳	国庫支出金			-	0	-	0	-	
	県支出金			-	10,000	-	0	0	
	市債			-	0	-	0	-	
	その他			-	0	-	0	-	
	一般財源			-	405,110	-	316,446	78	
	合計			-	415,110	-	316,446	76	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		商業統計調査調査票の回収率							
指標説明(式)		回収調査票/調査客体*100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	—	—	—	—	—	—	—	
	実績	—	—	—	—	—			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—			

【効率性】

指標名1		商業統計調査1調査客体あたりにかかる費用							
指標説明(式)		総事業費(人件費含む)/調査客体							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	平成26年経済センサス基本調査と同時実施した調査に係る確認事務のみ。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	平成26年経済センサス基本調査と同時実施した調査に係る確認事務のみ。	
効率性	コストの節減	全額県支出金により充当するため、節減に裁量がない。	3
	執行体制の効率性	平成26年経済センサス基本調査と同時実施した調査に係る確認事務のみ。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成26年経済センサス基本調査と同時実施した調査に係る確認事務のみ。	4

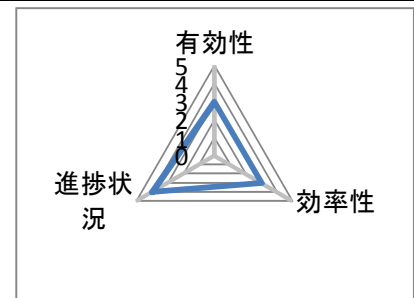
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	調査票の回収率を向上させる必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	新たな調査手段やより簡易的な調査となるよう要望し、調査員との連携を強化し資質向上を図る。



配点	32.5
総合評価	10

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		060106017300		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	住民票の写し等本人通知事業	予算事業名			優先度	3	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部市民課				
施策名(中)		その他		担当課長	岩崎 徹博		担当者名	小田 恵子	
取組み事項		その他		実施計画への記載		有	主要事業の指定		無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		相生市住民票の写し等に係る本人通知制度実施要綱							
事業の目的	誰のために(具体的に)	本市に戸籍・住民票を有する人							
	誰(何)を対象として	住民票の写し及び戸籍謄抄本を申請する代理人や第三者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	住民票の写しなどの不正請求を抑止し、不正取得による個人の権利侵害を防止する。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		戸籍謄抄本などの証明書を交付した場合に、事前に登録をした人に対して証明書を交付した事実を本人に通知する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	事前登録者数	人	24	35	40	43	
	通知件数	件	2	3	6	5	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.040		0		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	624,810	358,533	57	345,254	96	316,446	92	
	事業費			-		-		-	
	合計	624,810	358,533	57	345,254	96	316,446	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	624,810	358,533	57	345,254	96	316,446	92	
	合計	624,810	358,533	57	345,254	96	316,446	92	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		登録者率							
指標説明(式)		事前登録者数／年度末人口							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	0.06	0.06	100.0	0.12	200.0	0.14	116.7	
	実績	0.08	0.11	137.5	0.13	118.2			
指標名2		登録者あたりの通知件数							
指標説明(式)		通知件数／事前登録者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0.25	0.25	100.0	0.16	64.0	0.12	75.0	
	実績	0.08	0.09	112.5	0.15	166.7			

【効率性】

指標名1		1件あたりの事前登録申請受け付けコスト							
指標説明(式)		総事業費／事前登録者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	31240	32271	103.3	8354	25.9	7359	88.1	
	実績	26033	10244	39.4	8631	84.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標は達成できた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	適正に処理した。	
効率性	執行体制の効率性	受付事務処理を適正に行った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

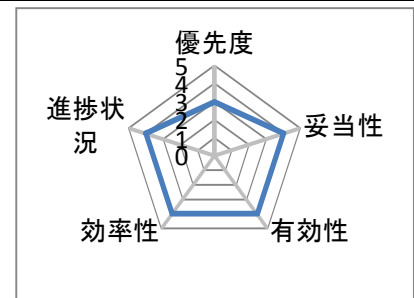
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	引き続き正確・迅速に事務処理を行っていく。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	引き続き事務処理の正確化・迅速化を図る。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	060106017400		事業の種類		0
年度	27	事務事業名	社会福祉法人指導監査事業	予算事業名	社会福祉法人指導監査事業	優先度	－
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		その他		担当課長	清水 直子	担当者名	長棟 尚美
取組み事項		その他		実施計画への記載		主要事業の指定	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		社会福祉法人指導監査要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の社会福祉法人					
	誰(何)を対象として	市内の社会福祉法人					
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、提供する福祉サービスの質の向上及び事業経営の透明性の確保を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		社会福祉法人監査数					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	社会福祉法人監査数	法人			2	2	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.026	100	
	参事以下職員			-	0.124	-	0.124	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	1,273,022	-	1,290,838	101	
	事業費			-	326,717	-	312,000	95	
	合計			-	1,599,739	-	1,602,838	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	1,599,739	-	1,602,838	100	
	合計			-	1,599,739	-	1,602,838	100	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		社会福祉法人監査数							
指標説明(式)		社会福祉法人監査数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
法人	目標			—	2	—	2	100.0	
	実績			—	2	—			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会福祉法人の監査を行った。	5
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画どおり事業が行えた	5

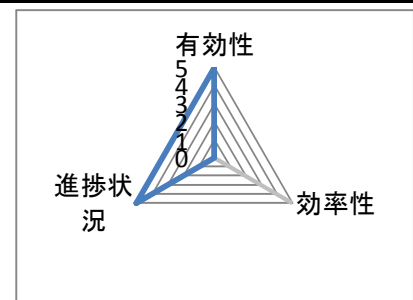
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	法人指導監査専門員による助言・指導等を職員で行えるようにする。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容



配点	32.5
総合評価	10